

平成 25 年度版

# 東京都緑化白書

PART31

特集 校庭芝生化の現状



# 東京都緑化白書



## 発刊にあたって

昨年9月、日本国民が熱望していた2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定しました。半世紀前のオリンピック開催と今回の大きな違いは、その意義が都市のインフラ整備ではなく、都市の質を高める点にあると言われます。ここに、緑の空間をもっと増やし、バリアフリー化を進めて都市の景観を飛躍的に改善しなければならない理由があります。21世紀の都市は快適性がキーワードと言われる中、会場だけでなく、オリンピックに係る街づくりに、緑あふれる空間を創造したいものです。そのためには、生き物を扱う唯一の建設業である造園業は、緑の重要性や有用性について、不断からアピールすることが求められます。

この一環となる「東京都緑化白書」の刊行は、昭和57年の創刊以来、社会貢献を旨として版を重ね、今回の平成25年度版で32巻となりました。

まず、毎回取りまとめている都区市町の「緑化の動向」は、緑化予算面から時代の動きを明らかにする役割をもっていますが、昨今の緑化政策や組織構成に変化が生じているため、これまでの調査のあり方では検証が難しくなっています。都内全部の自治体の協力を得るためにも、目的を明確にし、簡素で合理的な調査に改善することが求められています。

また、恒例の特集は、緑化拡大の先鋒になっている「校庭芝生化」をとりあげました。今回、特筆すべきことは、都教育庁が管轄する約1,900校の都内公立小中学校のうち、平成18年度から校庭芝生化を行った360校について、はじめて一斉にアンケート調査がなされたことです。

校庭芝生化は、利用者と利用目的の組み合わせにおいて、様々な環境を要求されます。例えば、サッカー場はサッカー選手が、ラグビー場はラグビー選手が専らの使い手ですが、校庭芝生は、野球やサッカー等の特定スポーツに加えて、生徒・児童の日頃の運動や運動会等の学校行事に使用されます。

このため、実施には図書による技術等情報に加えて、成功や失敗に関わる多様な事例が氾濫し、校庭芝生化の有り様は、非常に判り難くなっていると言えます。

こうした点に少しでも光明を見いだそうとして、既に実施した300を超える学校にアンケート調査し、特性の解明を試みました。

この結果からは、「解決策がベスト」のような結果は見いだせないかも知れませんが、多量のデータのおかげで、今日の問題が共有化され、解決へのヒントを得ることができると思います。

今回のアンケートでは、東京都教育庁の多大なご協力とご指導をいただきました。そして、都区市町及び小中学校のご担当の方々にはご多忙中にもかかわらず、調査回答にご協力を賜りました。併せまして厚く御礼を申し上げます。

また、緑化白書の発行に当たりましては、公益財団法人東京都公園協会の「東京都都市緑化基金」からの助成をいただきました。深く感謝する次第です。

平成26年3月31日

一般社団法人 東京都造園緑化業協会  
会 長 貫 洞 哲 夫

# 目 次

発刊にあたって	3
I 東京都および区市町の緑化の動向	
1. 平成 25 年度事業の概要	6
(1) 公園緑地関係（緑道を含む）	10
(2) 道路関係（街路樹）	12
(3) 学校等その他の公共施設	14
(4) 苗木配布等普及事業	16
(5) 公園・緑地・緑道・植樹帯・花壇の面積	18
(6) 平成 24 年度に造成されたユニークな公園・緑道	20
(7) 平成 25 年度以降に計画されているユニークな公園・緑道	22
(8) 平成 24 年度に実施された屋上緑化・壁面緑化・校庭の芝生化	23
(9) 平成 25 年度以降に計画されている屋上緑化・壁面緑化・校庭の芝生化	29
(10) 東京都内街路樹等管理者別数量調査	34
II 特集 校庭芝生化の現状	
1. 特集にあたって	36
2. 東京都公立学校校庭芝生化の現状と課題	40
3. アンケート調査の実施	44
4. アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析	46
5. アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析	71
6. アンケート調査のまとめ	94
会員名簿	100
あとがき	103

# I 東京都区市町の緑化の動向

# 緑化の動向

## 1. 緑化の動向（平成 25 年度事業 全体の概要）

東京都および区市町の緑化動向については、平成 25 年度における都と区市町の緑化関係予算（①公園緑地関係（緑道を含む）②道路関係（街路樹）③学校等その他の公共施設④苗木配布等普及事業）と、量的な側面（⑤公園・緑地・緑道・植樹帯・花壇の面積）、質的な側面から特徴のある事業（⑥平成 24 年度に造成されたユニークな公園・緑道、⑦平成 25 年度以降に計画されているユニークな公園・緑道）と、特に注目されている緑化事業（⑧平成 24 年度に実施された屋上緑化・壁面緑化、⑨平成 25 年度に予定されている屋上緑化・壁面緑化）について、東京都をはじめとする行政機関の担当者にアンケートを送付し、その回答の集計で、動向を探った。また、その他の資料として、あわせて⑩東京都内街路樹等管理者別数量調書を掲載している。

集計については、アンケートの回答をいただいた東京都および 22 区、20 市、2 町である。

このため、合計の数値は回答をいただいた行政機関の合計となり、前年度対比の数値は前年度未回答の場合にも集計できないため、合計の数値は参考値として記載したものである。

これらの前提条件を踏まえた上で、全体をみると、公園緑地関係（表 1）は、前年度対比で構築費は 66.55%減と前年を下回り、維持費は 19.12%減となった。

道路関係（表 2）は、新設費が 10.32%増、維持費は 9.2%増となった。

学校等公共施設（表 3）は、新設費が 38.79%減となり、維持費は 116.27%増となった。

苗木配布等普及事業（表 4）は、42.43%減となった。

そのほか、ユニークな公園として、23 ヶ所の造成と、10 ヶ所の計画が寄せられた（表 6、7）。

また、屋上や壁面の緑化、校庭の芝生化は整備済み 188 件が寄せられ、計画は 171 件が寄せられた。

## 2. 平成 25 年度事業予算・各項目ごとの概要

### ①公園緑地関係（緑道を含む） …表 1

#### ○都

都立公園、海上公園、住宅建設に伴う公園設置および管理を積極的に推進するもの。構築費は 104 億 9,699 万円（前年度対比 18.50%減）。維持費 95 億 571 万円（同 0.11%増）となった。

#### ○23 区

各区が実施計画に基づいて、区立公園、児童遊園等の設置および管理を行うもの。構築費は、77 億 2,572 万円（同 18.66%減）。前年度比では、品川区が 6113.71%増と激増、次いで文京区が 355.96%増、中野区が 186.27%増、荒川区が 184.07%増、杉並区が 176.83%増と大きな伸びを示し、9 行政機関で増加した。一方で、目黒区が 94.83%減、港区が 83.98%減、江東区が 80.47%減となり、11 行政機関で減少した。

維持費は 174 億 4,251 万円（同 23.17%増）と増加した。品川区が 24780.95%と激増し、10 行政機関で増加した。一方で、台東区が 59.88%減と、9 行政機関で減少した。

#### ○26 市 4 町

各市町が実施計画に基づいて、市町立公園、児童遊園等の設置および管理を行うもの。構築費は 11 億 1,991 万円（同 72.47%減）と減少し、国分寺市が 1190.65%増と激増したほか、東久留米

市が864.63%増、小金井市が194.00%増と、7行政機関で増加した。一方で、青梅市が93.61%減、武蔵村山市が78.92%減と6行政機関で減少した。

維持費は、43億161万円（32.29%増）となり、府中市が166.33%増、狛江市が142.34%増、東大和市が109.57%増、羽村市が104.44%増で、10行政機関で増加した。一方、青梅市が25.89%減など、10行政機関で減少した。

### ②道路関係（街路樹） …表2

#### ○都

都道ならびに一般道路（指定区間外で都知事が管理するもの）について、設置および管理を行うもので、新設費は建設局の14億7,940万円で、前年度対比2.46%増。維持費は建設局の45億9,642万円と港湾局の8,259万円で、同2.63%増となった。

#### ○23区

特別区道についての設置および管理を行うもので、新設費は3億345万円で同43.20%増となった。

維持費は、29億4,598万円で26.65%増となった。

#### ○26市4町

市町道について設置および管理を行うもので、新設費は49,241万円で903.08%増で、国分寺市の前年予算ゼロに対する27,240万円の計上が多くを占めており、新設費を計上した行政機関は3機関に留まった。

維持費は、9億2,545億円で2.08%減となり、狛江市が1511.91%増で、5行政機関で増加、13行政機関で減少した。

### ③学校等その他の公共施設 …表3

#### ○23区

学校、庁舎、地域センター、保育所等の公共施設の緑化を行うもので、新設費は7億3,232万円で、19.38%増で、予算を計上したのは11行政機関となった。増加したのは前年度ゼロから千代田区が3億2,400万円、墨田区が1,109万円、大田区が109.50%増となった。一方で、荒川区、足立区、葛飾区で予算ゼロとなった。

維持費は17億7,291万円で、178.11%増となり、葛飾区が37211.58%増、江東区が201.79%増となり、足立区が34.98%減などとなった。

#### ○26市4町

新設費は3億1,346万円の71.37%減となった。予算計上している行政機関は8機関で、青梅市、昭島市、小平市が前年度ゼロからの計上で、狛江市が9126.75%増となった。

維持費は2億1,904万円で22.75%減となった。日野市が168.61%増となり、7行政機関で増加。狛江市、日の出町が予算ゼロとなり、清瀬市が48.08%減となるなど、10行政機関で減少した。

### ④苗木配布等普及事業 …表 4

#### ○ 23 区

樹木、草花、土、球根、種等の配布、緑の相談所、緑化普及に関する講習会等を実施しており、予算額4,143万円で、前年度対比24.89%減となった。新宿区が1413.89%増、墨田区が216.92%増で、7行政機関で増加。江東区、葛飾区が予算ゼロとなり、足立区が70.88%減と、11行政機関で減少した。

#### ○ 26 市 4 町

予算額は949万円で、前年度対比76.54%減となった。府中市が98.84%減、多摩市が92.86%減、武蔵野市が80.13%減など、6行政機関で減少した。

### 3. 平成 24 年度事業の調査の詳細

(調査集計…表 1～表 10 参照)



# 緑化の動向

表1 公園緑地関係（緑道を含む）予算（都および23区）

単位：千円

行政機関	平成25年度					平成24年度					前年度対比% (増減)	
	整備費			維持費	合計	整備費			維持費	合計	構築費	維持費
	構築費	用地費	計			構築費	用地費	計				
東京都建設局 公園緑地部	7,753,809	22,059,191	29,813,000	8,300,817	38,113,817	10,201,579	24,276,421	34,478,000	8,313,000	42,791,000	-23.99%	-0.15%
東京都港湾局	2,486,116	0	2,486,116	1,204,900	3,691,016	2,417,411	0	2,417,411	1,182,489	3,599,900	2.84%	1.90%
東京都都市整備局(住宅)	257,074	0	257,074	0	257,074	261,092	0	261,092	0	261,092	-1.54%	0.00%
計	10,496,999	22,059,191	32,556,190	9,505,717	42,061,907	12,880,082	24,276,421	37,156,503	9,495,489	46,651,992	-18.50%	0.11%

千代田区	134,250	0	134,250	245,390	379,640	103,519	0	103,519	246,076	349,595	29.69%	-0.28%
中央区	194,678	0	194,678	535,154	729,832	244,946	0	244,946	539,054	784,000	-20.52%	-0.72%
港区	63,199	144,028	207,227	878,561	1,085,788	394,485	144,028	538,513	855,742	1,394,255	-83.98%	2.67%
新宿区	110,860	0	110,860	532,437	643,297	472,323	0	472,323	606,729	1,079,052	-76.53%	-12.24%
文京区	110,141	0	110,141	316,364	426,505	24,156	0	24,156	311,958	336,114	355.96%	1.41%
台東区	168,521	0	168,521	145,085	313,606	258,388	0	258,388	361,631	620,019	-34.78%	-59.88%
墨田区	99,338	4,765	104,103	551,181	655,284	274,345	0	274,345	553,575	827,920	-63.79%	-0.43%
江東区	290,500	0	290,500	505,704	796,204	1,487,730	0	1,487,730	382,181	1,869,911	-80.47%	32.32%
品川区	351,261	0	351,261	963,639	1,314,900	5,653	0	5,653	3,873	9,526	6113.71%	24780.95%
目黒区	52,987	0	52,987	436,691	489,678	1,025,766	0	1,025,766	407,616	1,433,382	-94.83%	7.13%
大田区	290,063	392,028	682,091	2,320,333	3,002,424	316,785	755,206	1,071,991	2,363,963	3,435,954	-8.44%	-1.85%
世田谷区	650,259	2,547,606	3,197,865	1,685,430	4,883,295	1,361,535	2,662,673	4,024,208	1,548,916	5,573,124	-52.24%	8.81%
渋谷区	42,460	0	42,460	310,332	352,792	—	—	—	—	—	—	—
中野区	1,415,594	6,424,157	7,839,751	496,673	8,336,424	494,489	10,373,851	10,868,340	486,556	11,354,896	186.27%	2.08%
杉並区	105,197	3,227,349	3,332,546	445,324	3,777,870	38,000	6,000,000	6,038,000	420,218	6,458,218	176.83%	5.97%
豊島区	83,032	190,000	273,032	404,530	677,562	85,000	112,835	197,835	382,162	579,997	-2.32%	5.85%
北区	928,864	0	928,864	893,261	1,822,125	587,285	0	587,285	974,795	1,562,080	58.16%	-8.36%
荒川区	441,978	0	441,978	293,483	735,461	155,585	0	155,585	291,414	446,999	184.07%	0.71%
板橋区	353,890	0	353,890	936,790	1,290,680	256,303	353,009	609,312	976,146	1,585,458	38.07%	-4.03%
練馬区	回答なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
足立区	608,935	3,794,841	4,403,776	1,284,709	5,688,485	465,550	0	465,550	1,404,326	1,869,876	30.80%	-8.52%
葛飾区	794,107	5,417,501	6,211,608	1,254,924	7,466,532	1,445,912	9,114,534	10,560,446	1,043,890	11,604,336	-45.08%	20.22%
江戸川区	435,607	258,100	693,707	2,006,524	2,700,231	—	—	—	—	—	—	—
計	7,725,721	22,400,375	30,126,096	17,442,519	47,568,615	9,497,755	29,516,136	39,013,891	14,160,821	53,174,712	-18.66%	23.17%

表1 公園緑地関係（緑道を含む）予算（市および町）

単位：千円

行政機関	平成 25 年度					平成 24 年度					前年度対比% (増減)	
	整備費			維持費	合計	整備費			維持費	合計	構築費	維持費
	構築費	用地費	計			構築費	用地費	計				
八王子市	492,154	133,751	625,905	1,182,061	1,807,966	—	—	—	—	—	—	—
立川市	46,773	341,439	388,212	271,827	660,039	—	—	—	—	—	—	—
武蔵野市	262,413	1,040,550	1,302,963	252,696	1,555,659	247,568	1,287,100	1,534,668	262,222	1,796,890	6.00%	-3.63%
三鷹市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
青梅市	1,832	0	1,832	144,636	146,468	28,669	157	28,826	195,154	223,980	-93.61%	-25.89%
府中市	75,530	245,828	321,358	311,974	633,332	113,480	311,103	424,583	117,137	541,720	-33.44%	166.33%
昭島市	0	0	0	68,945	68,945	0	0	0	83,698	83,698	0.00%	-17.63%
調布市	9,925	7,872	17,797	347,533	365,330	92,316	742	93,058	303,778	396,836	-89.25%	14.40%
町田市	回答なし	—	—	—	—	3,349,920	645,124	3,995,044	825,572	4,820,616	-100.00%	-100.00%
小金井市	8,820	0	8,820	107,399	116,219	3,000	179,179	182,179	113,844	296,023	194.00%	-5.66%
小平市	10,000	0	10,000	105,634	115,634	0	251,008	251,008	55,077	306,085	0.00%	91.79%
日野市	63,910	0	63,910	60,070	123,980	40,156	90,267	130,423	55,290	185,713	59.15%	8.65%
東村山市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国分寺市	5,382	58,857	64,239	35,064	99,303	417	56,423	56,840	35,851	92,691	1190.65%	-2.20%
国立市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福生市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
狛江市	0	0	0	25,431	25,431	0	0	0	10,494	10,494	0.00%	142.34%
東大和市	0	7,534	7,534	133,584	141,118	2,408	20,851	23,259	63,741	87,000	-100.00%	109.57%
清瀬市	0	40,296	40,296	7,000	47,296	0	40,933	40,933	8,000	48,933	0.00%	-12.50%
東久留米市	3,000	0	3,000	35,921	38,921	311	51,701	52,012	34,945	86,957	864.63%	2.79%
武蔵村山市	16,230	0	16,230	21,000	37,230	77,000	0	77,000	11,650	88,650	-78.92%	80.26%
多摩市	0	0	0	420,972	420,972	0	0	0	421,158	421,158	0.00%	-0.04%
稲城市	10,000	0	10,000	232,687	242,687	10,000	0	10,000	224,124	234,124	0.00%	3.82%
羽村市	17,325	77,700	95,025	223,232	318,257	26,617	72,046	98,663	109,191	207,854	-34.91%	104.44%
あきる野市	0	0	0	40,460	40,460	—	—	—	—	—	—	—
西東京市	29,116	912,291	941,407	153,290	1,094,697	24,086	59,513	83,599	168,410	252,009	20.88%	-8.98%
瑞穂町	67,501	0	67,501	110,399	177,900	51,861	0	51,861	117,921	169,782	30.16%	-6.38%
日の出町	0	0	0	9,804	9,804	0	0	0	10,118	10,118	0.00%	-3.10%
檜原町	回答なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奥多摩町	回答なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,119,911	2,866,118	3,986,029	4,301,619	8,287,648	4,067,809	3,066,147	7,133,956	3,227,375	10,361,331	-72.47%	33.29%
合計	8,845,632	25,266,493	34,112,125	21,744,138	55,856,263	26,445,646	56,858,704	83,304,350	26,883,685	110,188,035	-66.55%	-19.12%

## 緑化の動向

表2 道路関係（街路樹）予算（都および23区）

単位：千円

行政機関	平成 25 年度			平成 24 年度			前年度対比%（増減）	
	新設費	維持費	計	新設費	維持費	計	新設費	維持費
東京都建設局 公園緑地部	1,479,400	4,596,428	6,075,828	1,443,921	4,483,673	5,927,594	2.46%	251%
東京都港湾局	0	82,590	82,590	0	75,231	75,231	0.00%	9.78%
計	1,479,400	4,679,018	6,158,418	1,443,921	4,558,904	6,002,825	2.46%	2.63%

千代田区	0	97,642	97,642	0	181,547	181,547	0.00%	-46.22%
中央区	14,657	61,337	75,994	32,287	77,559	109,846	-54.60%	-20.92%
港区	0	231,885	231,885	0	128,794	128,794	0.00%	80.04%
新宿区	0	155,123	155,123	0	156,099	156,099	0.00%	-0.63%
文京区	0	40,225	40,225	0	38,692	38,692	0.00%	3.96%
台東区	8,807	60,539	69,346	0	68,300	68,300	—	-11.36%
墨田区	0	62,171	62,171	0	58,740	58,740	0.00%	5.84%
江東区	10,300	160,780	171,080	45,820	151,986	197,806	-77.52%	5.79%
品川区	1,900	69,634	71,534	1,903	66,680	68,583	-0.16%	4.43%
目黒区	0	42,322	42,322	0	42,150	42,150	0.00%	0.41%
大田区	213,900	241,804	455,704	131,900	238,849	370,749	62.17%	1.24%
世田谷区	0	183,531	183,531	0	172,935	172,935	0.00%	6.13%
渋谷区	14,788	20,145	34,933	—	—	—	—	—
中野区	0	60,366	60,366	0	56,493	56,493	0.00%	6.86%
杉並区	0	66,907	66,907	0	65,051	65,051	0.00%	2.85%
豊島区	0	58,513	58,513	0	51,889	51,889	0.00%	12.77%
北区	0	138,171	138,171	0	138,171	138,171	0.00%	0.00%
荒川区	0	45,610	45,610	0	48,052	48,052	0.00%	-5.08%
板橋区	0	146,689	146,689	0	157,607	157,607	0.00%	-6.93%
練馬区	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
足立区	0	183,712	183,712	0	206,419	206,419	0.00%	-11.00%
葛飾区	0	221,585	221,585	0	220,025	220,025	0.00%	0.71%
江戸川区	39,100	597,293	636,393	0	0	0	—	—
計	303,452	2,945,984	3,249,436	211,910	2,326,038	2,537,948	43.20%	26.65%

表2 道路関係（街路樹）予算（市および町）

単位：千円

行政機関	平成 25 年度			平成 24 年度			前年度対比%（増減）	
	新設費	維持費	計	新設費	維持費	計	新設費	維持費
八王子市	0	140,000	140,000	—	—	—	—	—
立川市	0	96,991	96,991	—	—	—	—	—
武蔵野市	0	0	0	—	—	—	—	—
三鷹市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
青梅市	2,001	49,300	51,301	4,198	49,390	53,588	-52.33%	-0.18%
府中市	0	91,905	91,905	0	98,870	98,870	0.00%	-7.04%
昭島市	20,000	21,372	41,372	0	43,521	43,521	—	-50.89%
調布市	0	95,000	95,000	0	95,000	95,000	0.00%	0.00%
町田市	回答なし	—	—	711	164,062	164,773	—	—
小金井市	0	35,115	35,115	0	35,136	35,136	0.00%	-0.06%
小平市	0	44,162	44,162	0	38,396	38,396	0.00%	15.02%
日野市	0	13,000	13,000	0	12,909	12,909	0.00%	0.70%
東村山市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
国分寺市	27,240	0	27,240	0	28,970	28,970	—	-100.00%
国立市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
福生市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
狛江市	0	17,328	17,328	0	1,075	1,075	0.00%	1511.91%
東大和市	0	27,564	27,564	0	27,373	27,373	0.00%	0.70%
清瀬市	0	2,500	2,500	0	55,000	55,000	0.00%	-95.45%
東久留米市	0	15,615	15,615	0	16,104	16,104	0.00%	-3.04%
武蔵村山市	0	31,319	31,319	0	32,957	32,957	0.00%	-4.97%
多摩市	0	113,508	113,508	0	121,716	121,716	0.00%	-6.74%
稲城市	0	62,200	62,200	0	63,000	63,000	0.00%	-1.27%
羽村市	回答なし	—	—	0	12,000	12,000	0.00%	-100.00%
あきる野市	0	16,000	16,000	0	0	0	—	—
西東京市	0	26,591	26,591	0	23,313	23,313	0.00%	14.06%
瑞穂町	0	17,465	17,465	0	17,808	17,808	0.00%	-1.93%
日の出町	0	8,516	8,516	0	8,516	8,516	0.00%	0.00%
檜原町	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
奥多摩町	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
計	49,241	925,451	974,692	4,909	945,116	950,025	903.08%	-2.08%
合計	1,832,093	8,550,453	10,382,546	1,660,740	7,830,058	9,490,798	10.32%	9.20%

## 緑化の動向

表3 学校等その他の公共施設予算（23区）

単位：千円

行政機関	平成25年度			平成24年度			前年度対比%（増減）	
	新設費	維持費	合計	新設費	維持費	合計	新設費	維持費
千代田区	324,000	0	324,000	0	0	0	—	0.00%
中央区	25,462	25,636	51,098	32,130	29,493	61,623	-20.75%	-13.08%
港区	0	0	0	0	0	0	0.00%	0.00%
新宿区	14,250	6,500	20,750	—	— 6,300	— 6,300	—	3.17%
文京区	0	19,732	19,732	0	16,685	16,685	0.00%	18.26%
台東区	0	6,219	6,219	0	7,460	7,460	0.00%	-16.64%
墨田区	11,096	12,785	23,881	0	11,949	11,949	—	7.00%
江東区	9,466	202,907	212,373	137,771	67,234	205,005	-93.13%	201.79%
品川区	0	73,160	73,160	0	76,661	76,661	0.00%	-4.57%
目黒区	626	1,244	1,870	0	0	0	—	—
大田区	219,112	55,087	274,199	104,586	69,632	174,218	109.50%	-20.89%
世田谷区	44,000	110,438	154,438	78,818	0	78,818	-44.18%	#DIV/0!
渋谷区	0	0	0	—	—	—	—	—
中野区	0	14,872	14,872	0	15,566	15,566	0.00%	-4.46%
杉並区	5,000	89,305	94,305	0	114,361	114,361	—	-21.91%
豊島区	41,000	38,096	79,096	187,366	38,863	226,229	-78.12%	-1.97%
北区	38,309	36,277	74,586	25,241	33,241	58,482	51.77%	9.13%
荒川区	0	31,454	31,454	41,623	56,542	98,165	-100.00%	-44.37%
板橋区	0	83,000	83,000	0	82,000	82,000	0.00%	1.22%
練馬区	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
足立区	0	5,800	5,800	5,250	8,921	14,171	-100.00%	-34.98%
葛飾区	0	960,400	960,400	647	2,574	3,221	-100.00%	37211.58%
江戸川区	本体工事に含む	0	0	0	0	0	—	0.00%
計	732,321	1,772,912	2,505,233	613,432	637,482	1,250,914	19.38%	178.11%

表3 学校等その他の公共施設予算（市および町）

単位：千円

行政機関	平成 25 年度			平成 24 年度			前年度対比%（増減）	
	新設費	維持費	合計	新設費	維持費	合計	新設費	維持費
八王子市	17,400	0	17,400	—	—	—	—	—
立川市	0	24,674	24,674	—	—	—	—	—
武蔵野市	0	0	0	—	—	—	—	—
三鷹市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
青梅市	1,636	8,748	10,384	0	6,972	6,972	—	25.47%
府中市	0	14,597	14,597	125,300	17,500	142,800	-100.00%	-16.59%
昭島市	27,600	13,930	41,530	0	17,000	17,000	—	-18.06%
調布市	27,006	6,495	33,501	27,190	8,478	35,668	-0.68%	-23.39%
町田市	回答なし	—	—	202,256	72,444	274,700	—	—
小金井市	0	18,711	18,711	115,310	15,532	130,842	-100.00%	20.47%
小平市	212	23,907	24,119	0	23,376	23,376	—	2.27%
日野市	0	8,770	8,770	0	3,265	3,265	0.00%	168.61%
東村山市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
国分寺市	0	0	0	—	—	—	—	—
国立市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
福生市	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
狛江市	14,486	0	14,486	157	1,427	1,584	9126.75%	-100.00%
東大和市	0	10,950	10,950	149,881	10,028	159,909	-100.00%	9.19%
清瀬市	170,000	1,080	171,080	119,480	2,080	121,560	42.28%	-48.08%
東久留米市	0	3,441	3,441	0	4,295	4,295	0.00%	-19.88%
武蔵村山市	0	18,995	18,995	239,900	29,790	269,690	-100.00%	-36.24%
多摩市	0	11,674	11,674	—	17,050	17,050	0.00%	-31.53%
稲城市	0	7,796	7,796	0	6,676	6,676	0.00%	16.78%
羽村市	0	0	0	0	0	0	0.00%	0.00%
あきる野市	0	0	0	—	—	—	—	—
西東京市	55,125	44,931	100,056	115,500	46,837	162,337	-52.27%	-4.07%
瑞穂町	0	341	341	—	305	305	0.00%	11.80%
日の出町	0	0	0	0	502	502	0.00%	-100.00%
檜原町	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
奥多摩町	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
計	313,465	219,040	532,505	1,094,974	283,557	1,378,531	-71.37%	-22.75%
合計	1,045,786	1,991,952	3,037,738	1,708,406	921,039	2,629,445	-38.79%	116.27%

## 緑化の動向

表4 苗木配布等普及事業予算（23区）

単位：千円

行政機関	平成 25 年度			平成 24 年度			前年度対比% (増減)
	樹木、草木、土等	その他	計	樹木、草木、土等	その他	計	
千代田区	4,294	0	4,294	3,309	0	3,309	29.77%
中央区	3,169	0	3,169	3,791	0	3,791	-16.41%
港区	3,444	1,672	5,116	5,924	3,441	9,365	-45.37%
新宿区	3,815	0	3,815	252	0	252	1413.89%
文京区	0	652	652	0	1,206	1,206	-45.94%
台東区	658	853	1,511	1,392	1,131	2,523	-40.11%
墨田区	329	289	618	195	0	195	216.92%
江東区	0	0	0	1,323	13,342	14,665	-100.00%
品川区	5,258	3,000	8,258	5,258	0	5,258	57.06%
目黒区	462	0	462	462	0	462	0.00%
大田区	2,211	1,336	3,547	2,211	1,015	3,226	9.95%
世田谷区	0	2,566	2,566	0	2,697	2,697	-4.86%
渋谷区	0	0	0	—	—	—	—
中野区	0	194	194	0	187	187	3.74%
杉並区	0	3,195	3,195	0	3,193	3,193	0.06%
豊島区	496	201	697	496	232	728	-4.26%
北区	16,377	2,559	18,936	17,314	3,242	20,556	-7.88%
荒川区	0	40	40	0	40	40	0.00%
板橋区	135	0	135	175	0	175	-22.86%
練馬区	回答なし	—	—	—	—	—	—
足立区	717	1,150	1,867	536	5,875	6,411	-70.88%
葛飾区	0	0	0	500		500	-100.00%
江戸川区	69	0	69	0	0	0	—
計	41,434	17,707	59,141	43,138	35,601	78,739	-24.89%

表4 苗木配布等普及事業予算（市および町）

単位：千円

行政機関	平成 25 年度			平成 24 年度			前年度対比% (増減)
	樹木、草木、土等	その他	計	樹木、草木、土等	その他	計	
八王子市	0	0	0	—	—	—	—
立川市	164	0	164	—	—	—	—
武蔵野市	300	0	300	1,510		1,510	-80.13%
三鷹市	回答なし	—	—	—	—	—	—
青梅市	642	0	642	886		886	-27.54%
府中市	42	0	42	3,585	45	3,630	-98.84%
昭島市	3,249	32	3,281	3,389	32	3,421	-4.09%
調布市	回答なし	—	—	0	0	0	—
町田市	回答なし	—	—	24,492	20	24,512	—
小金井市	620	0	620	620	0	620	0.00%
小平市	0	0	0	0	0	0	0.00%
日野市	0	0	0	0	0	0	0.00%
東村山市	回答なし	—	—	0	0	0	—
国分寺市	0	0	0	0	0	0	0.00%
国立市	回答なし	—	—	0	0	0	—
福生市	回答なし	—	—	0	0	0	—
狛江市	345	0	345	204	58	262	31.68%
東大和市	0	0	0	0	0	0	0.00%
清瀬市	162	0	162	0	0	0	0.00%
東久留米市	0	0	0	0	0	0	0.00%
武蔵村山市	0	0	0	0	0	0	0.00%
多摩市	143	0	143	0	2,004	2,004	-92.86%
稲城市	1,202	0	1,202	1,000	0	1,000	20.20%
羽村市	200	32	232	200	32	232	0.00%
あきる野市	0	0	0	—	—	—	—
西東京市	0	0	0	0	0	0	0.00%
瑞穂町	2,361	0	2,361	2,399		2,399	-1.58%
日の出町	0	0	0	0	0	0	0.00%
檜原町	回答なし	—	—	—	—	—	—
奥多摩町	回答なし	—	—	—	—	—	—
計	9,430	64	9,494	38,285	2,191	40,476	-76.54%
合計	50,864	17,771	68,635	81,423	37,792	119,215	-42.43%

## 緑化の動向

表5 公園・緑地・緑道・植樹帯・花壇の面積（23区）

単位：㎡

行政機関	公園	緑地	緑道	植樹帯	花壇	摘要
東京都建設局 公園緑地部	19,800,904.00	—	—	—	—	
東京都港湾局	7,903,270.40	—	—	152,271.00	—	
東京都都市整備（住宅）	—	3,634,000.00	—	—	—	
計	27,704,174.40	3,634,000.00	—	152,271.00	—	

千代田区	104,909.00	—	7,190.00	19,825.00	—	
中央区	337,563.70	46,341.10	18,955.90	12,810.50	740.37	
港区	303,275.85	72,347.03	2,163.00	12,572.00	1,342.00	
新宿区	370,653.63	—	—	30,200.00	—	
文京区	245,926.00	14,640.00	—	11,745.00	—	
台東区	198,667.72	1,338.50	—	7,822.60	75.40	
墨田区	638,309.65	6,374.07	—	18,652.79	319.47	緑道は公園に含まれる
江東区	1,063,759.00	46,844.00	43,837.00	39,919.00	205.00	
品川区	499,653.00	795.46	19,684.00	22,360.00	383.00	
目黒区	442,848.00	13,173.00	44,440.00	19,325.00	—	
大田区	1,204,664.00	915,546.00	77,596.00	59,985.00	439.00	
世田谷区	1,232,848.29	97,911.35	153,878.54	65,672.00		
渋谷区	130,222.00	4,222.00	39,431.00	12,678.00	856.40	
中野区	391,287.54	991.57	15,218.74	14,167.90	—	
杉並区	502,689.58	58,110.55	46,687.27	43,995.00	908.60	
豊島区	187,482.22	4,700.26	11,651.45	16,787.86	1,800.40	
北区	698,289.00	232,319.00	—	38,270.00	309.00	
荒川区	235,865.00	11,192.00	—	17,373.00	278.00	防災公園 8,930
板橋区	740,934.35	678,081.77	101,736.47	65,140.00	272.30	
練馬区	回答なし	—	—	—	—	
足立区	1,621,307.83	627,166.58	18,769.00	85,357.00	142.50	
葛飾区	975,688.00	—	85,574.00	81,262.00	—	
江戸川区	2,233,383.54	117,899.10	78,941.96	139,427.00	—	
計	14,360,226.90	2,949,993.34	746,798.43	835,346.65	8,071.44	

表5 公園・緑地・緑道・植樹帯・花壇の面積（市および町）

単位：㎡

行政機関	公園	緑地	緑道	植樹帯	花壇	摘要
八王子市	3,111,978.00	2,554,672.00	—	—	—	
立川市	424,035.00	216,098.00	—	—	—	
武蔵野市	219,912.00	2,583.00	—	—	21.00	
三鷹市	回答なし	—	—	—	—	
青梅市	824,137.10	66,884.30	—	24,091.00	1,855.30	
府中市	1,198,852.23	31,656.18	120,068.70	—	—	
昭島市	453,144.32	21,124.35	—	15,031.40	—	
調布市	347,265.02	75,496.05	24,234.92	—	—	
町田市	回答なし	—	—	—	—	
小金井市	108,490.00	53,802.00	10,252.00	9,631.50	123.50	
小平市	345,304.00	135,586.00	83,461.00	17,473.00	57.00	
日野市	483,489.00	213,783.00	3,158.00	8,485.00	937.00	
東村山市	回答なし	—	—	—	—	
国分寺市	105,695.91	22,506.98	2,902.02	—	—	
国立市	回答なし	—	—	—	—	
福生市	回答なし	—	—	—	—	
狛江市	69,275.00	24,995.00	36,953.00	2,080.00	—	
東大和市	127,681.79	177,895.15	22,137.85	26,170.00	—	
清瀬市	250,014.25	168,136.80	6,779.88	4,681.00	—	
東久留米市	190,510.00	32,891.00	—	7,654.00	—	
武蔵村山市	211,312.35	15,214.38	22,856.00	13,834.00	—	
多摩市	1,356,527.60	643,068.60	—	100,639.00	—	
稲城市	554,704.11	409,514.72	—	61,072.00	—	
羽村市	285,749.00	63,582.00	3,854.00	—	—	
あきる野市	275,805.53	143,029.63	—	—	—	
西東京市	240,099.00	6,783.00	—	9,154.00	116.00	
瑞穂町	103,978.00	17,495.00	48,776.00	—	—	
日の出町	43,224.00	12,127.00	—	5,354.00	—	
檜原町	回答なし	—	—	—	—	
奥多摩町	回答なし	—	—	—	—	
計	11,331,183.21	5,108,924.14	385,433.37	305,349.90	3,109.80	
合計	53,395,584.51	11,692,917.48	1,132,231.80	1,292,967.55	11,181.24	

## 緑化の動向

表6 平成24年度に造成されたユニークな公園・緑道

行政機関	公園／緑道名	所在地	概要
千代田区	千代田区立芳林公園	千代田区外神田 3-5-18	地元協議会による計画づくりの中で施設管理や子ども専用利用として整備
新宿区	おとめ山公園（拡張整備）	新宿区下落合 2-10	谷戸地形の再生やみどり・湧水の保全拡充を図るため、平成24年度から3ヵ年をかけて既存公園の拡張整備を行う（平成24年度に一部区域の工事完了）
文京区	入谷南公園	台東区松が谷 3-23-7	緑の小山と個性的な遊具
江東区	竪川河川敷公園	江東区亀戸 6-33 先～ 9-1 先	「スポーツ公園」フットサルコートほか
目黒区	目黒天空庭園	目黒区大橋 1-9-2	高速道路のジャンクションの屋上に整備した立体都市公園
大田区	ガラクタ公園（萩中公園内）	大田区萩中 3-26-46	使用済みとなった都電、トラック、船等を配置し、運転席に乗ったりできるようにした公園
世田谷区	二子多摩川公園	世田谷区多摩川 1-16-1	面積 3.6ha（日本庭園・花壇・植栽）
渋谷区	富ヶ谷三本杉公園	渋谷区富ヶ谷 2-2-3	
中野区	中野四季の森公園	中野区中野 4-13	区立公園と事業者が整備した公共空地が、一体的に機能し、連側的な空間となるよう運営を行っている。みどり豊かな環境とにぎわいが調和した空間となっている。災害用トイレ・防災井戸などの防災施設も備えている
杉並区	与謝野公園	杉並区南荻窪 4-3-22	
板橋区	本町街かど公園	板橋区本町 37	地下鉄駅上部 92㎡余りの公園だが、大和町交差点に面しているため、環境に特に配慮している

行政機関	公園／緑道名	所在地	概要
江戸川区	本一色さくら公園	江戸川区本一色 3-25	お花見のできる防災機能を備えた公園。地元住民とのアイデア検討会実施
江戸川区	東葛西くろまつひろば	江戸川区東葛西 8-31	左近川親水緑道に接している新たな憩いのスペース。親水緑道と合わせたかつての葛西の原風景であるクロマツを中心に植栽
江戸川区	松島ふれあいひろば	江戸川区松島 3-16	密集住宅市街地整備促進事業による防災機能を備えた公園。地元住民とのアイデア検討会実施
江戸川区	船堀中公園	江戸川区船堀 2-8-6	新川千本桜の修景に合わせた再整備
八王子市	高尾駒木野公園	八王子市裏高尾 268-1	枯山水、露地や池泉回遊式の本格的な日本庭園
武蔵野市	三谷公園	武蔵野市西久保 1-6	拡充
武蔵野市	はなもみじ公園	武蔵野市吉祥寺北町 2-20	既存の樹木を活かした公園
武蔵野市	吉祥寺北緑地	武蔵野市吉祥寺北町 1-23	既存の樹木を活かした公園
武蔵野市	境本公園	武蔵野市境南町 3-14	ボール遊びのできる公園
調布市	八雲台公園	調布市八雲台 1-42-1	健康遊具の設置
調布市	下布田公園	調布市布田 2-26-4	健康遊具の設置
清瀬市	ひばりが丘団地南公園	ひばりが丘団地	防災施設（かまどベンチ2基、防災トイレ3基、防火貯水槽）を設置（URが設置後、市に移管）

## 緑化の動向

表7 平成25年度以降に計画されているユニークな公園・緑道

行政機関	公園／緑道名	所在地	概要
千代田区	千代田区立秋葉原公園	千代田区神田佐久間町 1-18	地元協議会による計画づくりを進めていく
板橋区	(仮称) 新河岸東公園	板橋区舟渡 1-10	区内初のフットサル場を整備
江戸川区	(仮称) 篠崎二丁目第三公園	江戸川区篠崎町 2-42-15	地元住民とのアイデア検討会実施
江戸川区	(仮称) 葛西3号公園	江戸川区東葛西 6-12-1	地域の歴史を伝えるメモリアル広場と防災施設を整備した公園
江戸川区	(仮称) 西瑞江二丁目3号公園	江戸川区西瑞江 2-21	地元住民とのアイデア検討会実施
江戸川区	(仮称) 中央一丁目緑地	江戸川区中央 1-8	小松川境川緑地の一部。近隣の緑地と連続性を持たせ、新たな憩いのスペースとして整備
江戸川区	(仮称) 一之江一丁目緑地	江戸川区一之江 1-2	一之江境川緑地の一部。近隣の緑地と連続性を持たせて整備
武蔵野市	吉祥寺の杜 宮本小路公園	武蔵野市吉祥寺東町 1-17	新設・ワークショップ
武蔵野市	木の花小路公園	武蔵野市吉祥寺北町 3-8	拡充
東久留米市	南町第12緑地	東久留米市南町1丁目	タコの遊具を設置予定、都営アパートの改修にももない整備される

表8 平成24年度に実施された屋上緑化・壁面緑化・校庭の芝生化

単位：千円

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
中央区	屋上緑化	銀座中学校	中央区銀座 8-19-15	22,575	芝、ラベンダー、イワダレソウほか
中央区	屋上緑化	久松小学校	中央区日本橋久松町 7-2	2,887	ビオトープ
文京区	屋上緑化	森鷗外記念館	文京区千駄木 1-23-4		ドウダンツツジ
文京区	屋上緑化	文京総合体育館	文京区本郷 7-1-2		フィリフェラオーレア
文京区	屋上緑化	(仮称)千石地域拠点施設	文京区千石 1-4-3	2,252	セダム
文京区	壁面緑化	文京総合体育館	文京区本郷 7-1		ヘデラ
台東区	屋上緑化	台東育英小学校	台東区浅草橋 2-26-8	16,118	芝生
台東区	屋上緑化	金竜小学校	台東区千束 1-9-9	12,495	芝生
台東区	壁面緑化	本庁舎	台東区東上野 4-5-6	<small>リース月89000円×約28年程度まで償却</small>	シロタエギク、ヒューケラ、サルココッカ、カレックス
台東区	壁面緑化	東浅草小学校	台東区東浅草 2-27-19	7,875	宿根朝顔
墨田区	屋上緑化	墨田中学校	墨田区向島 4-25-22	9,555	ハツユキカズラ
墨田区	壁面緑化	錦糸小学校	墨田区錦糸 1-19-12	4,032	テイカカズラ、カロライナジャスミンほか
江東区	屋上緑化	豊洲小学校	江東区豊洲 4-4-4		
江東区	屋上緑化	新砂保育園	江東区新砂 3-3-11	3,517	ツツジ、アイリス、アガパンサスほか
江東区	屋上緑化	城東保育園	江東区南砂 7-9-11	3,585	芝
江東区	壁面緑化	東砂小学校	江東区東砂 2-12-14	1,662	
江東区	壁面緑化	平久小学校	江東区木場 1-2-2	105	
江東区	壁面緑化	新砂保育園	江東区新砂 3-3-11	6,355	ヘデラヘリックス
江東区	壁面緑化	城東保育園	江東区南砂 7-9-11	684	ヘデラヘリックス、スイカズラ、カロライナジャスミン、ヘデラカナリエンシ
江東区	校庭の芝生化	東砂小学校	江東区東砂 2-12-14	7,009	
江東区	校庭の芝生化	平久小学校	江東区木場 1-2-2	11,727	
江東区	校庭の芝生化	新砂保育園	江東区新砂 3-3-11	3,215	
品川区	屋上緑化	荏原第三地域センター	品川区平塚 1-13-18	本体工事費に含む	約60㎡、セダム
品川区	屋上緑化	清水台小学校	品川区旗の台 1-11-17	本体工事費に含む	約200㎡、セイヨウカナメモチ、芝、タマリユウ、リュウノヒゲ
品川区	屋上緑化	荏原第六中学校	品川区荏原 5-20-19	外構工事費に含む	約250㎡、タマリユウ、リュウノヒゲ等
品川区	壁面緑化	荏原第六中学校	品川区荏原 5-20-19	外構工事費に含む	約40㎡、ヘデラ等
品川区	屋上緑化	(仮称)平塚小学校跡文化スポーツ施設・平塚幼保一体施設	品川区荏原 4-5-31	本体工事費に含む	約600㎡、アベリアホープレイズ、ピンカミノール、ドウダンほか
品川区	屋上緑化	小中一貫校 豊葉の森学園	品川区二葉 1-3-40	外構工事費に含む	約1,300㎡、芝、セダム等
品川区	屋上緑化	三ツ木保育園	品川区西品川 1-9-18	5,985,000	約60㎡、芝等
品川区	壁面緑化	三ツ木保育園	品川区西品川 1-9-18	屋上緑化工事費に含む	約8㎡、テイカカズラ等
大田区	屋上緑化	嶺町小学校	大田区田園調布南 6-10	3,700	ソメイヨシノ、ハナミズキ、コブシ、ウメ、ドウダンツツジ、ヤマブキ
大田区	屋上緑化	出雲中学校	大田区本羽田 3-4-15	10,770	高麗芝
大田区	屋上壁面	古川こどもの家	大田区西六郷 1-18	739	ウメ、クスノキ、カナメモチ、マツバギク、高麗芝

## 緑化の動向

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
大田区	屋上緑化	森が崎保育園	大田区大森南 2-2	1,328	ツツジ、カンツバキ、ウメ、ソメイヨシノ、高麗芝
大田区	校庭の芝生化	雪谷小学校	大田区南雪谷 3-9-26	77,872	
世田谷区	屋上緑化	二子多摩川小学校	世田谷区玉川 4-6-1	改築工事費に含む	コウライシバ
世田谷区	屋上緑化	北沢中学校	世田谷区北沢 5-12-3	改築工事費に含む	コウライシバ
世田谷区	壁面緑化	松原小学校	世田谷区松原 5-43-26	672	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	駒繫小学校	世田谷区下馬 1-42-12	756	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	松丘小学校	世田谷区弦巻 3-23-12	756	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	東玉川小学校	世田谷区奥沢 1-1-1	816	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	桜町小学校	世田谷区用賀 1-5-1	725	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	用賀小学校	世田谷区上用賀 6-14-1	804	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	烏山小学校	世田谷区給田 1-2-1	682	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	明正小学校	世田谷区成城 3-3-1	644	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	希望丘小学校	世田谷区船橋 4-9-1	745	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	緑丘中学校	世田谷区桜上水 3-19-12	769	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	奥沢中学校	世田谷区奥沢 1-42-1	696	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	八幡中学校	世田谷区等々力 6-4-1	785	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	深沢中学校	世田谷区新町 1-26-29	769	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	砧南中学校	世田谷区鎌田 3-13-20	696	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	喜多見中学校	世田谷区喜多見 4-20-1	785	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	校庭の芝生化	池尻小学校	世田谷区池尻 2-4-10	36,783	
世田谷区	校庭の芝生化	京西小学校	世田谷区用賀 4-27-4	30,935	
世田谷区	校庭の芝生化	上北沢小学校	世田谷区上北沢 4-22-29	改築工事費に含む	
世田谷区	校庭の芝生化	烏山北小学校	世田谷区北烏山 6-3-1	改築工事費に含む	
世田谷区	校庭の芝生化	芦花小学校	世田谷区粕谷 2-22-1	改築工事費に含む	
世田谷区	校庭の芝生化	千歳台小学校	世田谷区千歳台 4-24-1	改築工事費に含む	
世田谷区	校庭の芝生化	芦花中学校	世田谷区粕谷 2-22-2	改築工事費に含む	
渋谷区	屋上緑化	神宮前5丁目幼保一元化施設	渋谷区神宮前 5-6-1	不明	タマリユウ
渋谷区	屋上緑化	神宮前3丁目幼保一元化施設	渋谷区本町 3-39-15	不明	タマリユウ
渋谷区	壁面緑化	神宮前5丁目幼保一元化施設	渋谷区神宮前 5-6-1	不明	ヘデラヘリックス、ハゴロモジャスミン
渋谷区	壁面緑化	神宮前3丁目幼保一元化施設	渋谷区本町 3-39-15	不明	ヘデラヘリックス、ハゴロモジャスミン
杉並区	壁面緑化	永福小学校	杉並区永福 2-16-33	6,200	ヤブラン、ヘデラヘリックス
北区	壁面緑化	神谷小学校	北区神谷 2-30-5	2,200	ヘチマ、小玉スイカ、キュウリ、ゴーヤほか
北区	壁面緑化	滝野川第四小学校	北区東田端 2-5-23	2,200	ヘチマ、小玉スイカ、キュウリ、ゴーヤほか

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
荒川区	壁面緑化	本庁舎	荒川区荒川 2-2-3	370	ヒルガオ
荒川区	壁面緑化	石浜ふれあい館	荒川区南千住 3-28-2	343	ヘデラカナリエンシス
荒川区	屋上緑化	夕やけこやけふれあい館	荒川区東日暮里 3-11-19	411	メキシコマンネングサ、サカサマンネングサ等
荒川区	壁面緑化	夕やけこやけふれあい館	荒川区東日暮里 3-11-19	54	指定管理者によるプランター植栽
荒川区	屋上緑化	尾久八幡中学校	荒川区西尾久 3-14-1	353	
荒川区	壁面緑化	尾久八幡中学校	荒川区西尾久 3-14-1	1,423	
板橋区	屋上緑化	板橋第二中学校	板橋区幸町 26-1		ヒラドツツジ
板橋区	屋上緑化	赤塚第二中学校	板橋区成増 3-18-1	6,958	ビョウヤナギ、サツキ、アベリアほか
板橋区	屋上緑化	板橋第一小学校	板橋区氷川町 13-1	3,607	ヒメイワダレソウ
板橋区	壁面緑化	板橋第二中学校	板橋区幸町 26-1	1,433	カロライナジャスミン
板橋区	壁面緑化	赤塚第二中学校	板橋区成増 3-18-1	1,818	不明
板橋区	壁面緑化	板橋第一小学校	板橋区氷川町 13-1	65	不明
板橋区	校庭の芝生化	志村第五中学校	板橋区西台 3-38-23	42,000	
足立区	壁面緑化	リサイクルセンター	足立区中央本町 2-9-1	184	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	壁面緑化	江北小学校	足立区江北 3-50-1	1,019	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	壁面緑化	舎人小学校	足立区舎人 1-25-32	935	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	壁面緑化	中川北小学校	足立区六木 1-6-10	1,229	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	壁面緑化	北鹿浜小学校	足立区鹿浜 5-27-1	861	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	壁面緑化	中島根小学校	足立区島根 2-9-22	914	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	その他	綾瀬川堤防緑化	足立区綾瀬 1-35 付近	1,733	ヘデラカナリエンシス、ヒメツルシバ
葛飾区	屋上緑化	中青戸小学校	葛飾区青戸 4-24-1	13,455	キリンソウ、サツキほか
葛飾区	屋上緑化	水元体育館	葛飾区水元 1-24-6	2,909	地被植物（マツバギク他）
葛飾区	校庭の芝生化	中之台小学校	葛飾区亀有 5-2-1	31,016	
江戸川区	屋上緑化	鹿骨東小学校	江戸川区鹿骨 3-7-1		屋上防水工事費に含む タマリユウ
江戸川区	屋上緑化	松江小学校	江戸川区松江 1-16-5		改築工事費に含む シバザクラ
八王子市	校庭の芝生化	第五小学校（工事等）	八王子市千人町 3-7-7	13,613	
八王子市	校庭の芝生化	第一小学校（設計等）	八王子市元横山町 2-14-3	2,448	
立川市	校庭の芝生化	第三小学校	立川市錦町 3-4-1	7,293	
立川市	校庭の芝生化	第四小学校	立川市富士見町 4-4-1	13,097	
青梅市	屋上緑化	第2小学校	青梅市長淵 4-437	418	ノシバ（2ヵ年工事）
府中市	屋上緑化	第五中学校	府中市新町 2-44		
府中市	校庭の芝生化	四谷小学校	府中市四谷 3-2740	68,040	
府中市	校庭の芝生化	若松小学校	府中市若松町 3-11	30,345	

## 緑化の動向

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
昭島市	校庭の芝生化	共成小学校	昭島市郷地町 2-6-1	9,047	
昭島市	校庭の芝生化	富士見丘小学校	昭島市福島町 890	6,317	
昭島市	校庭の芝生化	中神小学校	昭島市朝日町 5-8-5	8,281	
昭島市	校庭の芝生化	光華小学校	昭島市昭和町 4-5-13	12,647	
昭島市	校庭の芝生化	田中小学校（拡張）	昭島市田中町 3-4-1	4,028	
昭島市	校庭の芝生化	拝島第三小学校	昭島市松原町 3-12-15	8,186	
調布市	壁面緑化	市庁舎	調布市小島町 2-35-1		アサガオ、ゴーヤ
調布市	壁面緑化	緑ヶ丘小学校	調布市緑ヶ丘 2-16-1	157	
調布市	壁面緑化	国領小学校	調布市国領町 8-1-55	582	
調布市	壁面緑化	布田小学校	調布市染地 1-1-85	435	
調布市	壁面緑化	調和小学校	調布市西つつじヶ丘 4-22-6	178	
調布市	壁面緑化	第七中学校	調布市八雲 2-16-1	640	
調布市	校庭の芝生化	調和小学校	調布市西つつじヶ丘 4-22-6	16,432	
小金井市	壁面緑化	本庁舎	小金井市本町 6-6-3	1,229	
小金井市	校庭の芝生化	前原小学校	小金井市前原小 3-4-22	76,429	
小平市	屋上緑化	花小金井保育園	小平市花小金井 5-41-3	0	ゴーヤ、ヘチマ
小平市	壁面緑化	市役所	小平市小川町 2-1333	200	ゴーヤ、アサガオ
小平市	壁面緑化	大沼保育園	小平市大沼町 2-2-8	0	ゴーヤ、アサガオ
小平市	壁面緑化	喜平保育園	小平市喜平町 3-2-36	0	ゴーヤ、アサガオ、フジ
小平市	壁面緑化	津田保育園	小平市津田町 3-31-7	0	ゴーヤ
小平市	壁面緑化	鈴木保育園	小平市鈴木町 2-219	0	アサガオ
小平市	壁面緑化	小川保育園	小平市小川町 1-983	0	ゴーヤ、アサガオ
小平市	壁面緑化	小川西保育園	小平市小川西町 5-13-22	0	ゴーヤ
小平市	壁面緑化	仲町保育園	小平市仲町 7	1	ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラ
小平市	壁面緑化	花小金井保育園	小平市花小金井 5-41-3	0	ゴーヤ、アサガオ、ハヤトウリ
小平市	壁面緑化	上宿保育園	小平市小川町 1-308	0	ゴーヤ、アサガオ、カボチャ
小平市	壁面緑化	上水南保育園	小平市上水南町 3-8-2	0	ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラ
小平市	壁面緑化	小平第七小学校	小平市大沼町 1-22-1	242	ゴーヤ
小平市	壁面緑化	小平第十五小学校	小平市小川町 2-1136	290	ゴーヤ
小平市	壁面緑化	学園東町小学校	小平市学園東町 2-15-1	403	アサガオ
小平市	壁面緑化	上宿小学校	小平市小川町 1-327	91	アサガオ
小平市	壁面緑化	小川町一丁目地域センター・児童館	小平市小川町 1-3045	6,216	スナゴケ
国分寺市	屋上緑化	第四中学校	国分寺市西元町 3-10-7	0	チューリップ 50 個

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
国分寺市	壁面緑化	第二小学校	国分寺市光町 3-1	11	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第三小学校	国分寺市東恋ヶ窪 2-13	15	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第五小学校	国分寺市日吉町 1-30	2	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第六小学校	国分寺市並木町 2-1	8	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第七小学校	国分寺市本多 1-2-1	5	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第八小学校	国分寺市西町 5-18	9	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第五中学校	国分寺市並木町 2-15	70	ゴーヤ、カボチャ、ヘチマ
国分寺市	壁面緑化	ひかりプラザ	国分寺市光町 1-46-8	0	ゴーヤ
国分寺市	校庭の芝生化	第七小学校	国分寺市本多 1-2-1	0 (都事業)	ロール芝
国分寺市	校庭の芝生化	第九小学校	国分寺市西恋ヶ窪 4-12-6	45	
狛江市	屋上緑化	駒井保育園	狛江市駒井町 2-28-6	1,545	常緑キリンソウ、メキシコマンネングサ
東大和市	校庭の芝生化	第八小学校	東大和市立野 3-1255	61,950	
東久留米市	校庭の芝生化	第十小学校	東久留米市柳窪 5-9-43	45,453	
清瀬市	壁面緑化	清瀬小学校	清瀬市中里 5-741	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第三小学校	清瀬市竹丘 1-15-4	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第四小学校	清瀬市中里 2-1471	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第六小学校	清瀬市梅園 2-9-45	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第八小学校	清瀬市中清戸 4-1070	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第十小学校	清瀬市中清戸 1-454-14	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬中学校	清瀬市中里 5-624	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第三中学校	清瀬市旭が丘 1-262	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第四中学校	清瀬市野塩 3-2-3	140	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第五中学校	清瀬市中清戸 3-258-1	140	
清瀬市	校庭の芝生化	清瀬第六小学校	清瀬市梅園 2-9-45	27,500	
清瀬市	校庭の芝生化	清瀬第七小学校	清瀬市松山 3-1-92	82,000	
稲城市	校庭の芝生化	平尾小学校	稲城市平尾 3-1-3	12,000	
稲城市	校庭の芝生化	稲城第2中学校	稲城市坂浜 1340	34,000	
羽村市	屋上緑化	生涯学習センターゆとろぎ	羽村市緑ヶ丘 1-11-5	0	芝生
羽村市	屋上緑化	図書館	羽村市緑ヶ丘 2-11-2	0	ハーブ等
羽村市	壁面緑化	市役所	羽村市緑ヶ丘 5-2-1	30	ゴーヤ
羽村市	壁面緑化	東保育園	羽村市神明台 1-3-9	2	ゴーヤ
羽村市	壁面緑化	しらうめ保育園	羽村市羽東 1-29-16	2	アサガオ、スズメウリ、オカワカメ
羽村市	壁面緑化	西保育園	羽村市羽西 1-7-3	8	ゴーヤ

## 緑化の動向

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
羽村市	壁面緑化	さくら保育園	羽村市羽加美 2-16-1	5	
羽村市	壁面緑化	スポーツセンター	羽村市羽加美 1-29-5	0	
羽村市	壁面緑化	西小学校	羽村市羽加美 4-2-9	0	
羽村市	壁面緑化	富士見小学校	羽村市五ノ神 4-9-5	0	
羽村市	壁面緑化	栄小学校	羽村市栄町 2-17	0	
羽村市	壁面緑化	松林小学校	羽村市羽 4122-2	0	
羽村市	壁面緑化	小作台小学校	羽村市小作台 4-13-1	0	
羽村市	壁面緑化	生涯学習センターゆとろぎ	羽村市緑ヶ丘 1-11-5	0	ゴーヤ
羽村市	壁面緑化	図書館	羽村市緑ヶ丘 2-11-2	0	ゴーヤ
西東京市	校庭の芝生化	保谷小学校	西東京市保谷町 1-3-35		芝生化工事費 46,515、維持管理費 1,565
西東京市	校庭の芝生化	柳沢小学校	西東京市南町 2-12-37		芝生化工事費 48,825、維持管理費 1,785
瑞穂町	壁面緑化	役場庁舎	瑞穂町大字箱根ヶ崎 2335	305	ゴーヤ、リュウキュウアサガオ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第一小学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎 2287	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第二小学校	瑞穂町大字長岡長谷部 250	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第三小学校	瑞穂町大字二本木 670	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第四小学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎西松原 2-1	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第五小学校	瑞穂町大字殿ヶ谷 1160	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂中学校	瑞穂町大字石畑 1961-1	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第二中学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎 1172	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	あすなろ児童館	瑞穂町大字石畑 1837	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	元狭山コミュニティセンター	瑞穂町大字二本木 673-1	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	校庭の芝生化	瑞穂第五小学校	瑞穂町大字殿ヶ谷 1160	120,414	
日の出町	校庭の芝生化	大久野小学校	日の出町大久野 1176		他工事と一括発注

表9 平成25年度以降に計画されている屋上緑化・壁面緑化・校庭の芝生化

単位：千円

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
千代田区	屋上緑化	番町小学校	千代田区六番町 8	19,588	芝生
千代田区	屋上緑化	神田一橋中学校	千代田区一ツ橋 2-6-14		ローズマリー、コモンタイム (予定)
千代田区	壁面緑化	神田一橋中学校	千代田区一ツ橋 2-6-14		ナッツタ (予定)
中央区	壁面緑化	京橋築地小学校	中央区築地 2-13-1	965	
新宿区	屋上緑化	鶴巻小学校	新宿区早稲田鶴巻町 140	14,250	天然芝
新宿区	屋上緑化	富久小学校	新宿区富久町 7-24	14,250	天然芝
新宿区	屋上の芝生化	天神小学校	新宿区新宿 6-14-2	61,750	
文京区	屋上緑化	第六中学校	文京区向丘 1-2-15	2,305	ノシバ (126.676㎡)
文京区	屋上緑化	(仮称) 千石地域拠点施設	文京区千石 1-4-3	4,490	ツツジ、サザンカ、セダム
文京区	壁面緑化	第六中学校	文京区向丘 1-2-15	702	ムベ (23.583㎡)
墨田区	校庭の芝生化	第三吾嬬小学校	墨田区八広 2-36-3	100,485	
江東区	屋上緑化	第二亀戸中学校	江東区亀戸 4-51-1	未定	
江東区	屋上緑化	第二辰巳小学校	江東区辰巳 1-11-1	未定	
江東区	屋上緑化	(仮称) シビックセンター	江東区豊洲 2-2	20,100	オオシマザクラ、ハマボウ、シャリンバイ
江東区	屋上緑化	小名木川保育園	江東区北砂 1-3	7,660	芝
江東区	壁面緑化	第二亀戸中学校	江東区亀戸 4-51-1	未定	
江東区	壁面緑化	扇橋小学校	江東区石島 18-5	未定	
江東区	壁面緑化	(仮称) シビックセンター	江東区豊洲 2-2	38,600	テイカカズラ、スイカズラ
江東区	壁面緑化	小名木川保育園	江東区北砂 1-3	1,370	ヘデラカナリエンス、ムベ
江東区	校庭の芝生化	東砂小学校	江東区東砂 2-12-14	7,009	
品川区	屋上緑化	御殿山小学校	品川区北品川 5-2-6	約 150㎡	芝等
目黒区	屋上緑化	東山小学校	目黒区東山 2-24-25	未定	未定
目黒区	屋上緑化	区営碑文谷アパート新築工事	目黒区碑文谷 2-7-5	未定	未定
目黒区	壁面緑化	東山小学校	目黒区東山 2-24-25	未定	未定
目黒区	校庭の芝生化	東山小学校	目黒区東山 2-24-25	未定	未定
大田区	屋上緑化	馬込小学校	大田区南馬込 1-34-1	11,263	薔薇、ユスラウメ、ナワシログミ、キンカン、ユズ、カボス、ヒメリンゴ
大田区	屋上緑化	西六郷小学校	大田区西六郷 2-3-1	起工中	
大田区	屋上緑化	仲六郷二丁目複合施設	大田区仲六郷 2-44	51,656	ボックスウッド、ツツジ、ナンテン、サツキ、クスノキ、キヤラボク、ヤツデ
大田区	壁面緑化	仲六郷二丁目複合施設	大田区仲六郷 2-44	51,656	ボックスウッド、ツツジ、ナンテン、サツキ、クスノキ、キヤラボク、ヤツデ
大田区	沿道緑化	仲六郷二丁目複合施設	大田区仲六郷 2-44	51,656	ボックスウッド、ツツジ、ナンテン、サツキ、クスノキ、キヤラボク、ヤツデ
大田区	壁面緑化	新井宿特別出張所	大田区中央 1-21-10	5,439	リュウノヒゲ、ヘデラヘリックス
大田区	沿道緑化	新井宿特別出張所	大田区中央 1-21-10	5,439	リュウノヒゲ、ヘデラヘリックス
大田区	壁面緑化	障がい者サポートセンター	大田区中央 4-30	7,140	カスミ、ヒメシャク、ヤマキ、ヘチマ、ツルネリ、ヤブキ、加賀ハハコ、ヘチマ、ハハコ
大田区	沿道緑化	障がい者サポートセンター	大田区中央 4-30	7,140	カスミ、ヒメシャク、ヤマキ、ヘチマ、ツルネリ、ヤブキ、加賀ハハコ、ヘチマ、ハハコ

## 緑化の動向

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
大田区	校庭の芝生化	多摩川小学校	大田区矢口 3-26-25	79,343	
世田谷区	屋上緑化	千歳小学校	世田谷区成城 9-6-1	改築工事費に含む	キリンソウ
世田谷区	屋上緑化	世田谷中学校	世田谷区若林 5-27-18	改築工事費に含む	ハツユキカズラ
世田谷区	屋上緑化	船橋希望中学校	世田谷区船橋 6-25-1	改築工事費に含む	ヘデラヘリックス
世田谷区	壁面緑化	駒繫小学校	世田谷区下馬 1-42-12	793	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	松丘小学校	世田谷区弦巻 3-23-12	793	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	東玉川小学校	世田谷区奥沢 1-1-1	864	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	桜町小学校	世田谷区用賀 1-5-1	766	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	用賀小学校	世田谷区上用賀 6-14-1	846	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	烏山小学校	世田谷区給田 1-2-1	726	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	明正小学校	世田谷区成城 3-3-1	685	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	希望丘小学校	世田谷区船橋 4-9-1	783	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	校庭の芝生化	千歳台小学校	世田谷区千歳台 4-24-1	817	
世田谷区	壁面緑化	緑丘中学校	世田谷区桜上水 3-19-12	808	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	奥沢中学校	世田谷区奥沢 1-42-1	745	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	八幡中学校	世田谷区等々力 6-4-1	829	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	深沢中学校	世田谷区新町 1-26-29	819	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	砧南中学校	世田谷区鎌田 3-13-20	756	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	壁面緑化	喜多見中学校	世田谷区喜多見 4-20-1	819	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	屋上緑化	二子多摩川小学校	世田谷区玉川 4-6-1	改築工事費に含む	コウライシバ
世田谷区	屋上緑化	北沢中学校	世田谷区北沢 5-12-3	改築工事費に含む	コウライシバ
世田谷区	壁面緑化	松原小学校	世田谷区松原 5-43-26	672	ヘチマ、キュウリ、アサガオ、ゴーヤ
世田谷区	校庭の芝生化	赤堤小学校	世田谷区赤堤 1-41-24	32,585	
世田谷区	校庭の芝生化	千歳小学校	世田谷区成城 9-6-1	改築工事費に含む	
渋谷区	屋上緑化	山谷小学校	渋谷区代々木 3-47-1	不明	芝生
渋谷区	屋上緑化	児童福祉センター複合施設	渋谷区本町 6-3-1	不明	リュウノヒゲ
渋谷区	壁面緑化	山谷小学校	渋谷区代々木 3-47-1		カロライナジャスミン
渋谷区	壁面緑化	児童福祉センター複合施設	渋谷区本町 6-3-1		ヘデラヘリックス
渋谷区	壁面緑化	恵比寿地区認定こども園	渋谷区恵比寿 1-19		ヘデラヘリックス、カロライナジャスミン
杉並区	屋上緑化	(仮称) 杉並区大宮前体育館	杉並区南荻窪 2-1	59,517	芝、シロツメグサ
杉並区	屋上緑化	高井戸第二小学校	杉並区久我山 4-49-1	5,120	芝
杉並区	屋上緑化	(仮称) 杉並区新泉・和泉地区小中一貫教育校	杉並区和泉 2-17	8,461	ドウダンツツジ、ジンチョウゲ
杉並区	壁面緑化	(仮称) 杉並区大宮前体育館	杉並区南荻窪 2-1	22	アケビ、ツキヌキニンドウ
杉並区	校庭の芝生化	(仮称) 杉並区新泉・和泉地区小中一貫教育校	杉並区和泉 2-17	19,369	

## 緑化の動向

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
北区	屋上緑化	王子第二小学校	北区王子本町 2-2-5	20,334	高麗芝ほか
北区	壁面緑化	荒川小学校	北区中十条 3-1-6	2,269	ヘチマ、小玉スイカ、キュウリ、ゴーヤほか
北区	壁面緑化	稲田小学校	北区赤羽南 2-23-24	2,269	ヘチマ、小玉スイカ、キュウリ、ゴーヤほか
荒川区	壁面緑化	本庁舎	荒川区荒川 2-2-3	370	ヒルガオ
荒川区	校庭の芝生化	第九峡田小学校	荒川区荒川 6-8-1	7,557	
板橋区	屋上緑化	中台中学校	板橋区中台 1-56-23	12,686	イブキジャコウソウ、サツキツツジほか
板橋区	壁面緑化	志村第五中学校	板橋区西台 3-38-23	2,050	ヘデラ、琉球アサガオ
板橋区	壁面緑化	下赤塚小学校	板橋区赤塚 6-14-1	208	不明
板橋区	壁面緑化	中台中学校	板橋区中台 1-56-23	834	不明
板橋区	校庭の芝生化	成増ヶ丘小学校	板橋区成増 3-17-7	30,000	
板橋区	校庭の芝生化	志村第五中学校	板橋区西台 3-38-23	170	
足立区	壁面緑化	リサイクルセンター	足立区中央本町 2-9-1	1,890	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	壁面緑化	青井小学校ほか 22 校	足立区青井 3-12-2 ほか	1,365	ゴーヤ等グリーンカーテン
足立区	壁面緑化	足立区入谷小学校ほか 26 校	足立区入谷 3-8-1	1,710	ゴーヤ等グリーンカーテン
江戸川区	屋上緑化	鹿本中学校	江戸川区松本 1-36-1	屋上防水工事に含む	タマリユウ
江戸川区	屋上緑化	第二葛西小学校	江戸川区東葛西 6-33-1	改築工事費に含む	シバザクラ、セダム、コニファーなど
江戸川区	屋上緑化	船堀小学校	江戸川区船堀 2-22-22	改築工事費に含む	シバザクラ、シロツメグサ、フィリフェラオーレアなど
江戸川区	屋上緑化	春江小学校	江戸川区瑞江 1-3-10	改築工事費に含む	オタフクナンテン、サツキ
江戸川区	屋上緑化	松江第五小学校	江戸川区一之江 6-18-1	改築工事費に含む	ソヨゴ、アセビ、フィリヤブランなど
八王子市	校庭の芝生化	第一小学校（工事等）	八王子市元横山町 2-14-3	5,006	
立川市	校庭の芝生化	第一小学校（工事等）	立川市柴崎町 2-20-3		
武蔵野市	壁面緑化	市役所	武蔵野市緑町 2-2-28		アサガオ
青梅市	屋上緑化	第 2 小学校	青梅市長淵 4-437	418	ノシバ（2 ヶ年工事）
府中市	屋上緑化	第十小学校	府中市若松町 4-29		
府中市	校庭の芝生化	第十小学校	府中市若松町 4-29		
昭島市	校庭の芝生化	武蔵野小学校（拡張）	昭島市武蔵野 2-3-1	20,700	
昭島市	校庭の芝生化	瑞雲中学校	昭島市つつじが丘 2-2-6	6,900	
調布市	壁面緑化	緑ヶ丘小学校	調布市緑ヶ丘 2-16-1	178	
調布市	壁面緑化	国領小学校	調布市国領町 8-1-55	472	
調布市	壁面緑化	布田小学校	調布市染地 1-1-85	630	
調布市	壁面緑化	第七中学校	調布市八雲 2-16-1	635	
調布市	校庭の芝生化	国領小学校	調布市国領町 8-1-55	未契約	
小金井市	屋上緑化	けやき保育園	小金井市梶野町 1-2-3		
小金井市	壁面緑化	本庁舎	小金井市本町 6-6-3	1,229	

## 緑化の動向

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
小金井市	校庭の芝生化	南中学校	小金井市貫井南 1-26-1		
小平市	屋上緑化	花小金井保育園	小平市花小金井 5-41-3	1	ゴーヤ、サツマイモ
小平市	屋上緑化	仲町公民館・図書館	小平市仲町 145		未定
小平市	壁面緑化	市役所	小平市小川町 2-1333	200	ゴーヤ、アサガオ
小平市	壁面緑化	大沼保育園	小平市大沼町 2-2-8	0	ゴーヤ
小平市	壁面緑化	喜平保育園	小平市喜平町 3-2-36	1	ゴーヤ、フジ、フウセンカズラ
小平市	壁面緑化	津田保育園	小平市津田町 3-31-7	0	ゴーヤ、アサガオ
小平市	壁面緑化	鈴木保育園	小平市鈴木町 2-219	1	アサガオ、ヘチマ
小平市	壁面緑化	小川保育園	小平市小川町 1-983	6	ゴーヤ、スイカ、アサガオ
小平市	壁面緑化	小川西保育園	小平市小川西町 5-13-22	0	ゴーヤ
小平市	壁面緑化	仲町保育園	小平市仲町 7	0	ゴーヤ、ハヤトウリ、アサガオ
小平市	壁面緑化	花小金井保育園	小平市花小金井 5-41-3	0	ゴーヤ、ハヤトウリ、アサガオ
小平市	壁面緑化	上宿保育園	小平市小川町 1-308	0	ゴーヤ、アサガオ、カボチャ
小平市	壁面緑化	上水南保育園	小平市上水南町 3-8-2	0	ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラ
小平市	壁面緑化	小平第一小学校	小平市小川町 1-1082	132	ゴーヤ、アサガオ
小平市	壁面緑化	小平第十四小学校	小平市仲町 33	190	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第三小学校	国分寺市東恋ヶ窪 2-13	3,675	「みずいらず」(常緑キンソウ、メキシコマンネングサ)、セダム
国分寺市	屋上緑化	第四中学校	国分寺市西元町 3-10-7	0	チューリップ
国分寺市	壁面緑化	第三小学校	国分寺市東恋ヶ窪 2-13	18	ゴーヤ、ヒョウタン
国分寺市	壁面緑化	第五小学校	国分寺市日吉町 1-30	4	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第六小学校	国分寺市並木町 2-1	115	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第八小学校	国分寺市西町 5-18	9	ゴーヤ
国分寺市	壁面緑化	第十小学校	国分寺市戸倉 3-5	1	ツルレイシ (ゴーヤ)
国分寺市	壁面緑化	第五中学校	国分寺市並木町 2-15	70	ゴーヤ、カボチャ、ヘチマ
国分寺市	壁面緑化	ひかりプラザ	国分寺市光町 1-46-8	0	ゴーヤ
国分寺市	校庭の芝生化	第九小学校	国分寺市西恋ヶ窪 4-12-6	3	
狛江市	屋上緑化	岩戸地域センター	狛江市岩戸南 2-2-5	不明	不明
狛江市	屋上緑化	市庁舎	狛江市和泉本町 1-1-5	3,458	不明
狛江市	壁面緑化	防災センター	狛江市和泉本町 1-1-5	13,142	テイカカズラ、カラライナジャスミン、ハゴロモジャスミン
狛江市	壁面緑化	岩戸地域センター	狛江市岩戸南 2-2-5	不明	不明
狛江市	校庭の芝生化	第六小学校	狛江市駒井町 1-21-1	14,486	
東久留米市	校庭の芝生化	西中学校	東久留米市滝山 2-3-23	62,000	
清瀬市	壁面緑化	清瀬小学校	清瀬市中里 5-741	60	
清瀬市	壁面緑化	芝山小学校	清瀬市元町 2-16-8	60	

行政機関	区分	施設名	所在地	金額	植栽樹木等
清瀬市	壁面緑化	清瀬第四小学校	清瀬市中里 2-1471	60	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第七小学校	清瀬市松山 3-1-92	60	
清瀬市	壁面緑化	清明小学校	清瀬市旭が丘 2-8-1	60	
清瀬市	壁面緑化	清瀬第二中学校	清瀬市梅園 2-9-15	60	
清瀬市	校庭の芝生化	清瀬第八小学校	清瀬市中清戸 4-1070	80,800	
清瀬市	校庭の芝生化	清瀬第四中学校	清瀬市野塩 3-2-3	90,900	
稲城市	校庭の芝生化	向陽台小学校	稲城市向陽台 3-2	12,134	
稲城市	校庭の芝生化	稲城第四中学校	稲城市押立 1786	17,667	
羽村市	屋上緑化	生涯学習センターゆとろぎ	羽村市緑ヶ丘 1-11-5	0	芝生
羽村市	屋上緑化	図書館	羽村市緑ヶ丘 2-11-2	0	ハーブ等
羽村市	壁面緑化	市役所	羽村市緑ヶ丘 5-2-1	30	ゴーヤ
羽村市	壁面緑化	しらうめ保育園	羽村市羽東 1-29-16	2	アサガオ、スズメウリ、オカワカメ
羽村市	壁面緑化	さくら保育園	羽村市羽加美 2-16-1	3	
羽村市	壁面緑化	スポーツセンター	羽村市羽加美 1-29-5	0	
羽村市	壁面緑化	西小学校	羽村市羽加美 4-2-9	0	
羽村市	壁面緑化	富士見小学校	羽村市五ノ神 4-9-5	0	
羽村市	壁面緑化	松林小学校	羽村市羽 4122-2	0	
羽村市	壁面緑化	小作台小学校	羽村市小作台 4-13-1	0	
羽村市	壁面緑化	羽村第一中学校	羽村市羽中 3-6-33	0	
羽村市	壁面緑化	羽村第三中学校	羽村市川崎 697-1	0	
羽村市	壁面緑化	生涯学習センターゆとろぎ	羽村市緑ヶ丘 1-11-5	0	ゴーヤ
羽村市	壁面緑化	図書館	羽村市緑ヶ丘 2-11-2	0	ゴーヤ
西東京市	校庭の芝生化	芝久保小学校	西東京市芝久保町 3-7-1		芝生化工事費 55,125、維持管理費 1,355
瑞穂町	壁面緑化	役場庁舎	瑞穂町大字箱根ヶ崎 2335	341	ゴーヤ、リュウキュウアサガオ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第一小学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎 2287	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第二小学校	瑞穂町大字長岡長谷部 250	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第三小学校	瑞穂町大字二本木 670	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第四小学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎西松原 21	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第五小学校	瑞穂町大字殿ヶ谷 1160	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂中学校	瑞穂町大字石畑 1961-1	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	瑞穂第二中学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎 1172	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	あすなろ児童館	瑞穂町大字石畑 1837	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	壁面緑化	元狭山コミュニティセンター	瑞穂町大字二本木 673-1	(役場で取りまとめ)	ゴーヤ
瑞穂町	校庭の芝生化	瑞穂第二小学校	瑞穂町大字長岡長谷部 250	57,499	

# 緑化の動向

表 10 東京都内街路樹等管理者別数量調書

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

街路樹	合計規模			地区別規模計				都			道			国		区		市町村道		
	順位	本数	%	順位	区部	順位	多摩部他	区部	多摩部他	順位	合計	%	区部	多摩部	順位	合計	順位	合計	順位	合計
アオギリ	18	5,420	0.8%		4,893		527	3,036	331		3,367		41	0		41		1,816		196
アキニレ	20	5,032	0.7%		4,419		613	1,347	26		1,373		12	0		12		3,060		587
イチョウ	1	62,101	8.8%	1	39,200	2	22,901	19,353	8,950	1	28,303	7.2%	5,084	2,652	1	7,736	3	14,763	3	11,299
ウバメガシ		3,535			2,908		627	930	429		1,359		9	0		9		1,969		198
エンジュ類	10	13,270	1.9%	10	7,512	8	5,758	4,925	1,226	8	6,151	1.6%	262	152	10	414		2,325	7	4,380
クスノキ	7	20,024	2.8%	6	14,221	7	5,803	3,701	2,877	7	6,578	1.7%	62	37		99	4	10,458		2,889
ケヤキ	6	30,902	4.4%	7	13,279	5	17,623	4,201	6,858	5	11,059	2.8%	1,051	678	4	1,729	8	8,027	5	10,087
サクラ類	3	44,071	6.3%	4	26,137	4	17,934	3,456	4,336	6	7,792	2.0%	418	887	7	506	1	22,263	2	13,510
シンジュ		147			29		118	26	0		26	0.0%	0	0		0		3		118
プラタナス類	5	32,041	4.5%	2	29,050		2,991	18,114	1,287	2	19,401	4.9%	2,828	26	2	2,854	6	8,108		1,678
トウカエデ	4	37,167	5.3%	5	15,604	3	21,563	6,878	10,501	4	17,379	4.4%	679	691	6	1,370	7	8,047	4	10,371
トチノキ	17	6,596	0.9%		2,151		4,445	547	641		1,188		109	0		109		1,495	8	3,804
トネリコ		360			338		22	35	0		35		3	0		3		300		22
ニセアカシヤ		1,458			837		621	154	127		281		0	0		0		683		494
ハナミズキ	2	60,760	8.6%	3	27,040	1	33,720	5,400	12,942	3	18,342	4.7%	1,217	413	5	1,630	2	20,423	1	20,365
フウ		2,301			1,877		424	1,385	0		1,385		2	22		24		490		402
外来ポプラ類		117			112		5	30	0		30		0	0		0		82		5
マテバシイ	8	17,136	2.4%	8	12,477		4,659	2,380	1,662	10	4,042	1.0%	1,765	238	3	2,003	5	8,332		2,759
モミジパフウ	13	8,757	1.2%		6,860		1,897	3,618	790	9	4,408	1.1%	0	45		45		3,242		1,062
シダレヤナギ		3,591			3,212		379	1,278	10		1,288		373	0		373		1,561		369
ヤマモモ	9	13,789	2.0%	9	11,104		2,685	2,781	907		3,688		440	9	9	449	9	7,883		1,769
ユリノキ	12	10,075	1.4%		5,435	10	4,640	1,478	856		2,334		495	0	8	495		3,462	9	3,784
ウメ類		1,043			672		371	133	194		327		0	0		0		539		177
クワ		116			64		52	2	0		2		0	2		2		62		50
コブシ	11	11,575	1.6%		5,599	6	5,976	1,448	880		2,328		236	153		389		3,915	6	4,943
サルスベリ類	14	8,543	1.2%		4,788		3,755	938	920		1,858		0	5		5		3,850		2,830
サザンカ類		2,958			2,096		862	33	257		290		0	0		0		2,063		605
ツバキ類	15	7,767	1.1%		4,574		3,193	35	2,664		2,699		0	4		4	10	4,539		525
シラカシ	16	7,054	1.0%		3,621		3,433	584	341		925		8	48		56		3,029		3,044
ヒロウ	19	5,376	0.8%		0	9	5,376	0	1,915		1,915		0	0		0		0	10	3,461
その他		363,863			256,204		107,659	165,703	77,636		243,339		485	1,837		2,322		90,016		28,186
街路樹	合計	786,945 (本)			506,313		280,632	253,929	139,563		393,492		15,579	7,100		22,679		236,805.00		133,969
	百分率	100.0% (%)			64.3%		35.7%	32.3%	17.7%		50.0%		2.0%	0.9%		2.9%		30.1%		17.0%
	街路樹延長	3,520 (km)			2,167		1,353	723	509		1,232		183	40		222		1,261		804
道路緑地	面積合計	4,681,141 (㎡)			2,744,489		1,936,652	1,229,889	1,029,285		2,259,174		257,889	77,687		335,576		1,256,711		829,680
	百分率	100.0% (%)			58.6%		41.4%	26.3%	22.0%		48.3%		5.5%	1.7%		7.2%		26.8%		17.7%
	植樹帯	2,935,261 (㎡)			1,690,054		1,245,207	636,079	481,552		1,117,631		134,718	52,211		186,929		919,257		711,444
	その他	1,745,880 (㎡)			1,054,435		691,445	593,810	547,733		1,141,543		123,171	25,476		148,647		337,454		118,236

道路緑地の欄の「その他」とは、歩道植樹帯以外の道路緑地（中央分離帯・交通島など）東京都建設局公園緑地部計画課道路緑化担当：編集

## Ⅱ 特集 校庭芝生化の現状

特集にあたって

### 特集にあたって

今回の特集は、公共施設緑化のうち、最も緑化量の潜在性が高い学校をとりあげ、今まさに全国的に話題となっている校庭芝生化に焦点をあてました。

東京都において校庭の芝生化事業が動き出したのは、ヒートアイランド対策の一環でした。平成17年度の重点事業において、公立学校校庭の芝生化等をモデル的に実施したのが先駆けです。翌年の「10年後の東京」プロジェクトでは、8つの大きな目標のうちの最初の目標であります「水と緑の回廊で包まれた美しいまち東京を復活させる」におけるメイン事業の一つとなり、校庭の芝生化によって約300haの緑を生み出すことになったのです。

この政策によって、都内公立小中学校の校庭芝生化は一気に進むことになります。その結果、平成24年度末時点で約1900校中360校にまで広がり、公立、都立、私立などの全体での緑化は約77haまで進んでいます。

しかし、逆の見方をすればまだ360校ということでもあり、これからが本番と言えましょう。加えて、校庭芝生化にかかる現場の実情を仄聞すれば、技術面、管理面、コスト面にいまなお課題を抱えているところもあります。芝生化の諸条件に多くの関係者が納得して、良好な芝生環境を保つことができれば、子供達にとっても、より良い教育環境となることでしょう。

今回の緑化白書の特集では、都教育庁の実施した区市町村及び都内公立学校に対する校庭芝生化のアンケート調査について、当協会が都教育庁の御厚志を受けて、校庭芝生化の現状や傾向をまとめ、良好な芝生環境を確保するために分析を試みました。

そのアンケートを作成するにあたっては、最終的にどうすれば多くの関係者が納得できる芝生化になるか、その要件について以下のような仮説を立てています。

「校庭の芝生化は、学校という特別な空間で行われることを考えると、芝生の生育を保証する環境（日照や養生、学校での使い方）をどう設定するか、がまず大事であり、その程度によって設計工事、管理の施業レベルが決まり、継続的に誰が見守るか、という運営体制の如何で最終的な成否が分かれる。」

この仮説に則り、以下の流れでまとめました。

- ① アンケート対象である芝生化校の基本スペック（児童数、生徒数、芝生化面積など）を明らかにすること。
- ② 校庭芝生化は、まず第1に校庭という空間にどういう設置環境を前提として考えるか、が重要であるとの認識のもと、以下の4点の実態を明らかにすること。
  - イ 日照条件の確保
  - ロ 芝の養生期間の確保
  - ハ 特定スポーツや学校行事等との利用調整の可否
  - ニ 責任ある維持管理体制の確保（④に同じ）

③ 第2に、実際の設計施工のあり方、仕様が芝生化のその後の状況に大きな影響を与えることを考え、以下の4点の実施状況を明らかにすること。

- イ 芝生化する場所はどこか
- ロ 芝生の基盤となる土づくりや排水の方法はどうか
- ハ どのような芝種を選んだか
- ニ 芝の植え付け法は何を選んだか
- ホ 養生期間はどれくらいとったか
- ヘ 維持管理に不可欠な散水設備を何にしたか

④ 第3に、施工後の維持管理体制は、芝生化の成否に重大な影響を及ぼすと考えられることから、組織、人的体制を明らかにすること。

具体的には、維持管理の体制は、大きくは学校が中心となって行うタイプ、外部の協力をも得て管理するタイプ、運営委員会のように組織化して役割分担のもとに実施するタイプに分かれると考えました。こうした類型分布を明らかにすること。

⑤ 第4に、現場での維持管理作業は、その程度によって育成に大きな差が出ると予想されることから、その詳細を明らかにすること。

具体的には、散水、補植、芝刈り、除草、施肥、目砂、エアレーション、薬剤散布、専門家による点検程度を明らかにすること。

⑥ 第5に、以上の条件に照らして実施した結果、今の芝生状況はどの程度のコンディションになっているかその水準を明らかにすること。

結果の詳細は現状、傾向のまとめに譲りますが、その分析から総括的な感想を述べれば、以下のようになるかと思えます。

- ① 公立小中学校のみとはいえ、300校を超える校庭芝生化校の一斉調査は、これまでになく、はじめて全体像や評価が明らかになったのは大きな収穫でありました。
- ② 校庭芝生化に取り組んだ現場の実態は、一言で言えば「多様」でありました。即ち、施工場所や大きさ、具体的な芝生化設計、管理手法は様々に分かれ、芝生化工事のルール化は未だ途上ですが、現在の傾向はつかめた感があります。

この特集が、芝生化に対する再認識の場となり、課題等が今後、多くの芝生化関係者に共有されて、芝生化校拡大のために有効に活用されることを願ってやみません。

(一社) 東京都造園緑化業協会  
 広報委員長 松村 一



## **Ⅱ 特集 校庭芝生化の現状**

**東京都公立小中学校校庭芝生化の現状と課題**

## 東京都公立学校校庭芝生化の現状と課題

小原 昌 <東京都教育庁地域支援部義務教育課長>

### 1 はじめに

東京都は、「水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京の復活」に向け、校庭芝生化を実施してきたが、平成 25 年度から芝生化事業を環境局から教育庁に移管し、ヒートアイランドや緑化の観点に加え、教育環境の整備の観点から「公立小中学校の校庭芝生化事業」を推進している。

### 2 都における校庭芝生化の位置付け

東京都は、2011 年 12 月に 2020 年の東京の姿を描いた計画「2020 年の東京」を発表した。この計画は、2006 年 2 月公表の「10 年後の東京」の理念、基本的な考え方を継承し、これを充実、強化するとともに、東日本大震災後の新たな社会経済状況に対し、日本の再生と東京の更なる進化を目指して策定した新たな都市戦略である。

「2020 年の東京」のなかで校庭芝生化事業は、「水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させる」という目標に関わる施策の一つの事業になっている。

また、平成 26 年度教育庁主要施策においては、「ヒートアイランド現象の緩和や緑あふれる都市空間の形成への寄与及び教育環境の整備を図る」として校庭芝生化の整備費等の補助などの支援策を実施し、公立小中学校の校庭の芝生化を推進するとしている。

### 3 校庭芝生化のこれまでの取組

公立小中学校、都立学校を合わせ、校庭を芝生化した学校は、平成 24 年度末までに 436 校（67.0ha）、モデル事業として実施している私立学校・幼稚園・保育園では、231 箇所（10.5ha）となっている。

平成 25 年 6 月末現在

施設区分	内容	19年度までの累計	20年度までの累計	21年度までの累計	22年度までの累計	23年度までの累計	24年度までの累計
公立小中学校	実施数	89校	134校	176校	228校	275校	360校
	実施面積	12.3ha	17.3ha	21.9ha	31.0ha	39.0ha	46.6ha
都立学校	実施数	23校	31校	35校	48校	65校	76校
	実施面積	7.2ha	8.8ha	10.4ha	13.3ha	18.0ha	20.4ha
モデル事業	幼稚園	—	56カ所	133カ所	196カ所	211カ所	231カ所
	保育所	—	—	—	—	—	—
	私立学校	—	2.6ha	6.1ha	9.0ha	9.7ha	10.5ha
計		19.5ha	28.7ha	38.4ha	53.3ha	66.7ha	77.5ha

## 4 公立小中学校の芝生化

公立小中学校の校庭芝生化においては、校庭面積や形状、児童数、生徒数、日照条件、校庭利用団体の利用頻度などの条件により、校庭全面ではなく部分的な芝生化を選択する学校も多い。また、地域への校庭開放が進んでいることから、校庭の周辺部などの芝生化(図1右参照)で対応している学校もある。

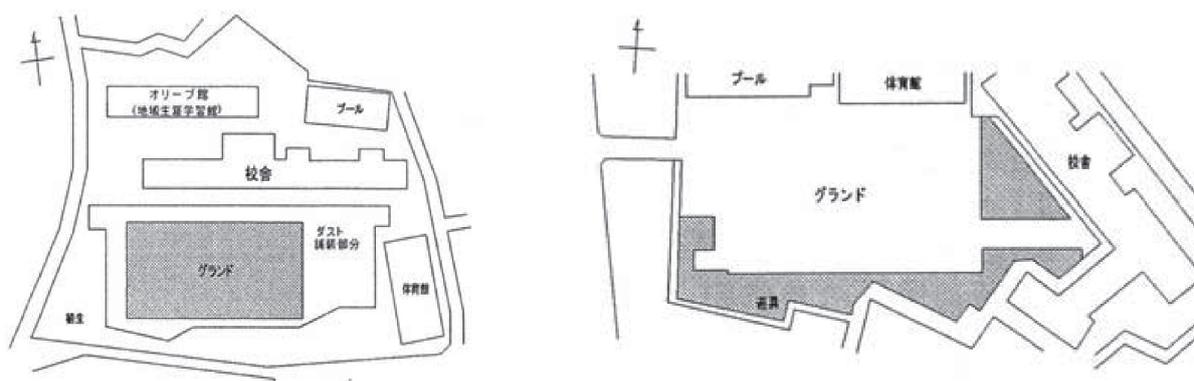


図1 校庭の芝生化位置〔校庭芝生化事例集 2007 Tokyo〕東京都環境局より

## 5 補助事業の仕組み

都は、平成17(2005)年度に、公立小中学校の校庭の芝生化をモデル事業として実施し、平成19年度からは本格的に事業を開始している。

事業の仕組みは、都内の公立小中学校及び特別支援学校を設置・管理する区市町村教育委員会に対する補助制度であり、補助要件は、芝生化面積が250㎡以上(校庭面積が狭小等、一定の要件によっては100㎡以上)の整備事業に対して補助金を交付するものである(一度芝生化した後の3年間は拡張整備も補助対象としている)。

補助率は対象経費の2分の1であるが、地域協働により芝生を管理する場合は、補助対象経費全額を補助する。対象経費は、本工事費のほか、付帯工事費、調査設計費、芝生の維持管理に係る備品等の購入費を含む。

また、屋上を芝生化(平成24年度から既存校舎等の屋上緑化も補助対象)する場合も補助対象としている。

芝刈り等の日常の維持管理には、保護者や地域の協力が不可欠であるが、特に芝生化後3年間は専門的な管理が重要と考え、芝生化後の維持管理委託費用(施肥、オーバーシーディング、更新とエアレーション等)に係る経費の2分の1を3年間補助している。公立小中学校で校庭が芝生化されるためには、多くの関係者の協力、理解が必要である。

## 6 都の支援体制

都は、校庭芝生化推進のために補助事業のほかにも、芝生に対する不安感を払拭するために専門家を

派遣しアドバイスを受けられる「校庭グリーンキーパー派遣」や講座受講により専門的な知識を身に付け、地域に貢献してもらう人を育てる「芝生リーダー養成講座」、地域と連携した芝生化促進の仕組みづくりの支援である「地域連携事業」、企業ボランティアによる肥料や飲料等の提供を行う「東京芝生応援団」などの支援制度の充実を図っている。

また、芝生化事業に貢献した地域の方や教職員に対し「芝生の親方・匠」として認証し、芝生の維持管理を通じて、学校と地域との連携を支援している。

### 7 校庭芝生化の課題

校庭芝生化の課題の1つは、学校の芝生の維持管理に対する負担感が強いことや、4年目以降の維持管理経費の予算措置が難しいことなどである。

また、芝生の維持管理に対する不安から校庭芝生化をためらっていたり、養生期間など使用できない時期があることについて、学校や校庭利用団体等の理解が得られず、芝生化に踏み切れない自治体がある。

もう1つの課題としては、都心部の学校は校庭も狭く日照条件も悪いところが多いため、児童・生徒一人当たりの面積が狭くなることから、芝生への踏圧が高くなり芝生が育ちにくい環境であることである。特に中学校においては部活動が盛んであるため、芝生化が進んでいない。

### 8 課題に対する対応

これまで都の職員が区市町村を訪問することにより、活発な意見交換を行い情報提供することで、区市町村の芝生化に対する意識改革を促してきた。

また、現在、芝生化を可能とする新たな施工方法の開発や中学校校庭の利用実態調査などにより、以前は芝生化できないと思われるところでも芝生化が可能となるような調査、検証等を行っている。

校庭芝生化の課題を一つひとつ解決しながら、公立小中学校の校庭の芝生化を推進するため、事業を展開している。

### 9 おわりに

都はこれからも東京の緑のネットワークを充実させるとともに、子供たちにとって質の高い教育環境を整えるため、公立小中学校の校庭の芝生化を推進していく。

また、芝刈り等の作業を共に行い、学校と地域との連携を深めていくためのツールとして校庭の芝生を用いていただけるように、広報・普及啓発に努めていきたい。

#### 引用文献等

- ① 校庭芝生化事例集 2007 Tokyo 編集・発行 平成 19 年 11 月 東京都環境局
- ② 遊ぶ・学ぶ・育てる 校庭芝生化ガイドブック 編集・発行 東京都教育庁 平成 22 年 3 月

# Ⅱ 特集 校庭芝生化の現状

アンケート調査

＜アンケート調査の実施＞

東京都内公立小中学校 校庭芝生化校の実態に関するアンケート調査

都教育庁では、区市町村及び都内公立小中学校の芝生化実施校に対し、以下の内容で平成25年11月末を回答期限としてアンケート調査を実施し、332校から回答があった。

校庭芝生化校の実態調査アンケート

■芝生化に関する基本事項について、お伺いします

- 010. 平成25年5月1日現在の生徒・児童数を教えてください
- 020. 運動場面積を教えてください（少数第1位四捨五入）
- 030. 芝生化した面積を教えてください（少数第1位四捨五入）
- 040. 芝生化の工事に着手した年月（回答例：2010.7）を教えてください
- 050. 供用開始年月（回答例：2010.9）を教えてください

■芝生化を導入した時の条件等について、お伺いします

- 110. 日照時間を考慮しましたか  
（東京都の芝生化事業補助金の交付を受けていない場合にお答え下さい）  
①考慮した ②考慮していない ③わからない
- 120. 芝を張った後、根付くまでの養生期間を考慮しましたか  
①考慮した ②考慮していない ③わからない
- 130. 部活動や校庭開放などの特定スポーツ（野球・サッカー等）と利用調整しましたか  
①した ②していない ③話しましたが了承は得ていない ④その他
- 131. 学校行事等を芝生の生育に合わせて変更することを考慮しましたか  
①考慮した ②考慮していない ③わからない

■具体的にどう芝生化したか、お伺いします

- 210. 芝生化した場所はどこですか。最も近いものを選んでください  
①運動場の全面芝生化                      ②トラックを除く芝生化                      ③トラック内側を除く芝生化  
④トラック内側の芝生化                      ⑤周縁部の芝生化                                  ⑥その他（記述：野球のベースを除く等）

その他記述：

- 211. 芝生の種類は何ですか  
①野芝 ②高麗芝 ③野芝の改良種 ④バミューダグラス（ティフトン） ⑤その他（記述）

その他記述：

- 212. ウィンターオーバーシーディング（冬芝のための種まき）導入の場合、その種類は何ですか  
①ケンタッキーブルーグラス ②トルフェスク ③ペレニアルライグラス ④その他（記述）

その他記述：

- 213. 芝生の植え付けは、どんな方法で行いましたか  
①張り芝 ビッグロール（ロール状の大型芝生マット） ②張り芝 ソッド（芝生マット） ③芝苗（ポット）  
④播種 ⑤その他（記述） ⑥わからない

その他記述：

214. 植え付けから芝生使用まで、養生期間をどのくらいとりましたか

- ①とらなかった ②1週間～2週間 ③1ヵ月以上 ④2ヵ月以上

220. 校庭芝生の土の基盤について、最も近いものを選んでください

- ①既存土をそのまま使用 ②既存土を耕して使用 ③既存土を改良して使用  
④既存土を改良して排水層を設置 ⑤既存土を改良して排水管を設置 ⑥既存土を改良して排水層、排水管を設置

その他記述：

230. 散水設備について、主として使用しているものを選んでください

- ①スプリンクラー（自動散水） ②スプリンクラー（手動） ③レインガン ④散水ホース ⑤その他（記述）

その他記述：

■管理について、お伺いします

310. 維持管理団体の体制について最も近いものをお答えください

- ①学校の教職員・児童・生徒を中心とした維持管理体制  
②PTAを中心とした維持管理体制  
③地域の住民を中心とした維持管理体制  
④教職員・児童・生徒・PTA・地域の住民等がそれぞれ役割分担した維持管理体制  
⑤教職員・児童・生徒・PTA・地域の住民等の維持管理体制に維持管理業者等がアドバイザーとして参加  
⑥その他

その他記述：

320. 芝生の補植について、どの方法で行っていますか

- ①業者が補植 ②学校等で補植苗を育成 ③ポット苗を購入 ④種まき（播種） ⑤行っていない ⑥その他（記述）

その他記述：

330. 散水について、最も近いものを選んでください

- ①季節、天候、芝の状態を考慮して適切に実施  
②自動灌水など、決まったスケジュールに沿って実施  
③乾燥など気が付いたときに実施

340. 芝刈りは、1年間に何回程度行っていますか（季節は問わず1年間の累計で）

350. 除草は、1年間に何回程度行っていますか

360. 施肥は、1年間に何回程度行っていますか

361. 目砂、目土を1年間に何回程度行っていますか

362. エアレーションやコア抜きなど通気性改善を1年間に何回程度行っていますか

363. 薬剤散布は行っていますか（①はい②いいえ）

364. 363で①はいを選択の場合、何の薬剤散布を行いましたか（①殺菌剤②殺虫剤③忌避剤）

370. 専門家による調査・点検は年間でどの程度行っていますか

380. その他（記述）

その他記述：

■現在の芝生の状態について、評価をお伺いします

400. 現在の芝生の状態で、最も近いものを選んでください

- ①芝目が揃い、密で良好 ②ほぼ均一で裸地がない ③やや裸地がある ④裸地が目立つ ⑤その他（記述）

その他記述：

■芝生化に関してのご意見をお伺いします

500. 成果、効果、反省点、今後芝生化する学校へのアドバイス、望むことなど（記述）

記述：

<アンケート調査の結果>

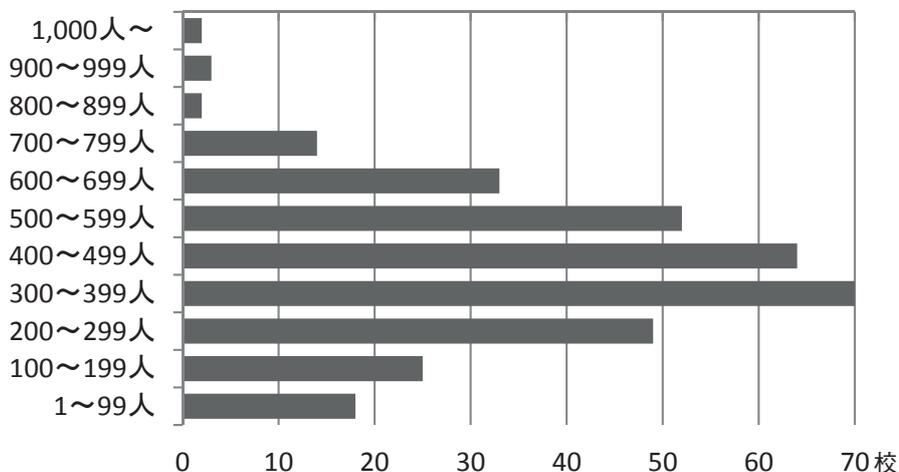
芝生化に関する基本事項

010 平成 25 年 5 月 1 日現在の生徒・児童数（有効回答：332 校中 332 校）

生徒・児童数は、8 人から 1,176 人まで広く分布し、200 人から 700 人までの学校が全体の 8 割（80.72%）を占める。

<図表 010 >

1,000 人～	2	0.60%
900 ～ 999 人	3	0.90%
800 ～ 899 人	2	0.60%
700 ～ 799 人	14	4.22%
600 ～ 699 人	33	9.94%
500 ～ 599 人	52	15.66%
400 ～ 499 人	64	19.28%
300 ～ 399 人	70	21.08%
200 ～ 299 人	49	14.76%
100 ～ 199 人	25	7.53%
1 ～ 99 人	18	5.42%
合計	332	100.00%

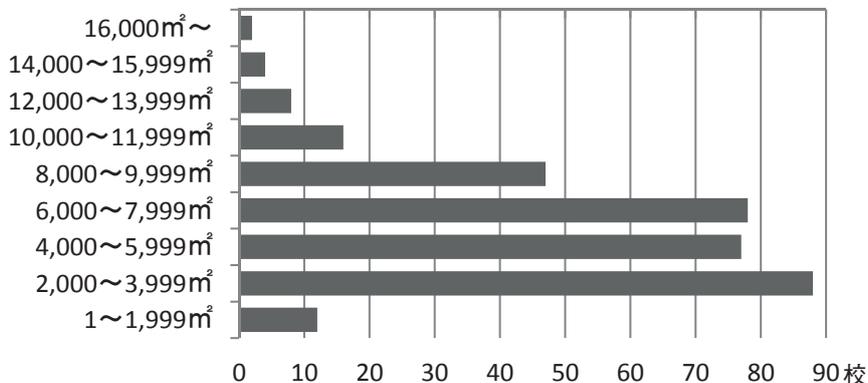


020 運動場面積（有効回答：332 校中 332 校）

運動場面積は、841㎡から 17,378㎡まで分布し、2,000㎡から 10,000㎡が全体の約 87%である。特定の規模に集中する傾向はない。

<図表 020 >

16,000㎡～	2	0.60%
14,000 ～ 15,999㎡	4	1.20%
12,000 ～ 13,999㎡	8	2.41%
10,000 ～ 11,999㎡	16	4.82%
8,000 ～ 9,999㎡	47	14.16%
6,000 ～ 7,999㎡	78	23.49%
4,000 ～ 5,999㎡	77	23.19%
2,000 ～ 3,999㎡	88	26.51%
1 ～ 1,999㎡	12	3.61%
合計	332	100.00%



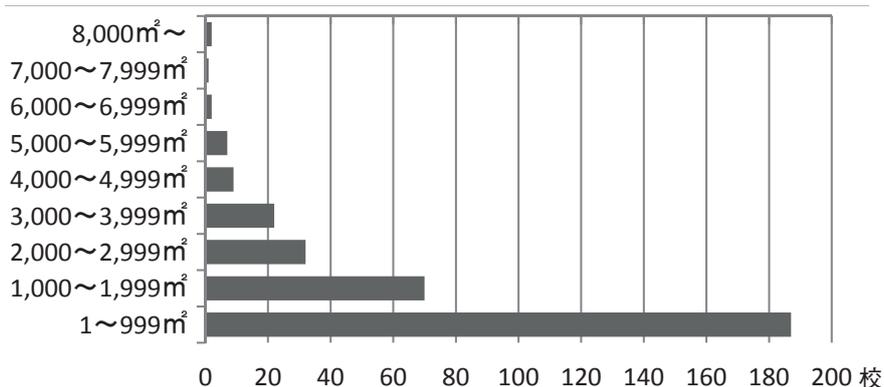
# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 030 芝生化した面積（有効回答：332校中332校）

芝生化した面積は、100㎡から9,400㎡まで分布し（図表030-1）、多数を占める2,000㎡未満の内訳（図表030-2）をみると、特に200㎡～300㎡が15.06%と多かった。

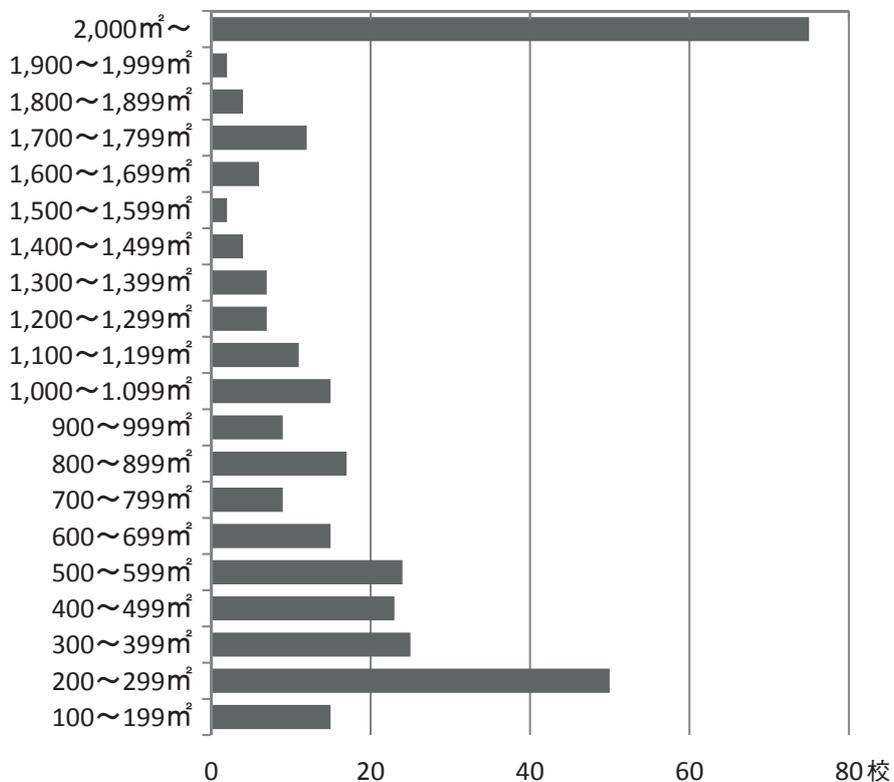
<図表 030-1 >

8,000㎡～	2	0.60%
7,000～7,999㎡	1	0.30%
6,000～6,999㎡	2	0.60%
5,000～5,999㎡	7	2.11%
4,000～4,999㎡	9	2.71%
3,000～3,999㎡	22	6.63%
2,000～2,999㎡	32	9.64%
1,000～1,999㎡	70	21.08%
1～999㎡	187	56.33%
合計	332	100.00%



<図表 030-2 >

2,000㎡～	75	22.59%
1,900～1,999㎡	2	0.60%
1,800～1,899㎡	4	1.20%
1,700～1,799㎡	12	3.61%
1,600～1,699㎡	6	1.81%
1,500～1,599㎡	2	0.60%
1,400～1,499㎡	4	1.20%
1,300～1,399㎡	7	2.11%
1,200～1,299㎡	7	2.11%
1,100～1,199㎡	11	3.31%
1,000～1,099㎡	15	4.52%
900～999㎡	9	2.71%
800～899㎡	17	5.12%
700～799㎡	9	2.71%
600～699㎡	15	4.52%
500～599㎡	24	7.23%
400～499㎡	23	6.93%
300～399㎡	25	7.53%
200～299㎡	50	15.06%
100～199㎡	15	4.52%
合計	332	100.00%

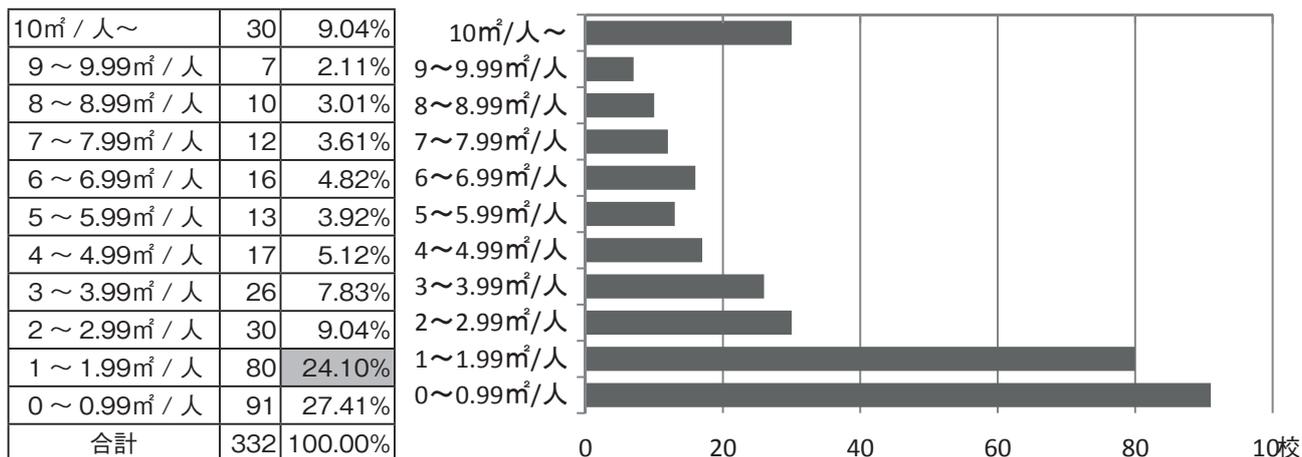


## 特集 校庭芝生化の現状

### 030 クロス分析 生徒・児童の1人当りの芝生化面積（有効回答：332校中332校）

芝生化した面積（030）を生徒・児童数（010）で割り、生徒・児童の1人当りの芝生化面積を求めた。生徒・児童の1人当りの芝生化面積は、500㎡から0.14㎡まで分布し、2㎡未満が51.5%と過半数を占めている。（1人当りの芝生化面積と使用後の芝生のコンディションの関係についてはP 71を参照）

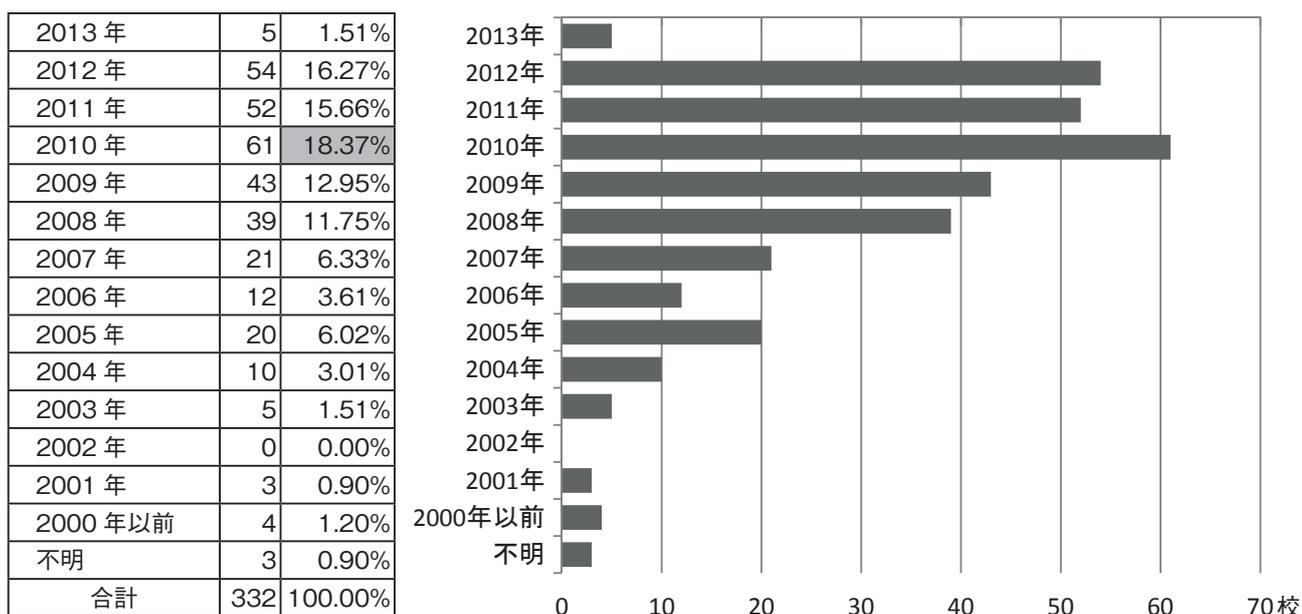
〈図表 030 クロス〉



### 040 芝生化の工事着手年（有効回答：332校中332校（不明3校含））

都では2005（平成17）年度の重点事業において、公立学校校庭の芝生化等をモデル的に実施している。その傾向がまず現れ、その後2年間の普及運動期間を経て2008年度から急激に増えている。

〈図表 040〉



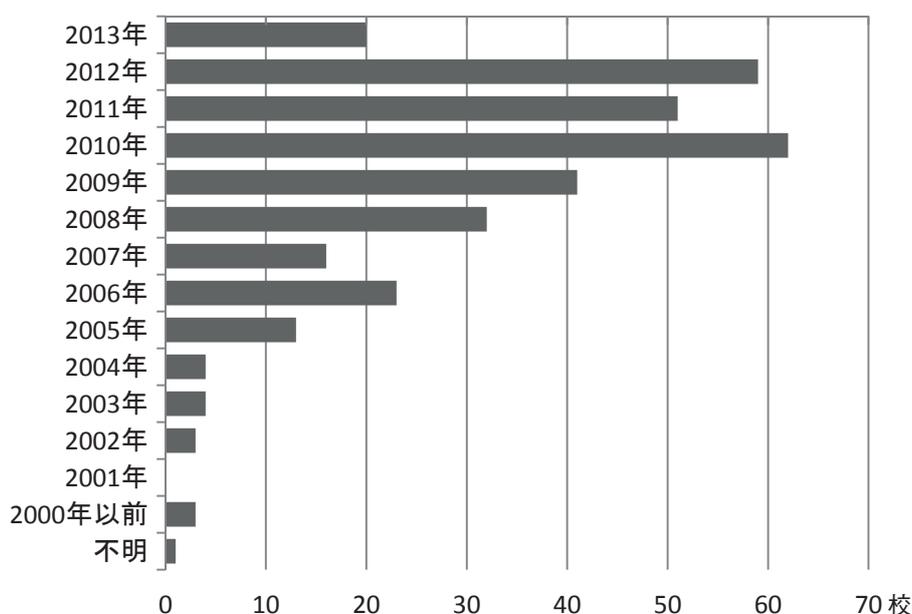
# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 050 供用開始年（有効回答：332 校中 332 校（不明 1 校含））

供用開始した年の学校数は、芝生化の工事着手年の傾向とほぼ同じである。この意味では施工時期と供用時期はほぼ同じ年になることを示している。

<図表 050 >

2013年	20	6.02%
2012年	59	17.77%
2011年	51	15.36%
2010年	62	18.67%
2009年	41	12.35%
2008年	32	9.64%
2007年	16	4.82%
2006年	23	6.93%
2005年	13	3.92%
2004年	4	1.20%
2003年	4	1.20%
2002年	3	0.90%
2001年	0	0.00%
2000年以前	3	0.90%
不明	1	0.30%
合計	332	100.00%

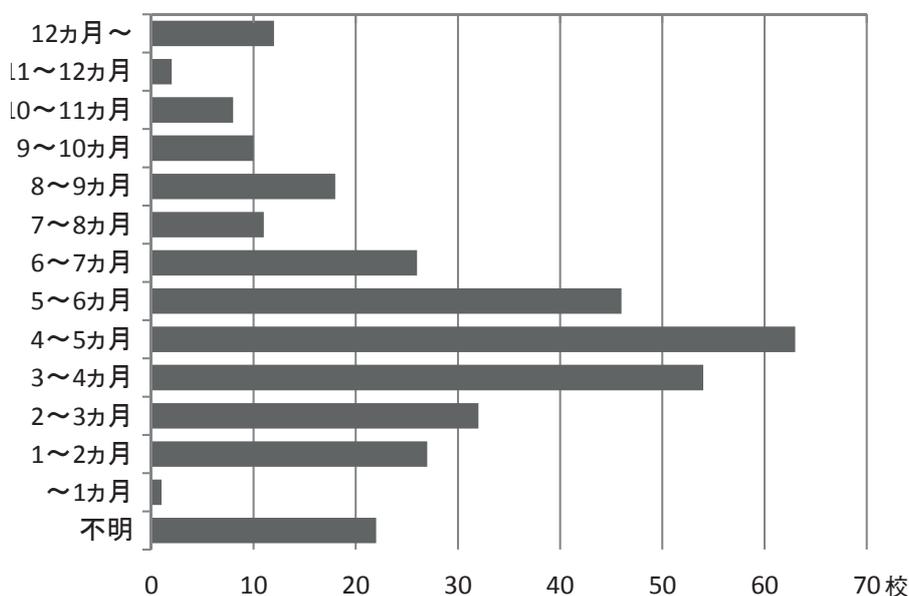


## 050 クロス分析 1 芝生化の施工期間（有効回答：332 校中 332 校（不明 22 校：記載なし含む））

芝生化の施工期間を芝生化の工事着手年月と供用開始年月の差として捉えた場合、分布は1カ月から7カ月までが多く、全体の約75%を占める。

<図表 050 クロス 1 >

1年～	12	3.61%
12～12カ月	2	0.60%
10～11カ月	8	2.41%
9～10カ月	10	3.01%
8～9カ月	18	5.42%
7～8カ月	11	3.31%
6～7カ月	26	7.83%
5～6カ月	46	13.86%
4～5カ月	63	18.98%
3～4カ月	54	16.27%
2～3カ月	32	9.64%
1～2カ月	27	8.13%
～1カ月	1	0.30%
不明	22	6.63%
合計	332	100.00%

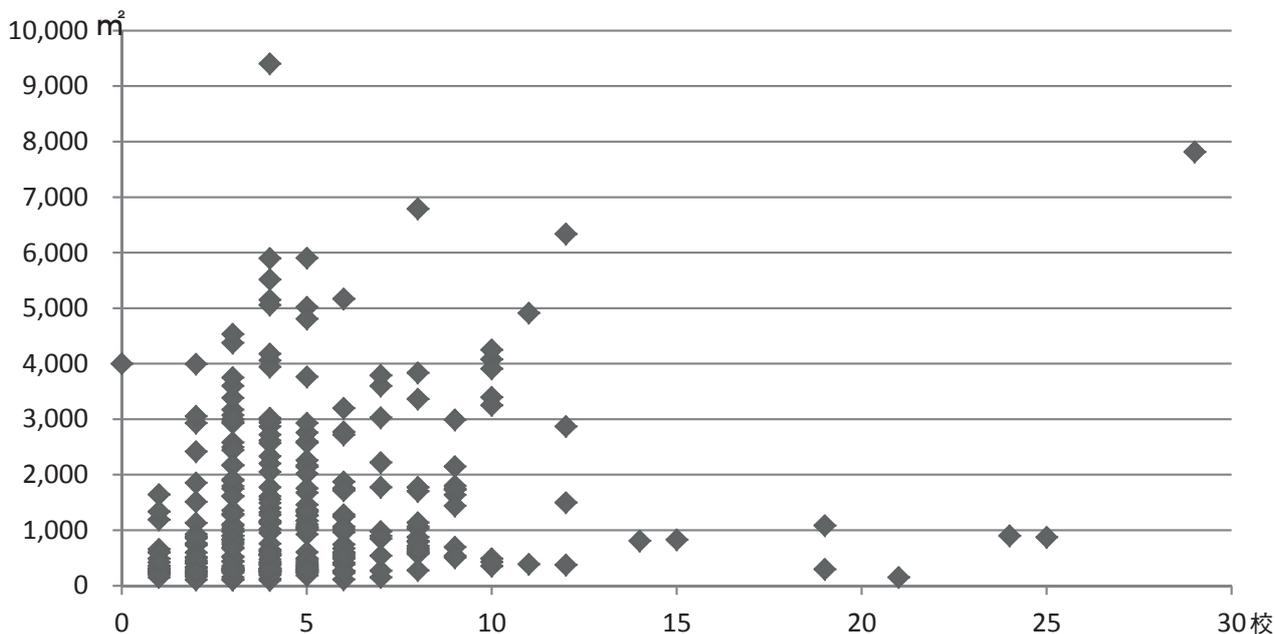


050 クロス分析2 芝生化面積と施工期間

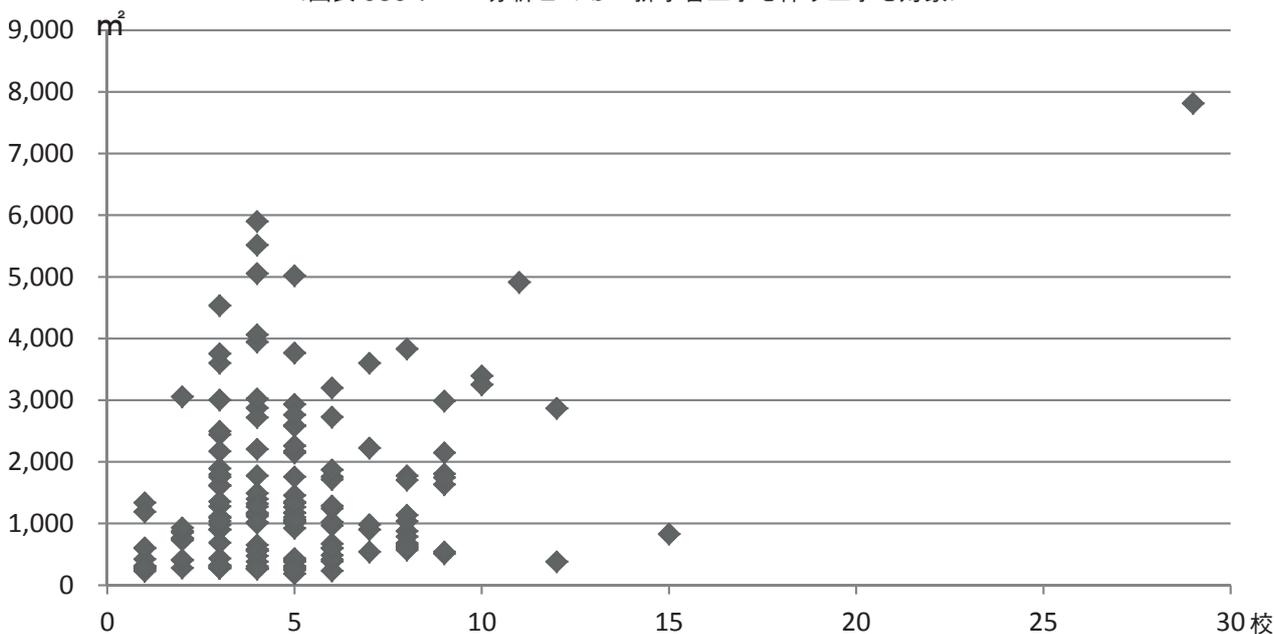
芝生化面積の大小が施工期間に影響すると考え、両者の関連性をみた。これによると、芝生化面積が増えるほどに施工期間は大きく拡散し、一定の相関は現れない。一方で、規模が大きくなっても概ね施工期間は1年以内に収まっている。

また、排水管を設置する工事（校庭芝生の基盤⑤⑥：排水管を設置した場合）を伴った芝生化工事の関連性を分析しても、正の相関（規模が大きくなると期間も長くなる）はみられない。校庭内での工事の特殊な事情が浮き彫りになっている。

<図表 050 クロス分析2 の a - 全工事を対象>



<図表 050 クロス分析2 の b - 排水管工事を伴う工事を対象>

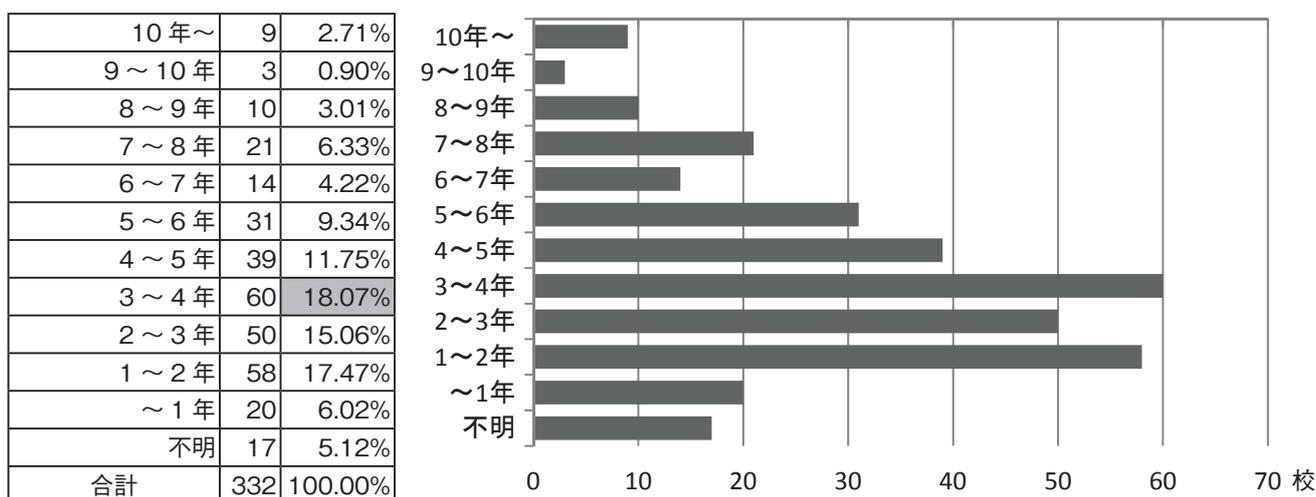


# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 050 クロス分析3 芝生化してからの使用期間（有効回答：332校中332校（不明1校含む））

使用期間は、供用開始年月（050）から2013年12月までの差として算出した。  
使い始めてから1年以上6年未満が全体の約72%を占めている。

<図表 050 クロス分析3>



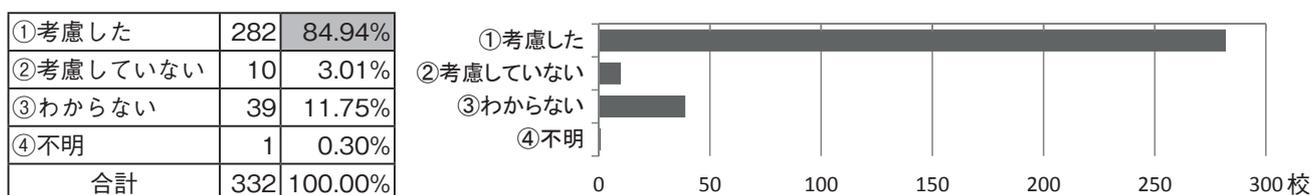
## 芝生化を導入した時の条件

### 110 日照時間の考慮（有効回答：332校中332校（不明1校含む））

日照時間の考慮は、「①考慮した」が282校、「②考慮していない」が10校、「③わからない」が40校となった。

8割以上の学校で日照時間を考慮している。

<図表 110>



※設問は、東京都の芝生化事業補助金の交付を受けていない学校に回答を求め、交付を受けた学校は日照を考慮しているため、これを「①考慮した」に加えた。

## 特集 校庭芝生化の現状

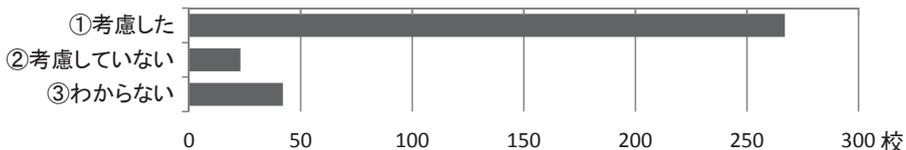
### 120 養生期間の考慮（有効回答：332 校中 332 校）

養生期間の考慮は、「①考慮した」が267校、「②考慮していない」が23校、「③わからない」が42校となった。

8割以上の学校で養生期間を考慮している。

<図表 120 >

①考慮した	267	80.42%
②考慮していない	23	6.93%
③わからない	42	12.65%
合計	332	100.00%

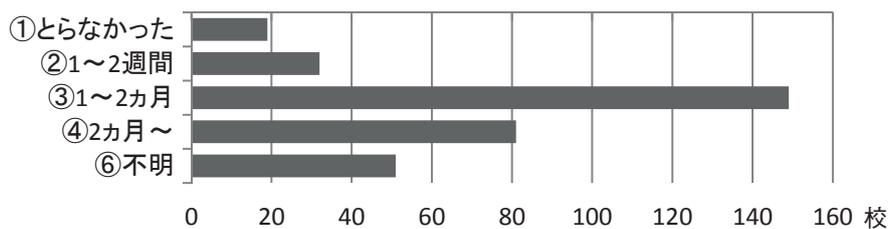


### 120 関連 (214) 養生期間の実際（有効回答：332 校中 332 校（不明 51 校含））

実際の養生期間は、1カ月以上が最も多く、約45%となった。050で既述した施工時期供用時期はほぼ同じ年にあたるとの傾向は養生期間の結果を見ても理解できる。

<図表 214 >

①とらなかった	19	5.72%
②1～2週間	32	9.64%
③1～2ヵ月	149	44.88%
④2ヵ月～	81	24.40%
⑥不明	51	15.36%
合計	332	100.00%



### 120 関連 (213) 芝の張り方（有効回答：332 校中 332 校）

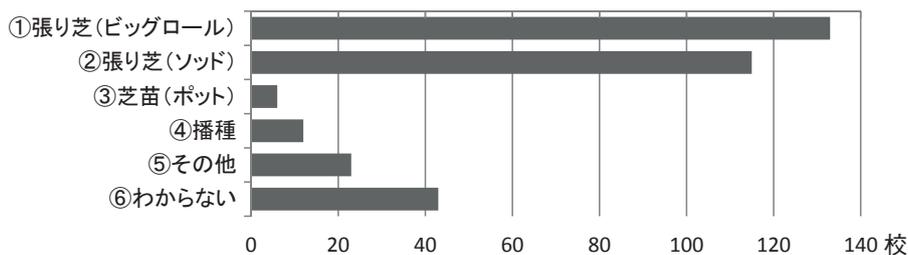
一般的に、芝の張り方と養生期間には関係性がみられる。

芝の張り方は、「①ビッグロールによる張芝」が133校、「②ソッドによる張芝」が115校、「③芝苗」が6校、「④播種」が12校、「⑤その他」が23校、「⑥わからない」が43校となった。全体の約75%が張芝である。

「⑤その他」では、①②併用の回答が8校、①⑤併用が1校、②③併用が1校あり、パレット工法（8）、ソッドレスターフ（1）、ネット工法（1）、筋芝工法（1）、苗の差し植え植え（1）などが示された。

<図表 213 >

①張り芝（ビッグロール）	133	40.06%
②張り芝（ソッド）	115	34.64%
③芝苗（ポット）	6	1.81%
④播種	12	3.61%
⑤その他	23	6.93%
⑥わからない	43	12.95%
合計	332	100.00%

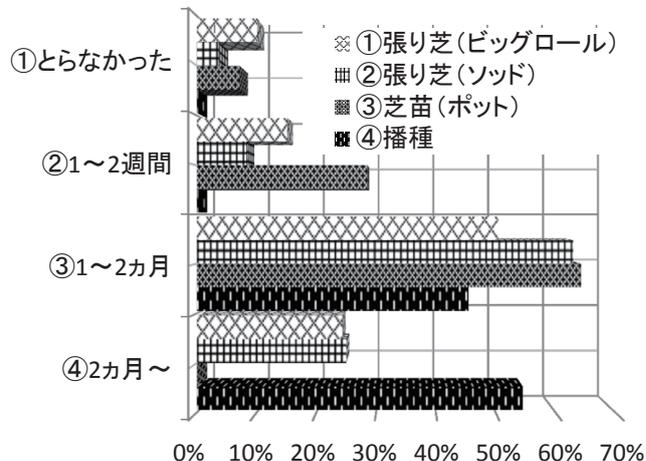


# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 120 クロス分析 芝の張り方と養生期間の関係

<図表 213-2 >

植え付け/養生期間	①とらな かった(%)	②1~2 週間 (%)	③1ヵ月 以上 (%)	④2ヵ月 以上 (%)	合計 (%)
①張り芝 (ビッグロール)	12 (10.08)	18 (15.13)	60 (50.42)	29 (24.37)	119 (100.00)
②張り芝 (ソッド)	4 (3.70)	9 (8.33)	68 (62.96)	27 (25.00)	108 (100.00)
③芝苗 (ポット)	1 (7.14)	4 (28.57)	9 (64.29)	0 (0.00)	14 (100.00)
④播種	0 (0.00)	0 (0.00)	5 (45.45)	6 (54.55)	11 (100.00)
⑤その他	1 (8.33)	0 (0.00)	0 (0.00)	11 (91.67)	12 (100.00)
⑥不明	1 (4.76)	4 (19.05)	9 (42.86)	7 (33.33)	21 (100.00)
合計	19 (6.67)	35 (12.28)	151 (52.98)	80 (28.07)	285 (100.00)



芝の張り方が養生期間に影響すると考え、両者の関連性をみた。すると養生期間を「①とらなかつた」で、「①張り芝 (ビッグロール)」が約 10%と割合高く、「②張り芝 (ソッド)」「③芝苗 (ポット)」「④播種」に比べ高くなっているものの、「②張り芝 (ソッド)」「③芝苗 (ポット)」では割合が逆になっている。

「①張り芝 (ビッグロール)」「②張り芝 (ソッド)」について、「③ 1~2ヵ月」が最も多く、「④ 2ヵ月~」「② 1~2週間」「①とらなかつた」の順となった。

「③芝苗 (ポット)」は、「③ 1~2ヵ月」が最も多く、「② 1~2週間」「①とらなかつた」の順で、「④ 2ヵ月~」はなく、養生期間を長く必要とする植え付け方法であるがあまり養生期間が取られていない。

「④播種」は、「④ 2ヵ月~」「③ 1~2ヵ月」の順で、養生期間を長く必要とする植え付け方法であるため、順当と考えられる。

以上から、芝生の植え付けと養生期間に一定の相関関係は認められるが、「③芝苗 (ポット)」については、養生期間が十分とられていない。

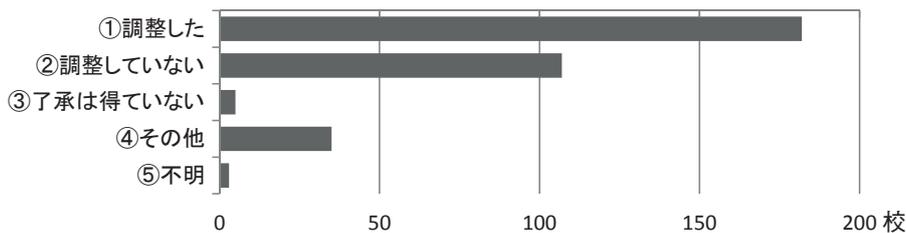
## 130 部活動や校庭開放などの特定スポーツとの利用調整 (有効回答: 332 校中 332 校)

特定スポーツとの利用調整については、「①調整した」が 182 校、「②調整していない」が 107 校、「③話はしたが了承は得ていない」が 5 校、「④その他」が 35 校で、未回答が 3 校となった。

5 割以上の学校で調整を行っているが、3 割の学校で調整していない。

<図表 130 >

①調整した	182	54.82%
②調整していない	107	32.23%
③話はしたが了承は得ていない	5	1.51%
④その他	35	10.54%
⑤不明	3	0.90%
合計	332	100.00%

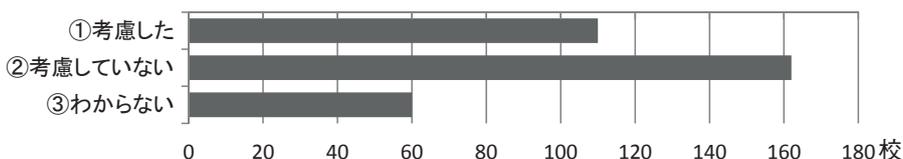


### 131 学校行事等の芝生への考慮（有効回答：332 校中 332 校）

学校行事の芝生への考慮は、「①考慮した」が110校で約3割、「②考慮していない」が162校で約半数、「③わからない」が60校で約2割となった。

<図表 131 >

①考慮した	110	33.13%
②考慮していない	162	48.80%
③わからない	60	18.07%
合計	332	100.00%



## 具体的にどう芝生化したか

### 210 芝生化した場所（有効回答：332 校中 332 校）

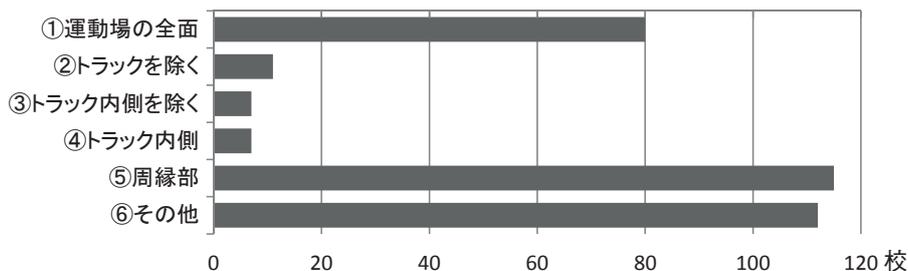
芝生化した場所は、「①運動場の全面芝生化」が82校、「②トラックを除く芝生化」が11校、「③トラック内側を除く芝生化」が7校、「④トラック内側の芝生化」が7校、「⑤周縁部の芝生化」が115校、「⑥その他」が112校となった。

その他のうち、「第2校庭」など他のスペースに該当するものが14校、「遊具下」が2校、「校庭の一部」が57校、「屋上」が18校で、①⑤が1校、④⑤が2校となった。

なお、「校庭の一部」については、校舎の周辺、中庭、小校庭、南側・北側などの一画、サッカーコート内、トラックの内側を除く一部分など、多様な回答が見られた。「運動場が3カ所あり1カ所だけを全面芝生化した」との回答は、取り方によっては全面芝生化ともいえるが、3カ所ある校庭の一部であることから校庭の一部と捉えた。

<図表 210 >

①運動場の全面	80	24.10%
②トラックを除く	11	3.31%
③トラック内側を除く	7	2.11%
④トラック内側	7	2.11%
⑤周縁部	115	34.64%
⑥その他	112	33.73%
合計	332	100.00%



# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 211 芝生の種類（有効回答：332 校中 332 校）

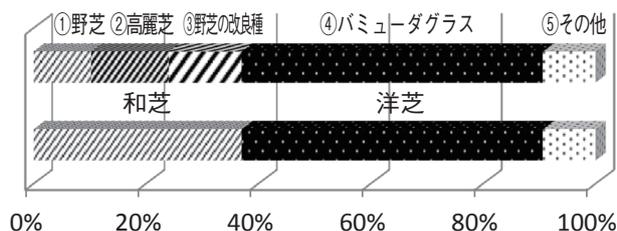
芝生の種類については、「①野芝」が 34 校、「②高麗芝」が 46 校、「③野芝の改良種」が 42 校、「④バミューダグラス（ティフトン）」が 176 校、「⑤その他」34 校となった。

「⑤その他」は、記述回答から「高麗芝の改良種」（スクラム等）やティフトンとライグラス、エルトロ、当初は改良野芝、現在はバミューダグラスとの記述も複数あった。

また、和芝と洋芝に大別しても「和芝」37%、「洋芝」54%と、洋芝が多く占める。

<図表 211 >

①野芝	34	10.24%	和芝 123	37.05%
②高麗芝	46	13.86%		
③野芝の改良種	43	12.95%		
④バミューダグラス	178	53.61%	洋芝 178	53.61%
⑤その他	31	9.34%		
合計	332	100.00%		



## 212 ウィンターオーバーシーディングの導入（有効回答：332 校中 332 校）

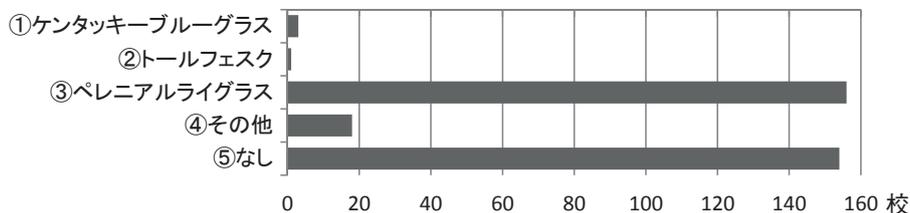
ウィンターオーバーシーディングの導入については、「①ケンタッキーブルーグラス」が 3 校、「②トールフェスク」が 1 校、「③ペレニアルライグラス」が 156 校、「④その他」が 17 校となった。導入している学校の 87.6%は、ペレニアルライグラスである。

また、回答のなかったものを「導入なし」とすると、154 校がこれに当り、半数近くで、ウィンターオーバーシーディングを導入していない。

また、記述回答から「④その他」として、イタリアンライグラス、アニュアルライグラス、インターミデクエイトライグラス、トールフェスクなどがみられ、複数混合した、施工当初と現在で変更したなどの回答もみられた。

<図表 212 >

①ケンタッキーブルーグラス	3	0.90%
②トールフェスク	1	0.30%
③ペレニアルライグラス	156	46.99%
④その他	18	5.42%
⑤なし	154	46.39%
合計	332	100.00%



## 220 校庭芝生の基盤（有効回答：332 校中 332 校）

校庭芝生の基盤については、「①既存土をそのまま使用」が9校、「②既存土を耕して使用」が20校、「③既存土を改良して使用」が76校、「④既存土を改良して排水層を設置」が27校、「⑤既存土を改良して排水管を設置」が78校、「⑥既存土を改良して排水層、排水管を設置」が79校、「⑦その他」が18校、「⑧不明」25校となった。

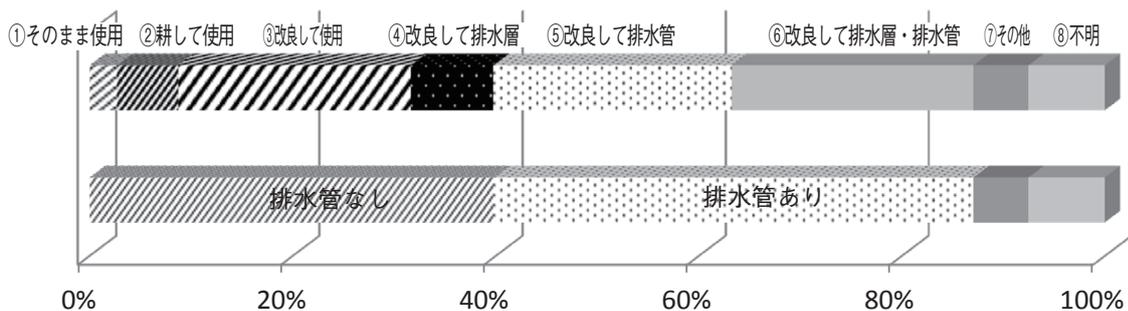
その他は、記述回答から、屋上の芝生に該当するものが11校、緑化コンテナなどのその他7校、不明が25校あった。

排水管の有無で区分すると、「なし」が132校、「あり」が157校となった。

<図表 220 >

①既存土をそのまま使用	9	2.71%	排水管 なし	132	39.76%
②既存土を耕して使用	20	6.02%			
③既存土を改良して使用	76	22.89%			
④既存土を改良して排水層を設置	27	8.13%			
⑤既存土を改良して排水管を設置	78	23.49%	排水管 あり	157	47.29%
⑥既存土を改良して排水層、排水管を設置	79	23.80%			
⑦その他	18				5.42%
⑧不明	25				7.53%
合計	332				100.00%

※⑤⑥との回答が16校あり、⑤として集計した。



## アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

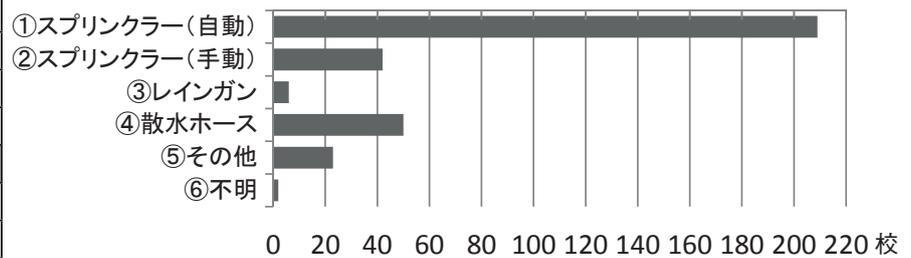
### 230 散水設備（有効回答：332 校中 332 校）

散水設備については、「①スプリンクラー（自動）」が209校とほとんどを占め、「②スプリンクラー（手動）」が42校、「③レインガン」が6校、「④散水ホース」が50校、「⑤その他」が23校となった。

記述回答をみると、①④の併用が1校、②④の併用が3校、②③の併用が1校であった。

<図表 230 >

①スプリンクラー（自動）	209	62.95%
②スプリンクラー（手動）	42	12.65%
③レインガン	6	1.81%
④散水ホース	50	15.06%
⑤その他	23	6.93%
⑥不明	2	0.60%
合計	332	100.00%



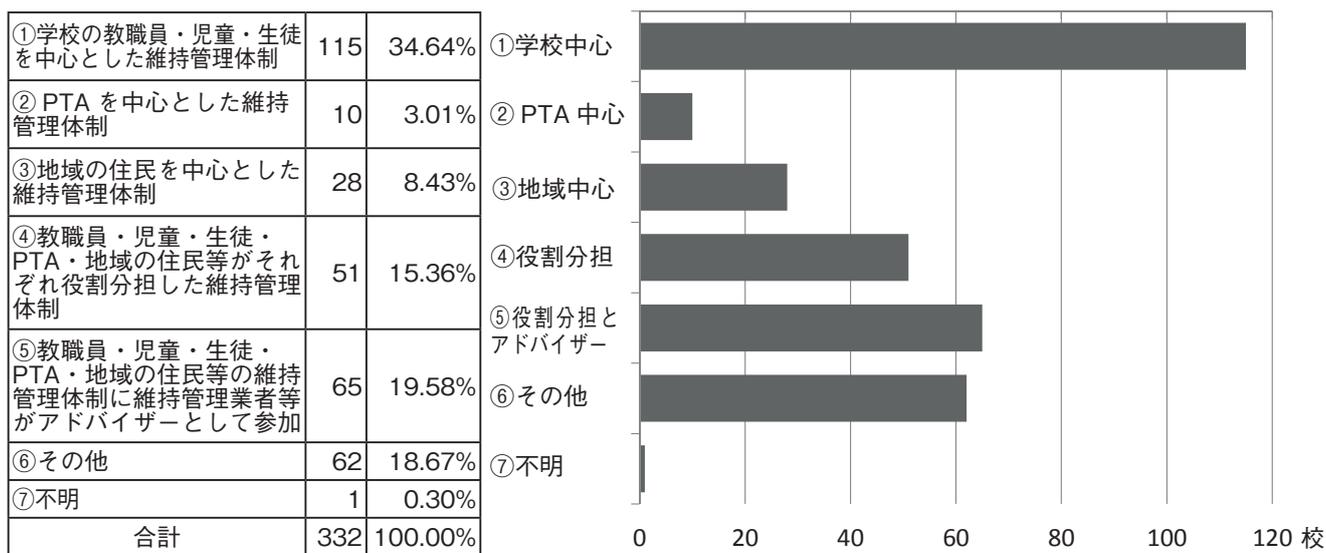
## 310 維持管理体制（有効回答：332 校中 332 校）

維持管理体制は、「①学校の教職員・児童・生徒を中心とした維持管理体制」が115校と最も多く、「②PTAを中心とした維持管理体制」が10校、「③地域の住民を中心とした維持管理体制」が28校、「④教職員・児童・生徒・PTA・地域の住民等がそれぞれ役割分担した維持管理体制」が51校、「⑤教職員・児童・生徒・PTA・地域の住民等の維持管理体制に維持管理業者等がアドバイザーとして参加」が65校、「⑥その他」が62校となった。

「⑥その他」においては、「専門業者による維持管理体制」「維持管理業者」「学校用務主事」「維持管理団体はない」「シルバー人材センター」などがあり、自治体や教育委員会からの専門家の派遣といった記載もある。①⑥と回答し、記述回答に業者の存在を記載、保守、維持管理などプロの存在、自治体等からの派遣ありなど、契約などに違いがみられるものの専門業者が維持管理の中心となっていると思われる回答が32校あった。

また、①を選択した学校の中においても、記述欄に委託業者がある旨を記した学校もあり、何らかの形で専門業者が関わっている様子がうかがえる。

<図表 310>



# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 310 関連 (370) 専門家による調査・点検 (有効回答：332 校中 332 校)

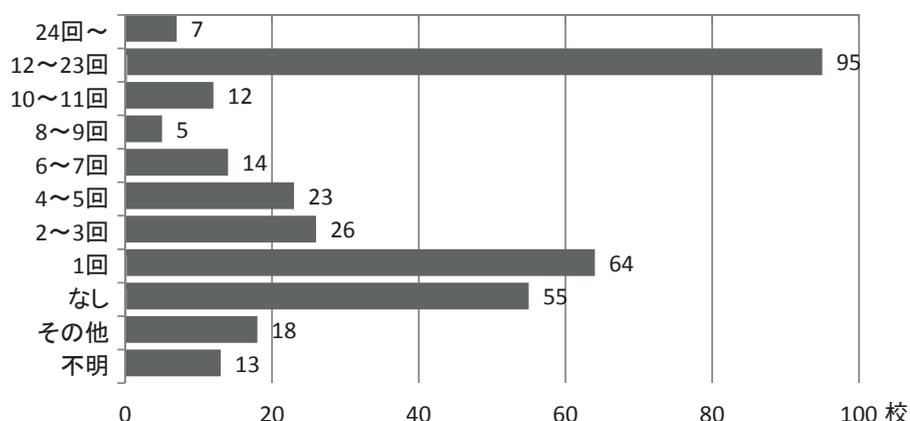
維持管理体制に専門家がどれくらい関わっているかは、重要なポイントになる。

専門家による調査・点検が1年間に何回程度行われているかを聞いた。この結果、「12回」が86校と最も多く、「1回」が64校、「0回(なし)」が55校の3つが他に比べ多いが、2回から6回、10回も10校以上が回答し、「13回」以上への回答も16校あった。

その他は、「適宜」「適時」「年間管理委託」など、18校とも専門家の関与を示し、この結果、専門家が何らかの形でかかわっている学校が約80%、一方、「なし」55校と専門家が関わらない学校が約17%となった。

<図表 370 >

0回：55	10回：10
1回：64	11回：2
2回：14	12回：86
3回：12	13回：2
4回：13	20回：7
5回：10	24回：4
6回：12	30回：1
7回：2	36回：1
8回：3	80回：1
9回：2	合計：332



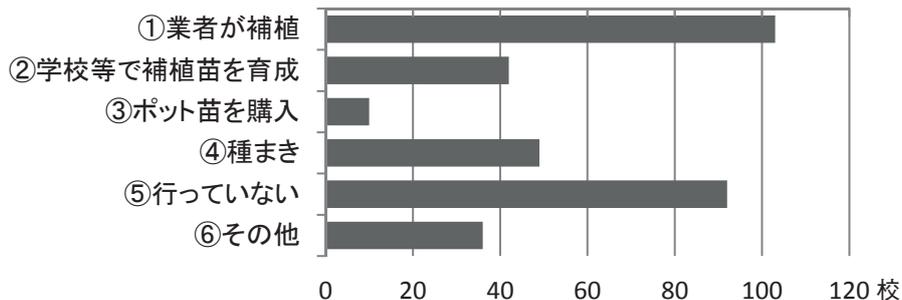
## 320 芝生の補植 (有効回答：332 校中 332 校)

芝生の補植については、「①業者が補植」が103校、「②学校等で補植苗を育成」が42校、「③ポット苗を購入」が10校、「④種まき」が49校、「⑤行っていない」が92校、「⑥その他」が36校で、選択肢にある複数の方法で行っていることが示されたほか、学校でロール芝や苗を購入したり、伸びた芝を切り取って補植、業者による種まきなどがみられた。

その他を含め、約7割を超える学校で何らかの補植を行っている一方、約3割近い学校が補植を行っていない。

<図表 320 >

①業者が補植	103	31.02%
②学校等で補植苗を育成	42	12.65%
③ポット苗を購入	10	3.01%
④種まき	49	14.76%
⑤行っていない	92	27.71%
⑥その他	36	10.84%
合計	332	100.00%

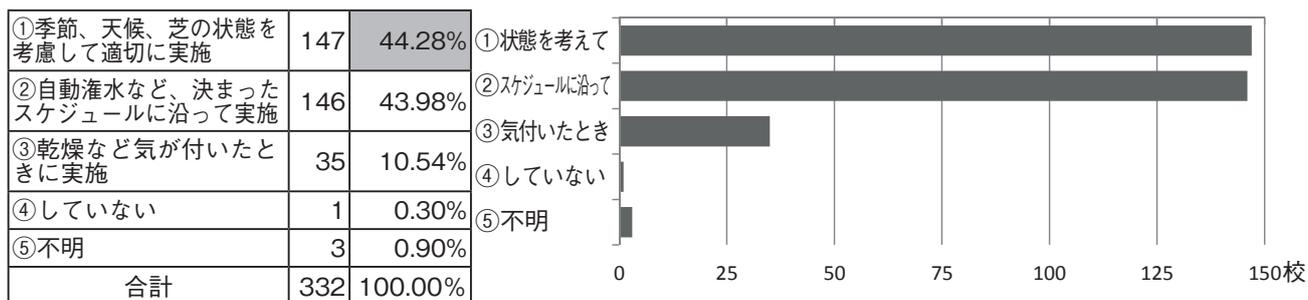


## 特集 校庭芝生化の現状

### 330 散水について（有効回答：332 校中 332 校）

散水は、「①季節、天候、芝の状態を考慮して適切に実施」が147校、「②自動灌水など、決まったスケジュールに沿って実施」が146校、「③乾燥など気が付いたときに実施」が35校、「④していない」が1校となった。

<図表 330 >



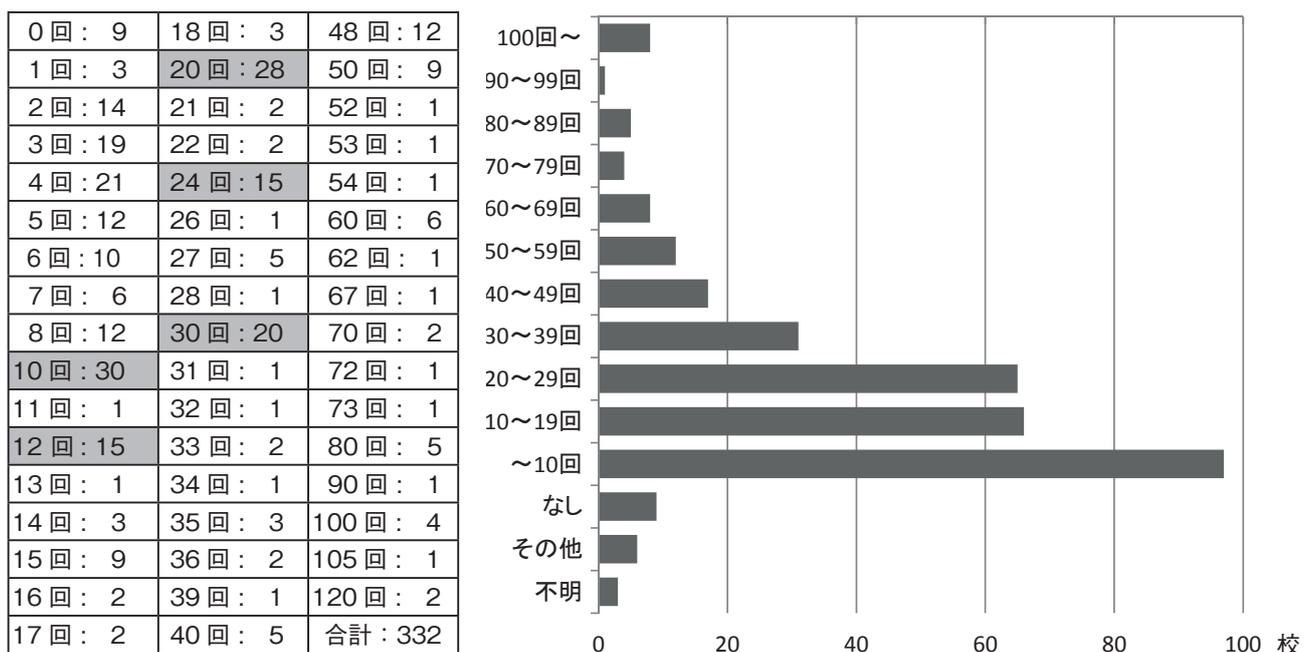
※「①②」との回答が4校あったが、①は②を含めたものであるため①に加えた。

### 340 芝刈り（有効回答：332 校中 332 校）

芝刈りは、1年間に何回程度行っているかを聞いた。この結果、「2回」から「50回」まで回数に大幅な違いが見られた。また、数字的に切りのよい10回、20回、30回や月1回ペースの12回、2回ペースの24回などに顕著な分布が見られる。また、50回以上が30校、100回以上が8校ある一方で、芝刈りをしていない学校が9校あった。

10回未満が約30%、10回～20回、20回～30回がともに約20%で、概ね月1～2回刈るのが平均的である。

<図表 340 >



# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

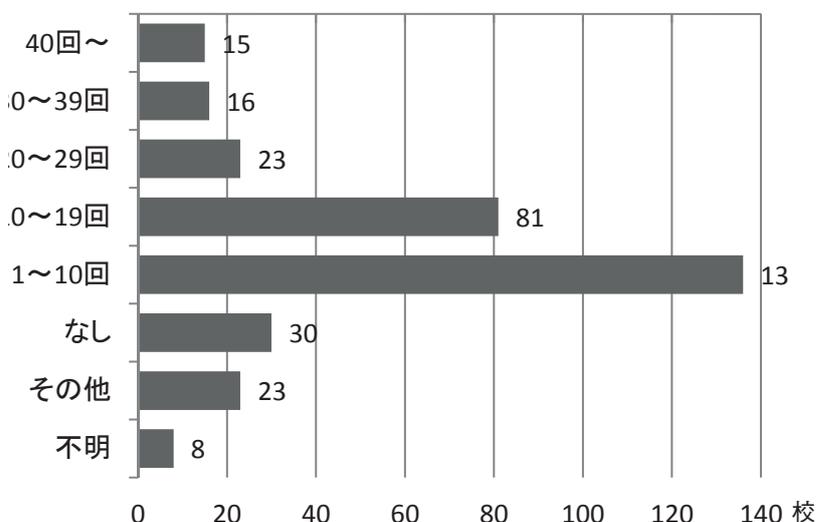
## 350 除草（有効回答：332 校中 332 校）

除草は、1年間に何回程度行っているかを聞いた。この結果、「0回（なし）」から「365回（毎日）」まで分布し、「10回」が38校、「2回」が33校、「なし」が30校、「3回」が24校、「6回」が23校、「5回」が20校、「4回」「12回」「16回」が16校、「20回」が13校と多かった。

その他として、「適宜」10校、「随時」2校、「少しずつ毎日」などの回答があり、必ずしも除草を一度に終わらせない回答があった。除草の性格から、十分にあり得ることであり、一斉作業や委託作業等ではない、日常的な取り組みの存在も見逃せない。

<図表 350 >

0回：30	15回：5	40回：1
1回：11	16回：16	48回：1
2回：33	18回：2	50回：4
3回：24	20回：13	52回：1
4回：16	21回：1	59回：1
5回：20	22回：1	60回：1
6回：23	23回：1	73回：1
7回：3	24回：6	80回：1
8回：6	27回：1	120回：2
10回：38	31回：1	180回：1
11回：1	32回：1	250回：1
12回：16	35回：3	365回：1
14回：3	36回：2	合計：332

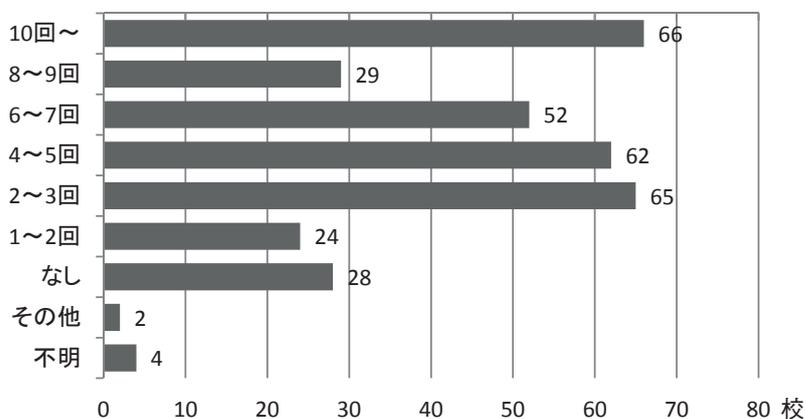


## 360 施肥（有効回答：332 校中 332 校）

施肥は、1年間に何回程度行っているかを聞いた。この結果、「0回（なし）」から「24回」まで分布し、「5回」が37校、「2回」が36校、「6回」が30校で、2回以上8回未満が約54%で多数を占めている。「0回（なし）」は約8%となっている。

<図表 360 >

0回：28	11回：5	14回：3
1回：24	12回：22	15回：5
2回：36	13回：1	16回：16
3回：29	14回：3	18回：2
4回：25	15回：1	20回：13
5回：37	16回：1	21回：1
6回：30	18回：1	22回：1
7回：22	20回：3	23回：1
8回：19	22回：1	24回：2
9回：10	11回：1	
10回：26	12回：16	合計：332

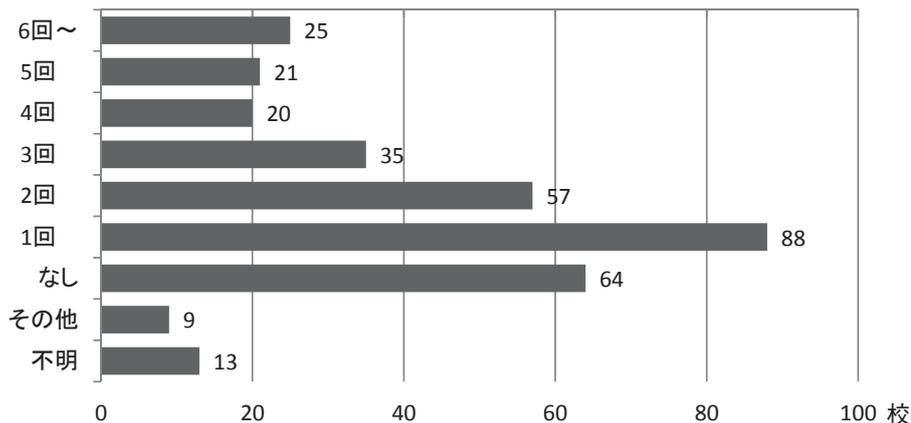


## 361 目砂、目土（有効回答：332校中332校）

目砂、目土は、1年間に何回程度行っているかを聞いた。この結果、「0回（なし）」から「200回」まで分布し、「1回」が88校、「0回（なし）」が64校、「2回」が57校、「3回」が35校、「4回」が20校、「5回」が21校となった。

<図表 361 >

0回：64	17回：1
1回：88	20回：2
2回：57	25回：1
3回：35	30回：2
4回：20	48回：1
5回：21	60回：1
6回：5	100回：1
8回：1	200回：1
10回：7	
12回：2	合計：332

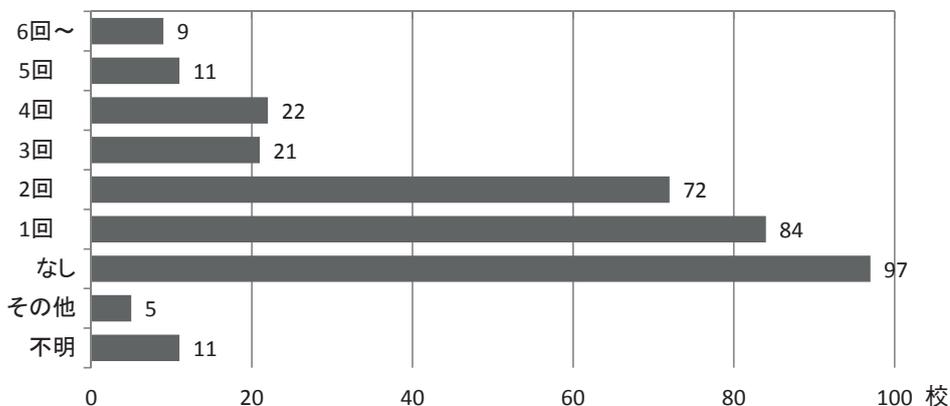


## 362 エアレーションやコア抜きなどの通気性改善（有効回答：332校中332校）

エアレーションやコア抜きなど、通気性改善は、1年間に何回程度行っているかを聞いた。この結果、「0回（なし）」から「24回」まで分布しているが、「0回（なし）」が97校と最も多い。「1回」が84校、「2回」が72校で、やっている学校は1～2回が標準である。

<図表 362 >

0回：97
1回：84
2回：72
3回：21
4回：22
5回：11
6回：4
10回：3
12回：1
24回：1
合計：332



# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 363・364 薬剤散布（有効回答：332 校中 332 校）

薬剤散布については、薬剤散布の有無と内容を聞いたが、ほとんど実施していない状況であることがわかった。

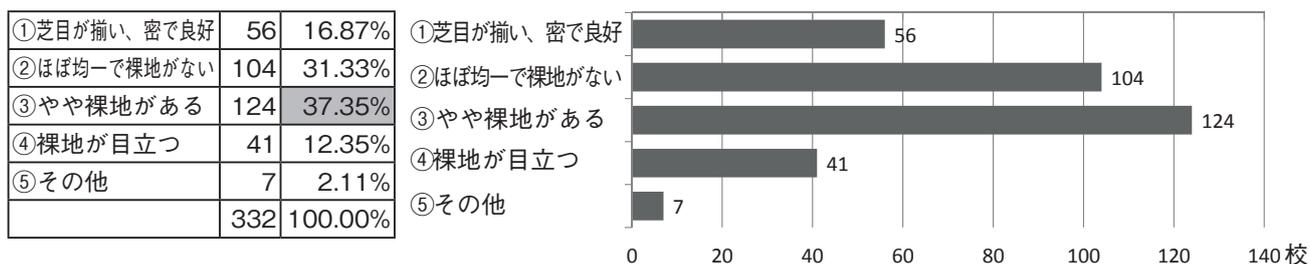
## 400 現在の芝生の状態（コンディション）（有効回答：332 校中 332 校）

校庭を芝生化した後、一定の使用を経た時の芝生のコンディションは、芝生化する際の重要な示唆となる。

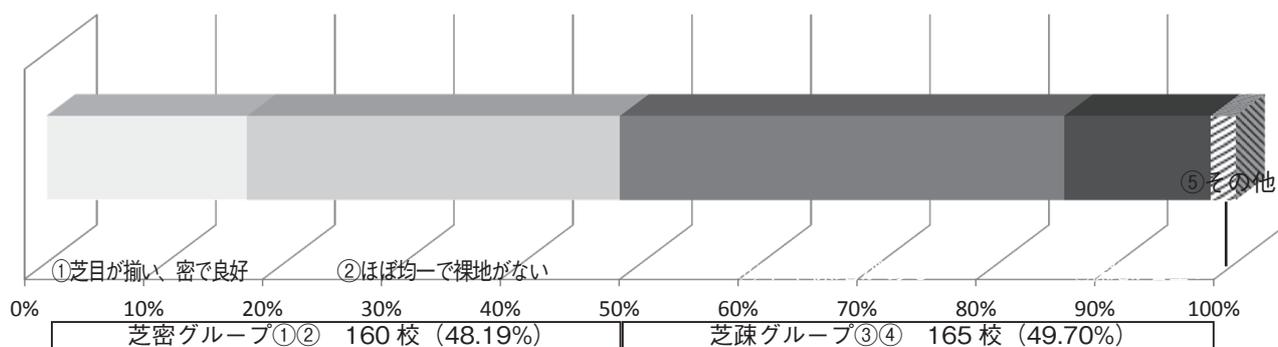
現在の芝生の状態については、「①芝目が揃い、密で良好」が56校、「②ほぼ均一で裸地がない」が104校、「③やや裸地がある」が122校、「④裸地が目立つ」が41校、「⑤その他」が7校となった。

回答者による現在の芝生の状態（コンディション）を取って「芝密」グループ①②と、「芝疎」グループ③④に区分すると、①②が160校、③④が165校となり、評価はほぼ半々に分かれた。

<図表 400 >



<図表 400-2 >



## 特集 校庭芝生化の現状

「芝生の状態」を「使用期間」の長さで、「5年以上」「2年以上」「2年未満」の3つのグループに区分してみると、「5年以上」「2年以上」の回答で、「③やや裸地がある」が最も多くなり、「2年未満」の回答で、「②ほぼ均一で裸地がない」となった。

「2年未満」において、「④裸地が目立つ」との回答割合が他のグループより少ないのは、使用期間が短いことが考えられる。同様に「使用期間」が長くなると芝生の状態が悪くなる傾向がみられ、「芝密」とした「①芝目が揃い、密で良好」「②ほぼ均一で裸地がない」は、使用期間が長くなるにつれて回答割合が減少し、「芝疎」とした「③やや裸地がある」「④裸地が目立つ」は、使用期間が長くなるにつれて回答割合が増加し、芝生のコンディションと使用期間には関係性が見られる。

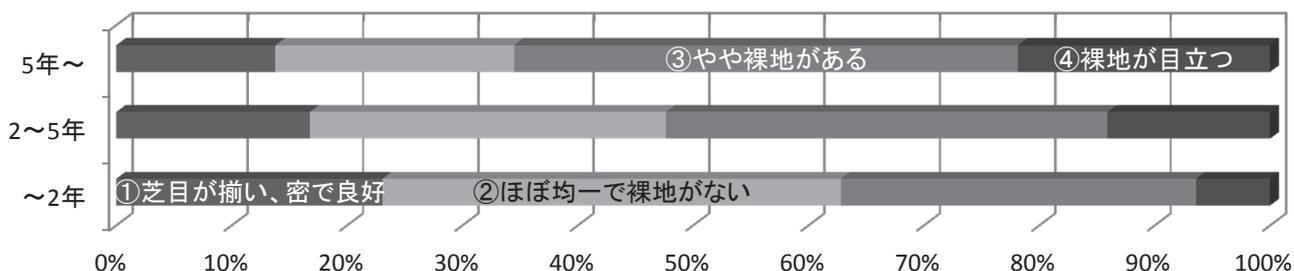
<図表 400-3 芝生の状態と使用期間 a>

芝生の状態	使用期間			合計
	5年～	2～5年	～2年	
①芝目が揃い、密で良好	12 13.79%	25 16.78%	18 23.08%	55 17.52%
②ほぼ均一で裸地がない	18 20.69%	46 30.87%	31 39.74%	95 30.25%
③やや裸地がある	38 43.68%	57 38.26%	24 30.77%	119 37.90%
④裸地が目立つ	19 21.84%	21 14.09%	5 6.41%	45 14.33%
合計	87 100.00%	149 100.00%	78 100.00%	314 100.00%

※「使用期間」等が不明な8校を除いて集計した。

<図表 400-3 芝生の状態と使用期間 b>

芝生の状態	使用期間			合計
	5年～	2～5年	～2年	
芝密グループ①②	30 34.48%	71 47.65%	49 62.82%	150 47.77%
芝疎グループ③④	57 65.52%	78 52.35%	29 37.18%	164 52.23%
合計	87 100.00%	149 100.00%	78 100.00%	314 100.00%



# アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

## 500 芝生化に関する意見（有効回答：332 校中 191 校）

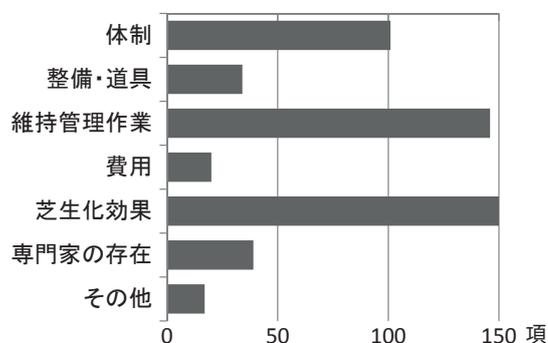
芝生化に関する意見は、成果、効果、反省点、今後芝生化する学校へのアドバイス、望むことなどを自由に記述してもらい、185 校から回答を得た。

記述内容が何に関するものかを知るため、主な内容を（１）体制、（２）整備・道具、（３）維持管理作業、（４）費用、（５）芝生化効果、（６）専門家の存在、（７）その他に仕分けし、意見の傾向を探ることとした。また、それぞれについて、成果、効果等に関する意見、反省点、今後のアドバイス等に関する意見に大別し重複等を除いた上で回答を掲載した。

仕分けした内容をカウントすると、延べ 507 項となり、「芝生化効果」、「維持管理作業」に関するものが 3 割近くに上り、次いで「体制」、「専門家の存在」、「整備・道具」に関するものとなった。

<図表 500 >

体制	101	19.92%
整備・道具	34	6.71%
維持管理作業	146	28.80%
費用	20	3.94%
芝生化効果	150	29.59%
専門家の存在	39	7.69%
その他	17	3.35%
合計	507	100.00%



### （１）体制について

#### ①成果、効果等に関する意見

##### ◆組織づくり・連携

- 校庭開放の利用団体との共通理解と協力が欠かせない。年間を通じベストの状態を維持するのは、かなり難しい。本校は地域、教職員、児童、保護者の協力がバランスよく、それぞれの負担感が少なく、ボランティア活動が積極的に行われている
- 少人数だがグリーンサポーターの協力、市、業者のアドバイスで良い状態が保たれた。市がいつでも相談に乗ってくれるのは良い
- 通常の芝刈りは児童の委員会活動の一環として週 1 回、実施している。夏季休業中は保護者ボランティアを募集して実施している。しかし、維持、管理には専門的な知識や技能がないとできないため、現在、業者からきめ細かいアドバイスを受け、特別な手入れは業者が行ってくれることで、大変助かり生育状況も良い
- グリーンリーダー（地域の方）を中心に、とても協力的な地域内の町会の方々が率先して維持管理を行い、管理職、教職員の入れ替えがあっても、芝生化した当初と変わらず、維持管理できており、この体制は今後も続き、これから先も芝生は良好な状態を保って行けると思う
- 地域の方や保護者の方の協力なしでは、芝生の維持管理はできないが、協力者のおかげで、芝刈りが順調に行われ、維持管理ができています。地域・保護者・学校の連携を十分に行うことが、維持管理の成功の秘訣
- 児童に芝生を大切にすることを育むことが大切。一方で、学校の芝生は使う・遊ぶで傷むため、大切に使いながらも、グリーンサポーターである大人が直す体制を作ることが必要。この考えは、グリーンサポーター共通の考えです
- 地域の協力体制がないと管理面は厳しく、組織作りが出来、助けられている
- PTA の協力を得ることで、多方面にも波及する効果があったように思う

## 特集 校庭芝生化の現状

- 維持管理に保護者組織が関わればより良くなる
- 芝生管理委員会を作り、学校全体で管理する体制が芝生の維持には必要
- 校内委員会等設置して、組織的に維持管理をしていく必要がある
- 維持管理は、専門業者の指導・助言のもと、教職員・PTA・地域・校庭使用団体の協力があって成り立つ。教育活動内での芝生の効果（児童の遊ぶ様子、学校行事、学習活動等）を家庭、地域に発言し、校庭使用スポーツ団体とも密に連携し、今年度は、順調に芝生管理をすることができた
- 芝生を育てる有用感を地域やPTAと共有することがまず大事
- 環境委員会の児童と地域のボランティアの方々で毎月芝刈りを行い、維持管理を通して、地域の方とかかわる機会を作っている
- 芝生を地域連携のツール、地域の共有財産として生かしていく戦略を立て、一体感を持てる仕組みを作ることが必要
- 用務さんが良くやってくれ、中心（指導者）になってくれている
- 芝生ボランティアの方の力によるところが大きい
- 芝刈りボランティアが軌道に乗るまでは大変だが、軌道に乗れば、芝の状態も良くなっていく
- ◆アドバイス
  - 学校だけで維持管理するには限界がある。芝生化を始める先に、今後の運営方法について十分に吟味・検討するとよい
  - 養生期間を考慮したカリキュラムづくり、縄跳びや綱引きなどできない運動があることを承知しておく
  - 地域の協力態勢を作ってから実施する
  - 校庭の土ではなく砂を入れて下に配水管を入れる
  - 雨水利用のスプリンクラーとする、刈った芝生の処理（乾燥分解）させる場所を考慮しておく
  - 芝生後も予算がないと維持できないので計上する（肥料や道具、目砂、修理など）
  - 毎年必要な施工についての予算を計上する

### ②反省点、今後のアドバイス等に関する意見

- ◆組織づくり・連携
  - 組織もなく活動もなく、赴任後しばらくして芝生があることがわかった。情報を集めたが、砂が入り込み生育は難しく、狭い校庭に芝生の養生時期が重なると外で遊べないという声もあり、芝生を本当に望んだのか疑問を持った。今後の芝生化には地域とともに組織化しておかないと、教員の異動で続かないことも出てくると思う
  - 業者や町会との調整、平日の芝刈り、休日の町会との芝刈り、雑草抜きなどが十分に引き継げずに担当し、負担が大きい。担任の先生は芝生メンテナンスの時間がなく、維持管理をすることが困難
  - 芝刈りを教師が主導しながら児童とともにやっていくことがまだ徹底できていない
  - 誰か任せになっていることが心配。組織的な対応を行いたい
  - 地域のみでの管理は難しい
  - 教職員が背負う形になると大変厳しい。地域PTAなどが率先して行ってくれる形に専門業者が関わりながら維持管理を行っていくようお願いしたい
  - 芝生の管理を移行していくのは、非常に難しい
  - 外部団体に芝生に対する理解が得られないことがある。貸出主となる自治体は、芝生化された校庭の利用について、一定の制限を設けることを望む
  - スポーツ団体との調整（少年野球や少年サッカー 特に夏休みは芝の養生のため一月近く校庭開放ができなかった）
  - 児童も地域も校庭芝に愛着を持っているが、一部でプロのサッカー場や野球場の芝をイメージする人もおり、裸地ができると苦情が寄せられることがある。天然芝は天候に左右されることを理解して頂きたい
  - 芝生保護のため、禁止する運動や野球・サッカー等団体への回数制限等をせざるを得ず、それに対して、学校評価の際には厳しいご意見（子供のための校庭なのか、芝生のための校庭なのか等）
  - 体制をしっかり計画しないと個人に負担が掛かる

## アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

- 地域ボランティアも参加者がかなり高齢化しており、主体とはなれない状況
- 夏場の作業は熱中症もあり、高齢のボランティアの方には無理
- ボランティアは保護者の草刈りの参加もあるが、実際に関わる時間が取れない
- 職員のボランティア精神に委ねられている
- 地域の方に芝生リーダーをお願いしているが後継者がいない
- 芝を刈る、除草するための人出がなかなか集まらず、教職員も出ているが時間がなかなかとれない
- 用務主事に管理業務をしてもらうことが多く負担が大きい
- 協力者への連絡、暑い時の水分補給の準備などが大変
- 管理に関しては、定期的に専門業者に入って欲しい。芝刈りや除草等、PTAを含めた人材確保が困難

### ◆要望

- 校庭の一部分のみの芝生化だが、区や教育委員会の支援（業者への委託等）がないと維持管理は困難だと思う
- 管理は市役所をお願いしたい

## (2) 整備・道具について

### ①成果、効果等に関する意見

- 1人当たりの芝生化面積をできるだけ広くすることが、裸地化を防ぐ根本
- 主に活動する場所を避けての芝生化は良い
- 校庭のはじめの部分なので、管理が比較的難しくない
- 校庭の一部だけで、教育活動には大きな支障はない
- 校庭全面芝生化をする際には、養生期間中、校庭の一部使用制限が必要なことを利用団体に周知するなど芝生に対する理解を得た上で実施することが望ましい
- しっかりと土地改良が前提
- 芝を張る場所の土壌改良
- 芝生化された面積が限られ、十分に教育活動に利用することができなかった。今後は、さらなる活用を図っていききたい
- 面積が狭く、芝生化の利点あまり感じられていないのが実情。芝生化をするなら、それなりの規模で実施した方が良いとの意見があった。
- どうしても芝を踏まざるを得ない場所なので、芝生マットを敷いたら裸地防止に役立った。もっと敷き詰めていききたい
- 道具等については、「校庭芝生化に伴いスプレーガンを設置。近隣からの砂埃の苦情が激減」したとの回答があった。

### ②反省点、今後のアドバイス等に関する意見

- 校庭が3つあれば養生期間も運動と遊び場を確保できるが、そうでない学校は本当に大変だと思う
- 第1校庭、第2校庭を設ける（休ませないと枯れてしまう）
- 昇降口の近くは、芝生がすり減ってしまい、すぐ裸地になる
- 改良野芝のため、冬休眠時に擦り切れると暖かくなっても回復せず、裸地化している所が目立つ。学校運営上、養生期間がとれない
- 児童の動線部分の芝生に擦り切れがある
- 冬芝への養生期間が1ヵ月間あり、校庭が使えなくなる（芝生以外の部分もある程度残し、その期間もう少し運動できるよう配慮すれば良かった）
- 養生期間と行事の調整が難しい
- 面積が狭く、大きな樹木の近くで、春から夏場にかけて葉が生い茂り日照時間が少なくなってしまう
- 冬場の施工で、シュミレーションが足りなかったことを反省
- 排水溝が深く、芝生の砂が大量に溜まり、業者に依頼するしか方法がない

## 特集 校庭芝生化の現状

- 水はけが悪く生育がよくない部分があったため、芝生を一部養生する期間が長く、なかなか全面開放できなかった
- トラックの周辺を芝生にしてあるが、雨が降ると水はけが悪く、トラック内に水が溜まり、沼状態になる
- 冬場に霜がおり校庭がぬかるむが、芝生保護のために凍結防止剤（カルコート）を散布できず、いつまでもぬかるみ、使用範囲が制限される
- 手入れをする設備が整っておらず、手作業が多く負担で、時間を要しているため、日常の学校での作業の効率化にご配慮いただけると有難い
- 全面芝生化でなくても、芝生面積が広い学校には、今からでも乗用芝刈り機の配置を希望する
- スプリンクラーがない（通常のゴムホースで水やりを行っているため、朝晩散水をする夏場は、多くの時間を費やしている）
- 工具があったとしても、使用するための電源設備がない
- スプリンクラーが老朽化し散水が困難
- 自動散水できるスプリンクラーがあればベストだが、手動で行う場合、散水にムラがないようにすることが大切
- 地中型給水システムは、故障し給水が止まっても目視では判別がつかない。芝目の様子や枯れてきていないか、こまめな点検が必要

### (3) 維持管理作業について

#### ①成果、効果等に関する意見

##### ◆アドバイス

- 乗用芝刈り機は、刈り高が長く芝生にとって良くない。大変だが手押しの芝刈り機が良い。5月～10月にかけて、しっかり刈り込むことが大切
- 刈り取った芝は、ゴミで出すよりも、畑で堆肥化した方が経済的
- 水やらずに我慢させすぎず乾燥しきる前に水をやる
- できるだけ早い時期にトランジションを行う
- 養生シートは3月いっぱいまで伸ばす
- 夏場の芝刈りは、あまり伸びないうちに早めに刈った方がよい
- 芝生を良い状態にするため、5月から9月は週2日程度、2から3時間、5から6人が関わっている
- ゴルフ場のように綺麗に刈り込む必要はなく、「雑草も芝生のうち」という発想にたてば、維持管理も気楽で、昆虫や鳥などの生物も集まる。運動スペース、生物スペース等、目的に応じて刈り込み具合を調整するとより効果的である
- 土が固くなるので、12月頃業者によるエアレーションがあると良い
- 校庭芝生は傷むことが前提。傷めないことより、どう補っていくかを具体化すべき

##### ◆その他

- 春先の丁寧な除草は、その後の手間が楽になった
- 春先の気温によって冬芝の状態が影響するので、シートによる保温の期間の調整も重要
- 4月～9月の期間ほぼ毎週1、2回の芝刈りを実施しているので、芝目が揃い、密で良好
- 昨年度「校庭芝生リーダー養成講座」を受講することができ、研修が芝生の管理に大変に役立った
- 「芝刈りの際に危険なので石を入れないように」との指導も、しっかりと定着しているように思える
- 維持管理業者とは連絡を取り合い、芝生の維持管理に努めている
- 維持に関しては、業者による手入れが必要

#### ②反省点、今後のアドバイス等に関する意見

- 除草作業に一番手間が掛かり、維持するため、学校にかかる負担は大きい
- 冬芝のオーバーシーディングは、作業が大変なことと、秋の運動で使用したい時期が養生期間になり、悩みどころ
- 夏休み中は、かなりの頻度で散水作業が必要。この2つは、教員がせざるを得ない
- 何校か業者による都の予算による校庭芝生を見たが植え方、管理が甘い
- 猫が居ついて、糞対策が難しい

## アンケート調査の結果から把握できた現状、傾向及び分析

- ティフトンの生育が旺盛な時期に、プランター等で補植用に育てておけばよかった
- 学校は薬剤を散布することができず、雑草の大繁殖や芝の病気、害虫の大量発生時に効果的な対策が取れない。芝生化のメリットが大きいことは理解できるが、負担が大き過ぎる

### (4) 費用について

#### ◆アドバイス

- 校庭芝生化の維持管理補助金を無期限継続にいただきたい
- 芝刈り機など、維持管理するための備品購入の予算をいただきたい
- 2013年度は、裸地化する場所が多く、補植が多く必要になった。維持管理補助金に補植も認めていただきたい
- 維持・管理のために、継続的に管理業者がついたり、芝刈り機等の修繕、補充のための予算、維持費がかなり（思っていた以上に）掛かる
- 運動会後の芝生の傷みが目立ち、補植や張替を補助していただきたい
- 維持管理は、エアレーションや施肥・養生シート張りなど、お金や手間が掛かることが多く、予算をいただけるとありがたい
- 芝生の維持管理に関して、業者対応や予算措置を要望したい

#### ◆その他

- 都の芝生化事業補助金を受けても、ずっと続く訳ではなく、予算をきちんと取っておくことが良い
- 芝生のある学校にはきちんと予算をつけた方が良い
- 芝生化開始3年は都の補助があり、維持管理業者の指導や管理が受けられ、大変助かったが、補助が切れる次年度から維持管理業者の手がどの程度入るのか未定で大変不安
- 永年の維持管理予算（最低限）が不可欠
- 目土代、種代、器具のメンテナンスなど、管理維持予算をもう少し増やさないと厳しい
- 手入れをするための道具や人材が必要で、補植・除草・施肥などのために費用が掛かる。芝生化にあたっては、維持管理を含め、人材や資金を計画的に配置することが必要
- 校庭が広く芝刈り機を活用しているが、そのガソリン代などの費用がかなりかかってしまうことが悩み
- 散水の水道代が心配

### (5) 芝生化効果について

#### ①成果、効果等に関する意見

- 猛暑のさなかも、天然芝の輻射熱の予防で外遊びが可能
- 芝生の害虫を食べる鳥の様子を毎朝のように観察でき、秋にはアキアカネが旋回する等、環境教育・理科教育で活用できる素材が増えた
- 景観がよく、地域の催し物を開催する際に好まれる
- ボランティア活動を通して、地域との連携も強化された
- 寝ころんだり、はだしで活動したりできるので、教育活動が広がる
- 砂ぼこりや照り返しがなく、衛生面で効果がある（夏は涼しい）
- 集団で遊ぶ姿が多くみられるようになった
- 児童の情操面での効果（芝生化以前よりも落ち着きや優しさが増した）
- 児童（3年生から6年生）が、夏芝の苗をポットで育て、芝生ボランティアさんたちと共に植え、芝を大切にすることにもつながり、よい教育効果が得られた
- 児童による芝刈りを行っているため、自分たちが使う芝生は自分たちが管理しているという意識が育ち、大切に使うことができている
- 小雨の後でも使用できることは効果的
- 雨天後の水引が早く、水溜りも少ない
- 学校敷地が河川敷で、大変水はけが悪く、冬場の大雨・大雪の後は使用できないことが多いが、そんなときでも芝生では体を動かすことができ、非常にありがたい
- 緑が増えたことでさわやかで気持ち良い（来校者から必ず言われる）

- 強風でも土が舞い上がらない
- 教室にグラウンドの砂が入りにくくなった
- 運動時の大ケガ、事故、熱中症予防等に有効
- 学校の魅力として地域への宣伝効果
- 芝生の育苗や捕植等から植物の成長の様子を知り、植物を育て、守っていくには、いろいろな世話が必要であることを知った
- 転がったり、寝たりする運動ができる
- 校庭への愛着がわく

### ②反省点、今後のアドバイス等に関する意見

- ラインが引けず使用しにくい
- 低学年児童が足をすくわれやすい
- 養生期間に生徒の立ち入りを禁止しなければならず、設置場所に注意が必要
- 2013年の夏は猛暑が続き、暑さか水不足か、芝生が薄くなった。芝生はデリケートで、気づくと一部裸地になっていることがよくある。定期検査をしている業者も学校側も対応に苦慮している
- 遊具の周りや遊具への動線になる部分が裸地になりやすく、遊び方を制限しないと芝生がだめになるため、児童にとって良し悪しは一概に言えない
- 毎年、冬芝の種まきを行っているが、10月から2ヵ月間、春先にも1ヵ月程度養生をするため、低学年の登下校、校庭開放遊び、その他日常の教育活動が制限されることには疑問を感じる
- 芝生は環境的にとても良いが、メインの部分が芝生のため、養生期間は子どもたちが校庭を使えず、運動や遊びが大幅に制限される

## (6) 専門家の存在について

### ①成果、効果等に関する意見

- 専門家に来ていただき、そのアドバイスで随分と改善できた。育成の方針も明らかになった
- 管理業者の面倒見（芝刈り時期・回数等のアドバイス）が良いため、よい状態を保つことができている
- 業者さんによるメンテナンスは良好
- 専門の業者による手入れを年に1～2回、行っただけだと、より良い状態で維持できる
- 今年度は工事が通年にわたってあり、車の通り道になったり、芝生の下に下水管を埋めるため、掘り起こしたりしているので、芝生にとっては悪環境であったと思う。しかし、業者が維持管理を丁寧に行ってくれたおかげでほぼ修復されて良かった。本校は、業者が入ってくれているので、たいへん助かっている
- 維持管理業者とは連絡を取り合い、芝生の維持管理に努めている
- 専門家の関与が必要
- 専門家のアドバイスが不可欠
- 業者と密な連携が必要
- 2013年は、区の要請により専門家が派遣され、とても助かった
- 維持に関しては、業者による手入れが必要
- 専門業者のメンテナンスなどが定期的に必要
- 学校や維持管理団体の力だけでは管理しきれない場面が多々ある
- 専門的な知識が必要であり、専門的な知識のある方の指導・助言が定期的に受けられると有難い
- 専門家や業者の協力がもっと必要
- 区が維持管理の業者を手配してくれるので良好な状態を維持でき、大いに助かっている
- エアレーション、施肥、芝刈りを業者に委託するようにしないと難しい

### ②反省点、今後のアドバイス等に関する意見

- 維持管理は専門知識のある業者などが関わらないと難しいが、毎年変わるとやりにくい。何年間か同じ業者をお願いしたい

# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## コンディションに影響する要因の分析

「現在の芝生の状態」の評価（コンディション）が何の要因によるものなのかを探るため、個別事項の質問に対する回答との関連性を分析した。

このため、まず、「現在の芝生の状態」（400）の回答、「①芝目が揃い、密で良好」「②ほぼ均一で裸地がない」を「芝密」グループ、「③やや裸地がある」「④裸地が目立つ」を「芝疎」グループとした。

さらに、「使用期間」により、コンディションが変わると想定されるため、「5年以上（5年～）」「2年以上5年未満（2～5年）」「2年未満（～2年）」の3つの使用期間で合わせて考察を行った。

### A 「1人当り芝生化面積」

芝生のコンディションと「1人当りの芝生化面積」については、一般的に「1人当たりの芝生化面積」が大きい方がコンディションが良くなると想定されるが、図表Aから明確な関係性は見られない。

しかしながら、図表A2の通り「1人当たり芝生化面積2㎡」で区切ってみると、使用期間5年以上の「芝密」が66.67%、「芝疎」が43.86%と差が開き、2～5年でも約10%の差が出た。2年未満では差がない。

校庭芝生化をする場合「1人当たり芝生化面積2㎡以上」が、芝生のコンディションに影響を与える傾向がある。

<図表A>

1人当り芝生化面積	芝密（校）			芝疎（校）			芝密合計（校）	芝疎合計（校）	合計（校）
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
10㎡/人～	1 3.33%	4 5.63%	6 12.24%	3 5.26%	10 12.82%	4 13.79%	11 7.33%	17 10.37%	28 8.92%
9～9.99㎡/人	0 0.00%	1 1.41%	4 8.16%	2 3.51%	0 0.00%	0 0.00%	5 3.33%	2 1.22%	7 2.23%
8～8.99㎡/人	3 10.00%	3 4.23%	2 4.08%	0 0.00%	0 0.00%	2 6.90%	8 5.33%	2 1.22%	10 3.18%
7～7.99㎡/人	2 6.67%	4 5.63%	2 4.08%	2 3.51%	2 2.56%	0 0.00%	8 5.33%	4 2.44%	12 3.82%
6～6.99㎡/人	4 13.33%	3 4.23%	0 0.00%	4 7.02%	4 5.13%	0 0.00%	7 4.67%	8 4.88%	15 4.78%
5～5.99㎡/人	1 3.33%	5 7.04%	0 0.00%	2 3.51%	2 2.56%	3 10.34%	6 4.00%	7 4.27%	13 4.14%
4～4.99㎡/人	1 3.33%	4 5.63%	4 8.16%	3 5.26%	3 3.85%	2 6.90%	9 6.00%	8 4.88%	17 5.41%
3～3.99㎡/人	1 3.33%	7 9.86%	2 4.08%	5 8.77%	7 8.97%	2 6.90%	10 6.67%	14 8.54%	24 7.64%
2～2.99㎡/人	7 23.33%	6 8.45%	4 8.16%	4 7.02%	5 6.41%	1 3.45%	17 11.33%	10 6.10%	27 8.60%
1～1.99㎡/人	6 20.00%	15 21.13%	11 22.45%	12 21.05%	24 30.77%	6 20.69%	32 21.33%	42 25.61%	74 23.57%
0～0.99㎡/人	4 13.33%	19 26.76%	14 28.57%	20 35.09%	21 26.92%	9 31.03%	37 24.67%	50 30.49%	87 27.71%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

<図表A2>

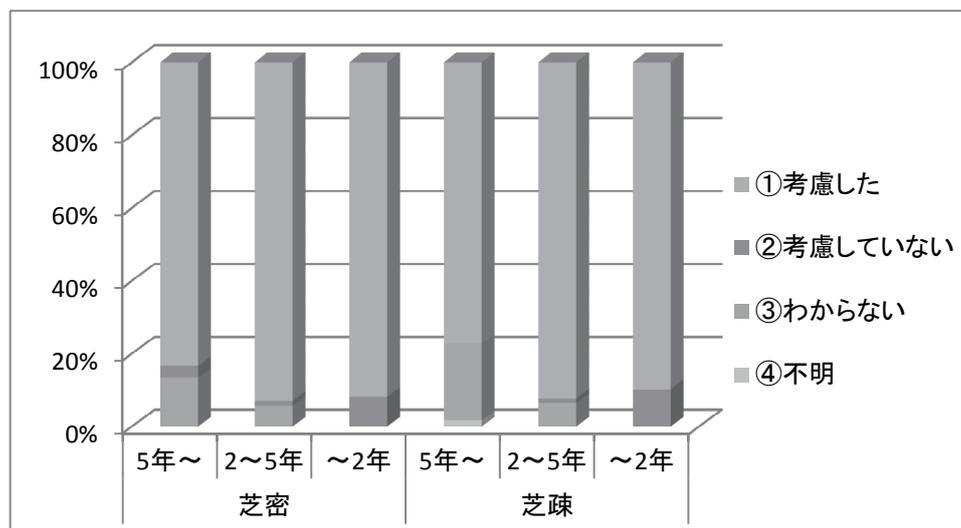
1人当り芝生化面積	芝密（校）			芝疎（校）			芝密合計（校）	芝疎合計（校）	合計（校）
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
2㎡/人～	20 66.67%	37 52.11%	24 48.98%	25 43.86%	33 42.31%	14 48.28%	81 54.00%	72 43.90%	153 48.73%
～1.99㎡/人	10 33.33%	34 47.89%	25 51.02%	32 56.14%	45 57.69%	15 51.72%	69 46.00%	92 56.10%	161 51.27%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

## B 日照時間の考慮

芝生のコンディションと「日照時間」は、生育上密接な関係がある。このため、計画時には「①考慮した」学校が多数を占めている。「日照時間の考慮」の有無と「芝密」「芝疎」の関係性は見られない。

< 図表 B >

日照時間の考慮	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①考慮した	25 83.33%	66 92.96%	45 91.84%	44 77.19%	72 92.31%	26 89.66%	136 90.67%	142 86.59%	278 88.54%
②考慮していない	1 3.33%	1 1.41%	4 8.16%	0 0.00%	1 1.28%	3 10.34%	6 4.00%	4 2.44%	10 3.18%
③わからない	4 13.33%	4 5.63%	0 0.00%	12 21.05%	5 6.41%	0 0.00%	8 5.33%	17 10.37%	25 7.96%
④不明	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 1.75%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.61%	1 0.32%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



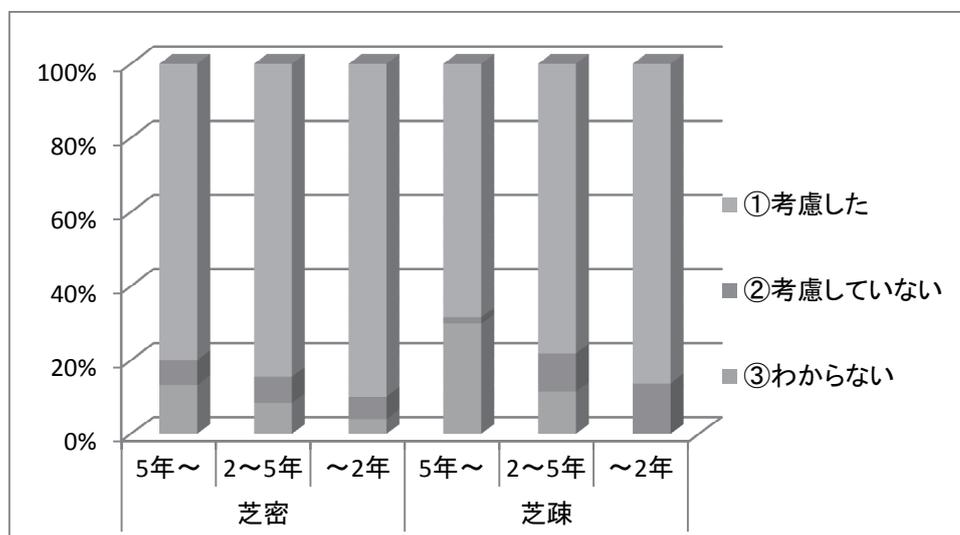
# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## C 養生期間の考慮

芝養生期間を考慮したグループでは、特に使用期間の長い5年以上で、「芝密」の割合が高い。

<図表 C>

養生期間の考慮	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①考慮した	24 80.00%	60 84.51%	44 89.80%	39 68.42%	61 78.21%	25 86.21%	128 85.33%	125 76.22%	253 80.57%
②考慮していない	2 6.67%	5 7.04%	3 6.12%	1 1.75%	8 10.26%	4 13.79%	10 6.67%	13 7.93%	23 7.32%
③わからない	4 13.33%	6 8.45%	2 4.08%	17 29.82%	9 11.54%	0 0.00%	12 8.00%	26 15.85%	38 12.10%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



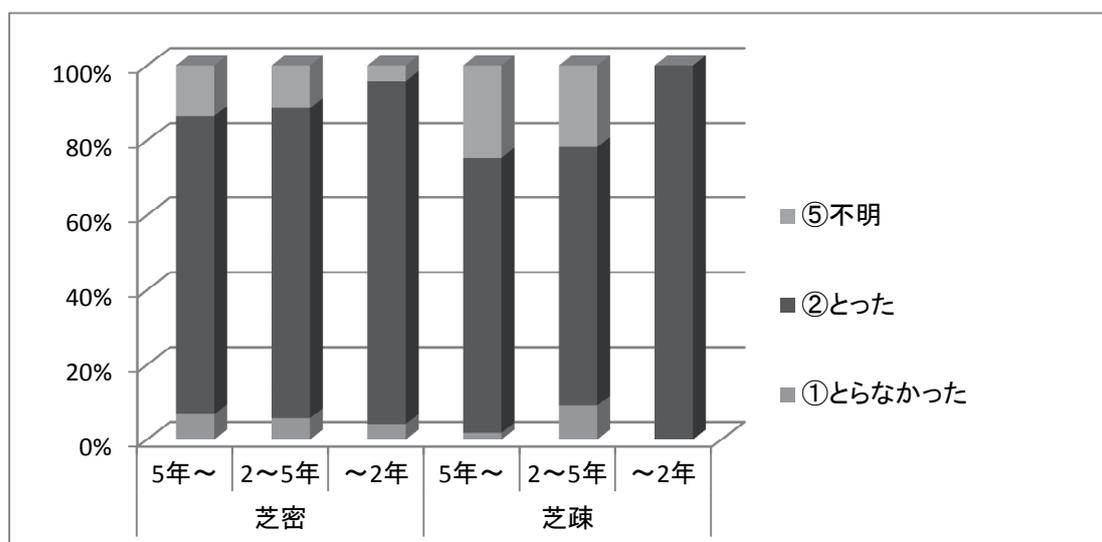
## 特集 校庭芝生化の現状

### D 養生期間

芝養生期間をとったグループでは、使用期間の長い5年以上、2～5年で、「芝密」の割合が高い。

<図表D>

養生期間	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①とらなかった	2 6.67%	4 5.63%	2 4.08%	1 1.75%	7 8.97%	0 0.00%	8 5.33%	8 4.88%	16 5.10%
②とった	24 80.00%	59 83.10%	45 91.84%	42 73.68%	54 69.23%	29 100.00%	128 85.33%	125 76.22%	253 80.57%
③不明	4 13.33%	8 11.27%	2 4.08%	14 24.56%	17 21.79%	0 0.00%	14 9.33%	31 18.90%	45 14.33%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



養生期間	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①とらなかった	2 6.67%	4 5.63%	2 4.08%	1 1.75%	7 8.97%	0 0.00%	8 5.33%	8 4.88%	16 5.10%
②1週間～2週間	3 10.00%	7 9.86%	5 10.20%	7 12.28%	7 8.97%	2 6.90%	15 10.00%	16 9.76%	31 9.87%
③1カ月以上	14 46.67%	38 53.52%	27 55.10%	21 36.84%	37 47.44%	12 41.38%	79 52.67%	70 42.68%	149 47.45%
④2カ月以上	7 23.33%	14 19.72%	13 26.53%	14 24.56%	10 12.82%	15 51.72%	34 22.67%	39 23.78%	73 23.25%
⑥不明	4 13.33%	8 11.27%	2 4.08%	14 24.56%	17 21.79%	0 0.00%	14 9.33%	31 18.90%	45 14.33%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

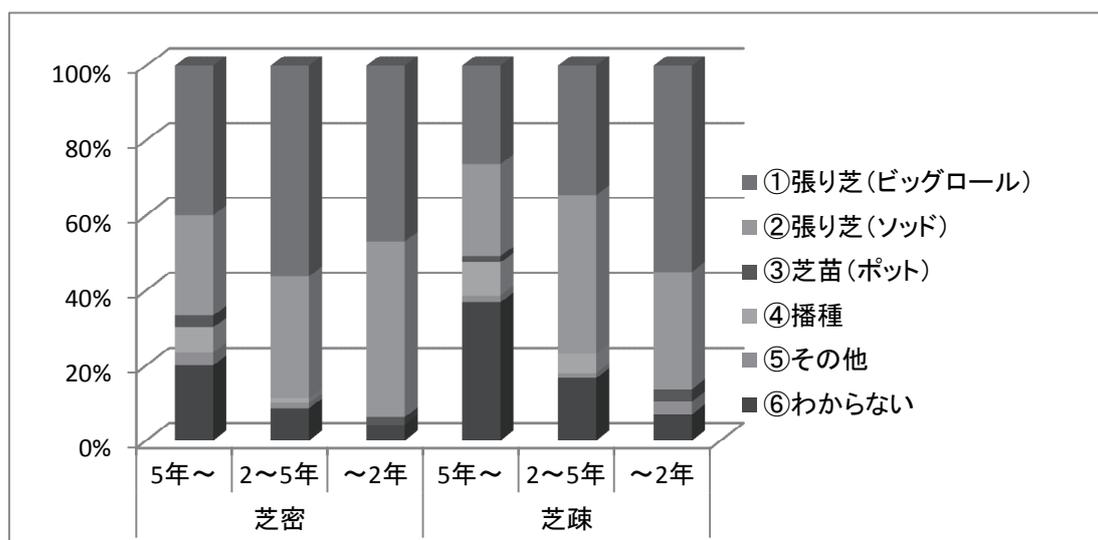
## E 芝生の植え付け

「①張り芝（ビッグロール）」の場合は、使用期間5年以上、2～5年で「芝密」の割合が高くなっており、他の植え付け法に比べてコンディションに影響を与えている。

< 図表E >

芝生の植え付け	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①張り芝 (ビッグロール)	12 40.00%	40 56.34%	23 46.94%	15 26.32%	27 34.62%	16 55.17%	75 50.00%	58 35.37%	133 42.36%
②張り芝 (ソッド)	8 26.67%	23 32.39%	23 46.94%	14 24.56%	33 42.31%	9 31.03%	54 36.00%	56 34.15%	110 35.03%
③芝苗 (ポット)	1 3.33%	0 0.00%	1 2.04%	1 1.75%	0 0.00%	1 3.45%	2 1.33%	2 1.22%	4 1.27%
④播種	2 6.67%	1 1.41%	0 0.00%	5 8.77%	4 5.13%	0 0.00%	3 2.00%	9 5.49%	12 3.82%
⑤その他	1 3.33%	1 1.41%	0 0.00%	1 1.75%	1 1.28%	1 3.45%	2 1.33%	3 1.83%	5 1.59%
⑥わからない	6 20.00%	6 8.45%	2 4.08%	21 36.84%	13 16.67%	2 6.90%	14 9.33%	36 21.95%	50 15.92%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

※網掛けについては「⑥わからない」を除く最大値とした



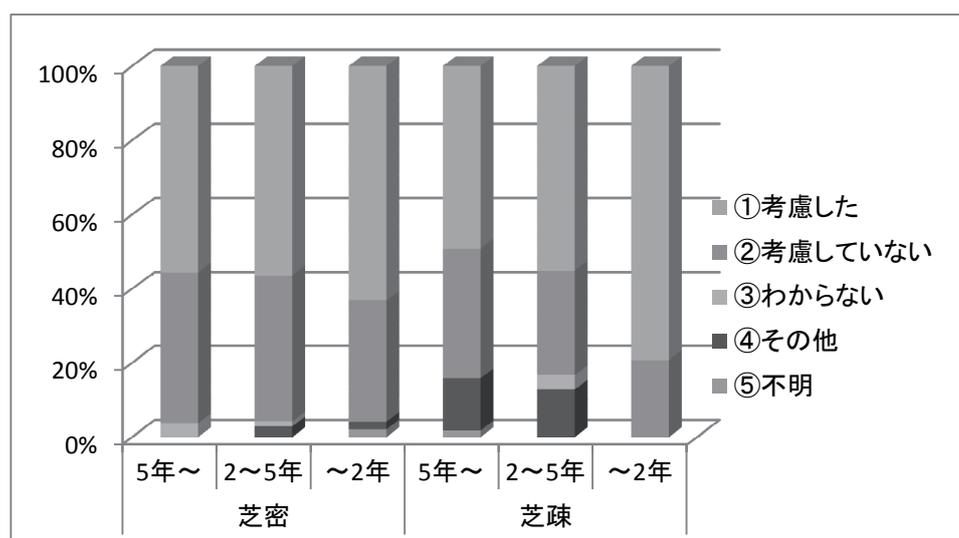
## 特集 校庭芝生化の現状

### F 特定スポーツとの利用調整

芝生のコンディションと「特定スポーツとの利用調整」について、関係性は見られない。

< 図表 F >

特定スポーツとの利用調整	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①考慮した	15 55.56%	40 56.34%	31 63.27%	28 49.12%	43 55.13%	23 79.31%	86 58.50%	94 57.32%	180 57.88%
②考慮していない	11 40.74%	28 39.44%	16 32.65%	20 35.09%	22 28.21%	6 20.69%	55 37.41%	48 29.27%	103 33.12%
③わからない	1 3.70%	1 1.41%	0 0.00%	0 0.00%	3 3.85%	0 0.00%	2 1.36%	3 1.83%	5 1.61%
④その他	0 0.00%	2 2.82%	1 2.04%	8 14.04%	10 12.82%	0 0.00%	3 2.04%	18 10.98%	21 6.75%
⑤不明	0 0.00%	0 0.00%	1 2.04%	1 1.75%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.68%	1 0.61%	2 0.64%
合計	27 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	147 100.00%	164 100.00%	311 100.00%



# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

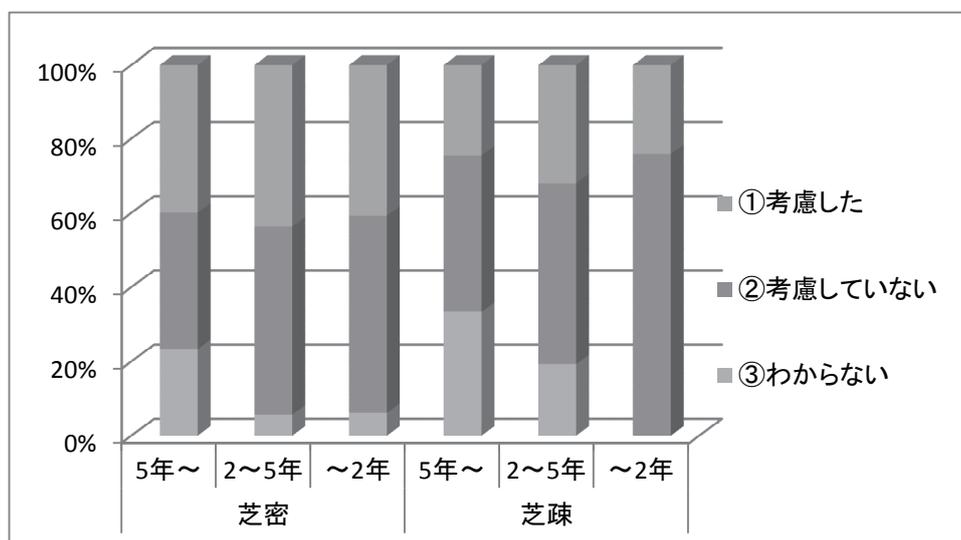
## G 学校行事の考慮

学校行事を考慮した場合（行事の調整を行ったと理解した場合）は、使用期間に関係なく、芝生のコンディションに影響を与えている。

考慮していない場合は、全体として「芝疎」がやや上回っており、逆の傾向にある。

< 図表 G >

	芝密（校）			芝疎（校）			芝密合計 （校）	芝疎合計 （校）	合計 （校）
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①考慮した	12 40.00%	31 43.66%	20 40.82%	14 24.56%	25 32.05%	7 24.14%	63 42.00%	46 28.05%	109 34.71%
②考慮していない	11 36.67%	36 50.70%	26 53.06%	24 42.11%	38 48.72%	22 75.86%	73 48.67%	84 51.22%	157 50.00%
③わからない	7 23.33%	4 5.63%	3 6.12%	19 33.33%	15 19.23%	0 0.00%	14 9.33%	34 20.73%	48 15.29%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



## 特集 校庭芝生化の現状

### H 芝生化した場所

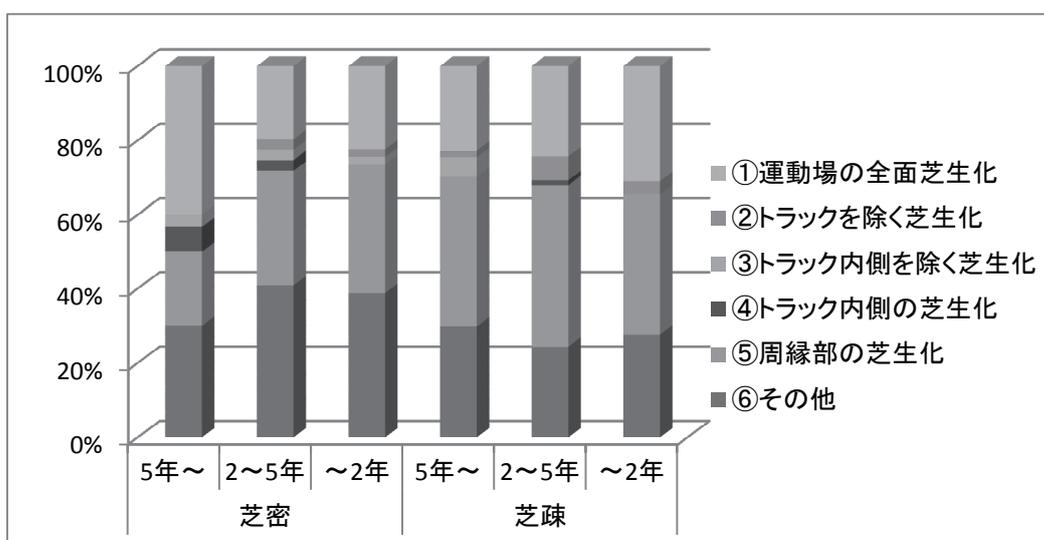
芝生化した場所によって、コンディションの差は見られない。

ただし、運動場の全面芝生化をしたグループが使用期間が経過したにもかかわらず、4割がコンディションが良いと答えているのは興味深い。

< 図表H >

芝生化した場所	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①運動場の全面芝生化	12 40.00%	14 19.72%	11 22.45%	13 22.81%	19 24.36%	9 31.03%	37 24.67%	41 25.00%	78 24.84%
②トラックを除く芝生化	0 0.00%	2 2.82%	1 2.04%	1 1.75%	5 6.41%	1 3.45%	3 2.00%	7 4.27%	10 3.18%
③トラック内側を除く芝生化	1 3.33%	2 2.82%	1 2.04%	3 5.26%	0 0.00%	0 0.00%	4 2.67%	3 1.83%	7 2.23%
④トラック内側の芝生化	2 6.67%	2 2.82%	0 0.00%	0 0.00%	1 1.28%	0 0.00%	4 2.67%	1 0.61%	5 1.59%
⑤周縁部の芝生化	6 20.00%	22 30.99%	17 34.69%	23 40.35%	34 43.59%	11 37.93%	45 30.00%	68 41.46%	113 35.99%
⑥その他	9 30.00%	29 40.85%	19 38.78%	17 29.82%	19 24.36%	8 27.59%	57 38.00%	44 26.83%	101 32.17%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

※最大値の網掛けは「⑥その他」を除いた。



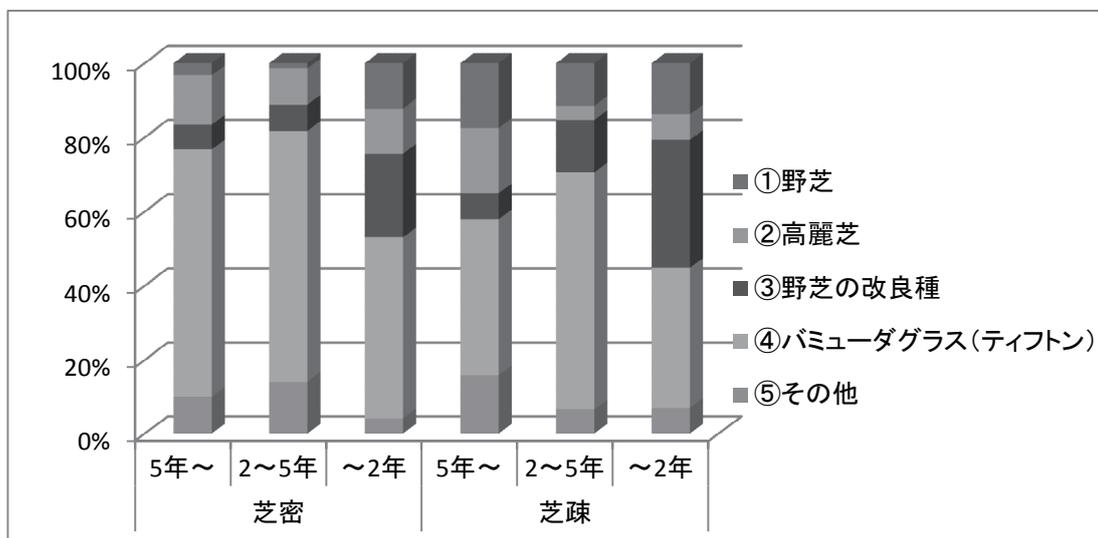
# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## I 芝生の種類

芝生のコンディションが「芝密」で良いのは「④バミューダグラス（ティフトン）」である。一方、和芝では、使用期間が長くなるにつれ、コンディションは悪くなる傾向が見られる。

<図表I>

芝生の種類	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①野芝	1 3.33%	1 1.41%	6 12.24%	10 17.54%	9 11.54%	4 13.79%	8 5.33%	23 14.02%	31 9.87%
②高麗芝	4 13.33%	7 9.86%	6 12.24%	10 17.54%	3 3.85%	2 6.90%	17 11.33%	15 9.15%	32 10.19%
③野芝の改良種	2 6.67%	5 7.04%	11 22.45%	4 7.02%	11 14.10%	10 34.48%	18 12.00%	25 15.24%	43 13.69%
④バミューダグラス (ティフトン)	20 66.67%	48 67.61%	24 48.98%	24 42.11%	50 64.10%	11 37.93%	92 61.33%	85 51.83%	177 56.37%
⑤その他	3 10.00%	10 14.08%	2 4.08%	9 15.79%	5 6.41%	2 6.90%	15 10.00%	16 9.76%	31 9.87%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



## 特集 校庭芝生化の現状

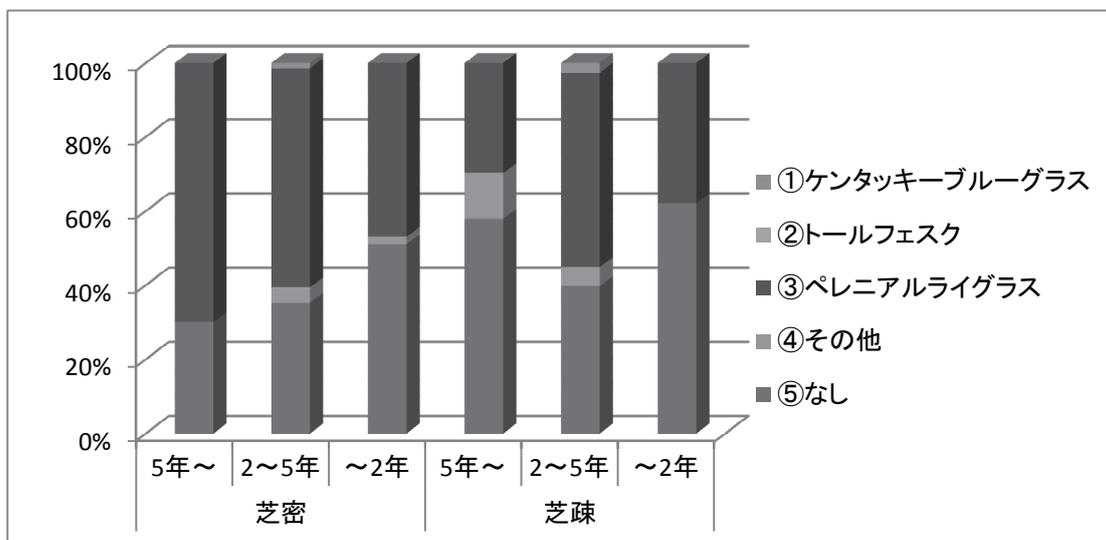
### J ウィンターオーバーシーディング (WOS)

WOSは、「やっている」「やっていない」がほぼ半分であるが、実施していれば、特に使用期間の長い5年以上で、コンディションが良くなる傾向がある。使用期間の短い「2年未満」では、半数以上でWOSを実施しておらず、夏芝を保護する必要性にない状況がうかがえる。

また、WOSに使用する芝の種類は、ペレニアルライグラスが圧倒的に多い。

< 図表 J >

ウィンターオーバーシーディング	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①ケンタッキーブルーグラス	0 0.00%	1 1.41%	0 0.00%	0 0.00%	2 2.56%	0 0.00%	1 0.67%	2 1.22%	3 0.96%
②トールフェスク	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%						
③ペレニアルライグラス	21 70.00%	42 59.15%	23 46.94%	17 29.82%	41 52.56%	11 37.93%	86 57.33%	69 42.07%	155 49.36%
④その他	0 0.00%	3 4.23%	1 2.04%	7 12.28%	4 5.13%	0 0.00%	4 2.67%	11 6.71%	15 4.78%
⑤なし	9 30.00%	25 35.21%	25 51.02%	33 57.89%	31 39.74%	18 62.07%	59 39.33%	82 50.00%	141 44.90%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



< 図表 J2 >

ウィンターオーバーシーディング	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
あり	21 70.00%	43 60.56%	23 46.94%	17 29.82%	43 55.13%	11 37.93%	87 58.00%	71 43.29%	158 50.32%
なし	9 30.00%	25 35.21%	25 51.02%	33 57.89%	31 39.74%	18 62.07%	59 39.33%	82 50.00%	141 44.90%
その他	0 0.00%	3 4.23%	1 2.04%	7 12.28%	4 5.13%	0 0.00%	4 2.67%	11 6.71%	15 4.78%
合計種	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## K 校庭芝生の基盤

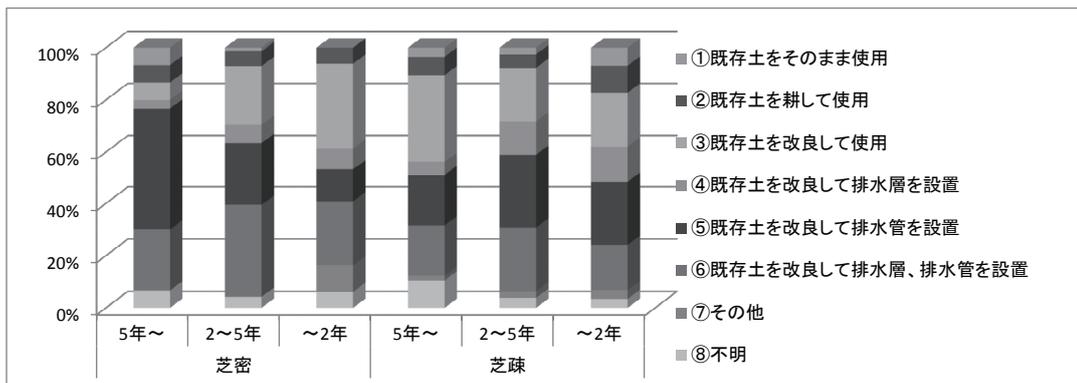
「⑥既存土改良、排水層、排水管設置」だけが、使用期間に関わらず芝生のコンディションの良さに影響を与える傾向がある。

一方、「③既存土改良」は、5年以上の使用で著しくコンディションが低下する傾向が見られる。

さらに、排水管の設置の有無で比較すると、排水管があった方が使用年数とともにコンディションが良くなり、逆に排水管がない場合は逆の傾向が見られる。

< 図表 K >

校庭芝生の基盤	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①既存土をそのまま使用	2 6.67%	1 1.41%	0 0.00%	2 3.51%	2 2.56%	2 6.90%	3 2.00%	6 3.66%	9 2.87%
②既存土を耕して使用	2 6.67%	4 5.63%	3 6.12%	4 7.02%	4 5.13%	3 10.34%	9 6.00%	11 6.71%	20 6.37%
③既存土を改良して使用	2 6.67%	16 22.54%	16 32.65%	19 33.33%	16 20.51%	6 20.69%	34 22.67%	41 25.00%	75 23.89%
④既存土を改良して排水層を設置	1 3.33%	5 7.04%	4 8.16%	3 5.26%	10 12.82%	4 13.79%	10 6.67%	17 10.37%	27 8.60%
⑤既存土を改良して排水管を設置	14 46.67%	17 23.94%	6 12.24%	11 19.30%	22 28.21%	7 24.14%	37 24.67%	40 24.39%	77 24.52%
⑥既存土を改良して排水層、排水管を設置	7 23.33%	25 35.21%	12 24.49%	11 19.30%	19 24.36%	5 17.24%	44 29.33%	35 21.34%	79 25.16%
⑦その他	0 0.00%	0 0.00%	5 10.20%	1 1.75%	2 2.56%	1 3.45%	5 3.33%	4 2.44%	9 2.87%
⑧不明	2 6.67%	3 4.23%	3 6.12%	6 10.53%	3 3.85%	1 3.45%	8 5.33%	10 6.10%	18 5.73%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



< 図表 K2 >

校庭芝生の基盤	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
排水管あり (⑤⑥)	21 75.00%	42 61.76%	18 43.90%	22 44.00%	41 56.16%	12 44.44%	81 59.12%	75 50.00%	156 54.36%
排水管なし (①②③④)	7 25.00%	26 38.24%	23 56.10%	28 56.00%	32 43.84%	15 55.56%	56 40.88%	75 50.00%	131 45.64%
合計	28 100.00%	68 100.00%	41 100.00%	50 100.00%	73 100.00%	27 100.00%	137 100.00%	150 100.00%	287 100.00%

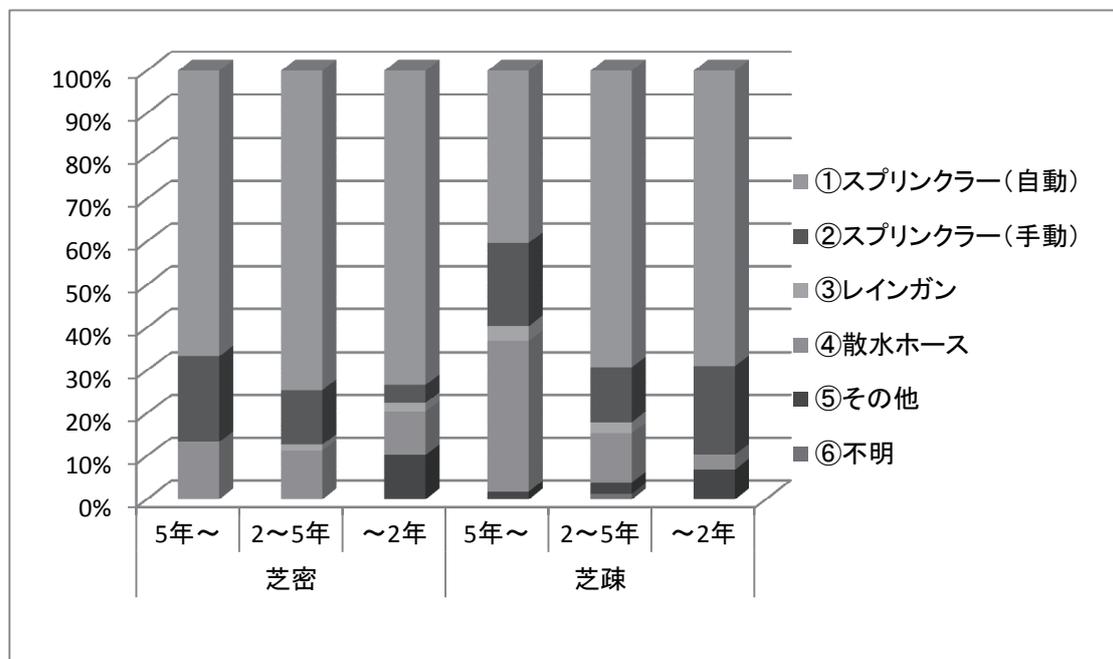
## 特集 校庭芝生化の現状

### L 散水設備

自動式のスプリンクラーでは、芝生のコンディションに良い影響を与える傾向があり、手動式のスプリンクラーやホースでの裁量による散水はやや「芝疎」になる状況が見られる。

<図表L>

	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①スプリンクラー (自動)	20 66.67%	53 74.65%	36 73.47%	23 40.35%	54 69.23%	20 68.97%	109 72.67%	97 59.15%	206 65.61%
②スプリンクラー (手動)	6 20.00%	9 12.68%	2 4.08%	11 19.30%	10 12.82%	6 20.69%	17 11.33%	27 16.46%	44 14.01%
③レインガン	0 0.00%	1 1.41%	1 2.04%	2 3.51%	2 2.56%	0 0.00%	2 1.33%	4 2.44%	6 1.91%
④散水ホース	4 13.33%	8 11.27%	5 10.20%	20 35.09%	9 11.54%	1 3.45%	17 11.33%	30 18.29%	47 14.97%
⑤その他	0 0.00%	0 0.00%	5 10.20%	1 1.75%	2 2.56%	2 6.90%	5 3.33%	5 3.05%	10 3.18%
⑥不明	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 1.28%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.61%	1 0.32%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



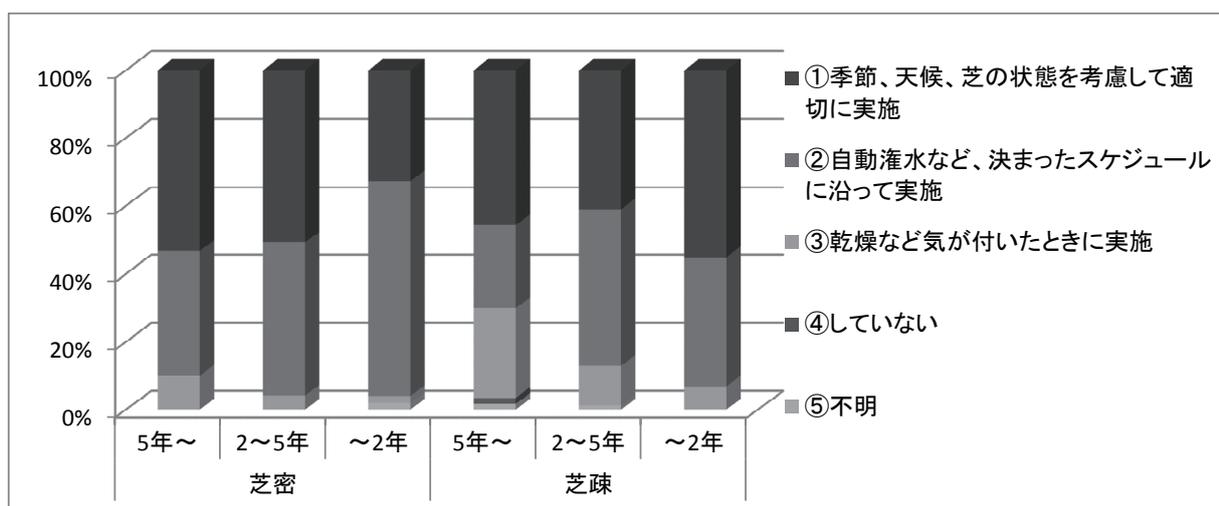
# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## M 散水方法

①②とも使用期間が長くなると全体的にコンディションが良くなる傾向があるが、整備後、間もないグループは、自動灌水のほうが良い傾向を示している。

<図表 M>

散水方法	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①季節、天候、芝の状態を考慮して適切に実施	16 53.33%	36 50.70%	16 32.65%	26 45.61%	32 41.03%	16 55.17%	68 45.33%	74 45.12%	142 45.22%
②自動灌水など、決まったスケジュールに沿って実施	11 36.67%	32 45.07%	31 63.27%	14 24.56%	36 46.15%	11 37.93%	74 49.33%	61 37.20%	135 42.99%
③乾燥など気が付いたときに実施	3 10.00%	3 4.23%	1 2.04%	15 26.32%	9 11.54%	2 6.90%	7 4.67%	26 15.85%	33 10.51%
④していない	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 1.75%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.61%	1 0.32%
⑤不明	0 0.00%	0 0.00%	1 2.04%	1 1.75%	1 1.28%	0 0.00%	1 0.67%	2 1.22%	3 0.96%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



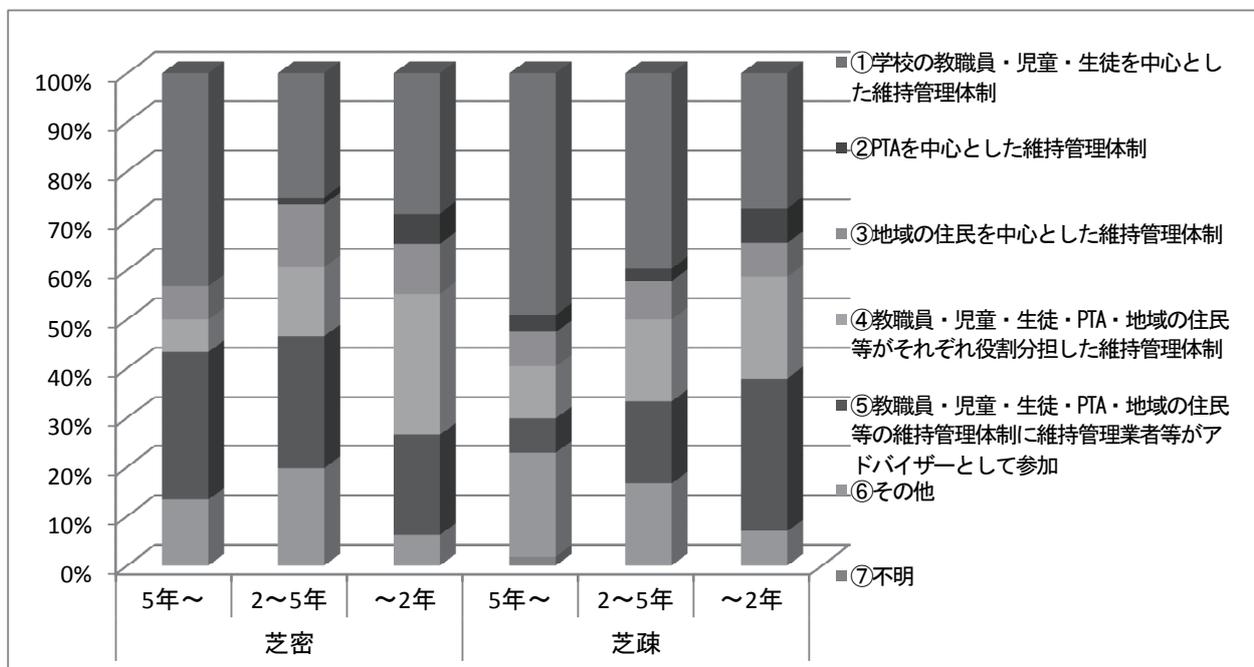
# 特集 校庭芝生の現状

## N 維持管理団体

「⑤維持管理業者等がアドバイザーに参加」の維持管理体制をとるグループが、芝生コンディションに好影響を与えている。特に使用期間が長いほどその傾向がある。一方で、「①学校中心」のグループは、逆の現象を示している。

< 図表 N >

維持管理団体	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①学校の教職員・児童・生徒を中心とした維持管理体制	13 43.33%	18 25.35%	14 28.57%	28 49.12%	31 39.74%	8 27.59%	45 30.00%	67 40.85%	112 35.67%
②PTAを中心とした維持管理体制	0 0.00%	1 1.41%	3 6.12%	2 3.51%	2 2.56%	2 6.90%	4 2.67%	6 3.66%	10 3.18%
③地域の住民を中心とした維持管理体制	2 6.67%	9 12.68%	5 10.20%	4 7.02%	6 7.69%	2 6.90%	16 10.67%	12 7.32%	28 8.92%
④教職員・児童・生徒・PTA・地域の住民等がそれぞれ役割分担した維持管理体制	2 6.67%	10 14.08%	14 28.57%	6 10.53%	13 16.67%	6 20.69%	26 17.33%	25 15.24%	51 16.24%
⑤教職員・児童・生徒・PTA・地域の住民等の維持管理体制に維持管理業者等がアドバイザーとして参加	9 30.00%	19 26.76%	10 20.41%	4 7.02%	13 16.67%	9 31.03%	38 25.33%	26 15.85%	64 20.38%
⑥その他	4 13.33%	14 19.72%	3 6.12%	12 21.05%	13 16.67%	2 6.90%	21 14.00%	27 16.46%	48 15.29%
⑦不明	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 1.75%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.61%	1 0.32%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## 0 専門家による点検

全体として年12回以上、専門家による点検が入った場合は、コンディションに好影響を与えている。「芝密」「芝疎」のコンディション評価が分かれる点検回数は、年6回で、この場合、使用期間が長くなるほど、良いコンディションにつながっている。

<図表 0>

専門家による点検	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
24回以上	1 3.33%	1 1.41%	1 2.04%	1 1.75%	0 0.00%	3 10.34%	3 2.00%	4 2.44%	7 2.23%
12回以上	10 33.33%	29 40.85%	10 20.41%	13 22.81%	24 30.77%	8 27.59%	49 32.67%	45 27.44%	94 29.94%
10回以上	1 3.33%	4 5.63%	2 4.08%	2 3.51%	3 3.85%	0 0.00%	7 4.67%	5 3.05%	12 3.82%
8回以上	0 0.00%	1 1.41%	0 0.00%	1 1.75%	0 0.00%	3 10.34%	1 0.67%	4 2.44%	5 1.59%
6回以上	2 6.67%	7 9.86%	4 8.16%	0 0.00%	0 0.00%	1 3.45%	13 8.67%	1 0.61%	14 4.46%
4回以上	2 6.67%	5 7.04%	3 6.12%	4 7.02%	8 10.26%	1 3.45%	10 6.67%	13 7.93%	23 7.32%
2回以上	2 6.67%	4 5.63%	3 6.12%	5 8.77%	9 11.54%	3 10.34%	9 6.00%	17 10.37%	26 8.28%
1回以上	4 13.33%	13 18.31%	11 22.45%	13 22.81%	18 23.08%	4 13.79%	28 18.67%	35 21.34%	63 20.06%
なし	7 23.33%	4 5.63%	10 20.41%	15 26.32%	12 15.38%	3 10.34%	21 14.00%	30 18.29%	51 16.24%
その他	1 3.33%	2 2.82%	1 2.04%	0 0.00%	1 1.28%	1 3.45%	4 2.67%	2 1.22%	6 1.91%
不明	0 0.00%	1 1.41%	4 8.16%	3 5.26%	3 3.85%	2 6.90%	5 3.33%	8 4.88%	13 4.14%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

<図表 02>

専門家による点検	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
6回～	14 46.67%	42 59.15%	17 34.69%	17 29.82%	27 34.62%	15 51.72%	73 48.67%	59 35.98%	132 42.04%
1～5回	8 26.67%	22 30.99%	17 34.69%	22 38.60%	35 44.87%	8 27.59%	47 31.33%	65 39.63%	112 35.67%
なし	7 23.33%	4 5.63%	10 20.41%	15 26.32%	12 15.38%	3 10.34%	21 14.00%	30 18.29%	51 16.24%
その他・不明	1 3.33%	3 4.23%	5 10.20%	3 5.26%	4 5.13%	3 10.34%	9 6.00%	10 6.10%	19 6.05%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

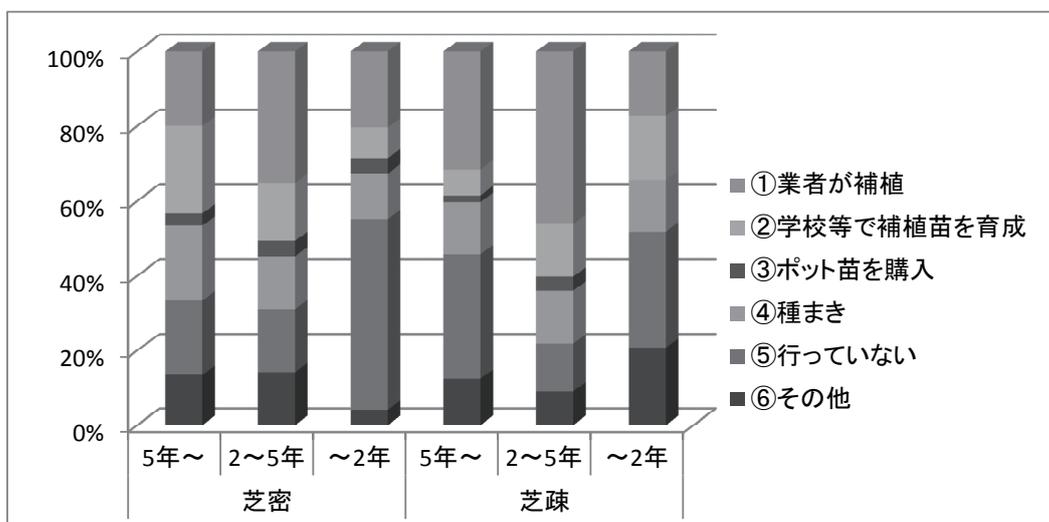
# 特集 校庭芝生化の現状

## P 芝生の補植

芝生のコンディションと「芝生の補植」について、明確な関係性は見られないが、コンディションづくりのために、芝生の補植が使用2年経過後から多くなる。

<図表 P>

芝生の補植	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
①業者が補植	6 20.00%	25 35.21%	10 20.41%	18 31.58%	36 46.15%	5 17.24%	41 27.33%	59 35.98%	100 31.85%
②学校等で補植苗を育成	7 23.33%	11 15.49%	4 8.16%	4 7.02%	11 14.10%	5 17.24%	22 14.67%	20 12.20%	42 13.38%
③ポット苗を購入	1 3.33%	3 4.23%	2 4.08%	1 1.75%	3 3.85%	0 0.00%	6 4.00%	4 2.44%	10 3.18%
④種まき	6 20.00%	10 14.08%	6 12.24%	8 14.04%	11 14.10%	4 13.79%	22 14.67%	23 14.02%	45 14.33%
⑤行っていない	6 20.00%	12 16.90%	25 51.02%	19 33.33%	10 12.82%	9 31.03%	43 28.67%	38 23.17%	81 25.80%
⑥その他	4 13.33%	10 14.08%	2 4.08%	7 12.28%	7 8.97%	6 20.69%	16 10.67%	20 12.20%	36 11.46%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



<図表 P2>

芝生の補植 (補植の有無)	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
あり (①②③④)	20 66.67%	49 69.01%	22 44.90%	31 54.39%	61 78.21%	14 48.28%	91 60.67%	106 64.63%	197 62.74%
なし (⑤)	6 20.00%	12 16.90%	25 51.02%	19 33.33%	10 12.82%	9 31.03%	43 28.67%	38 23.17%	81 25.80%
その他 (⑥)	4 13.33%	10 14.08%	2 4.08%	7 12.28%	7 8.97%	6 20.69%	16 10.67%	20 12.20%	36 11.46%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

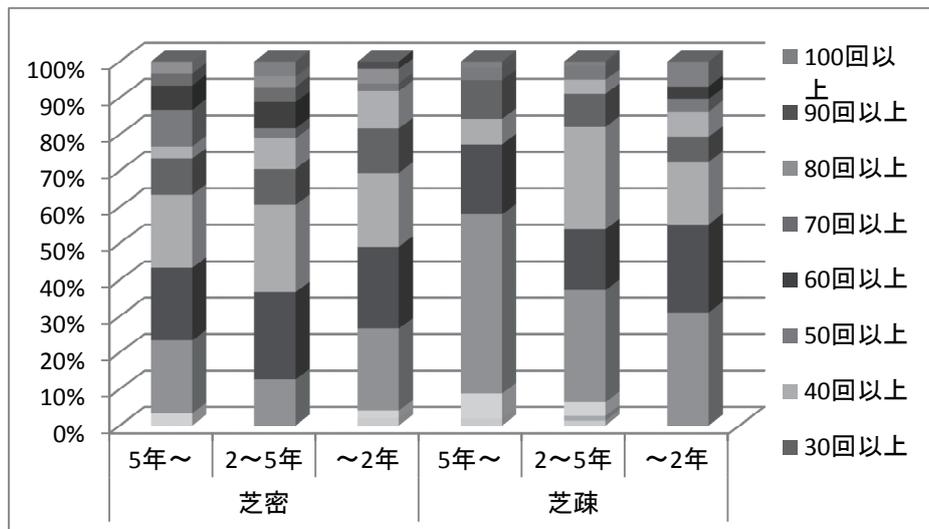
# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## Q 芝刈り

芝刈りが年10回を超える場合、芝生のコンディションに良い影響を与える傾向があり、それ以下の場合は、逆の傾向が見られる。

<図表 Q>

	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
100回～	0	3	0	1	1	2	3	4	7
	0.00%	4.23%	0.00%	1.75%	1.28%	6.90%	2.00%	2.44%	2.23%
90～99回	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	0.00%	0.00%	2.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.67%	0.00%	0.32%
80～89回	1	2	2	0	0	0	5	0	5
	3.33%	2.82%	4.08%	0.00%	0.00%	0.00%	3.33%	0.00%	1.59%
70～79回	1	3	0	0	0	0	4	0	4
	3.33%	4.23%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.67%	0.00%	1.27%
60～69回	2	5	0	0	0	1	7	1	8
	6.67%	7.04%	0.00%	0.00%	0.00%	3.45%	4.67%	0.61%	2.55%
50～59回	3	2	1	2	3	1	6	6	12
	10.00%	2.82%	2.04%	3.51%	3.85%	3.45%	4.00%	3.66%	3.82%
40～49回	1	6	5	0	3	2	12	5	17
	3.33%	8.45%	10.20%	0.00%	3.85%	6.90%	8.00%	3.05%	5.41%
30～39回	3	7	6	6	7	2	16	15	31
	10.00%	9.86%	12.24%	10.53%	8.97%	6.90%	10.67%	9.15%	9.87%
20～29回	6	17	10	4	22	5	33	31	64
	20.00%	23.94%	20.41%	7.02%	28.21%	17.24%	22.00%	18.90%	20.38%
10～19回	6	17	11	11	13	7	34	31	65
	20.00%	23.94%	22.45%	19.30%	16.67%	24.14%	22.67%	18.90%	20.70%
1～9回	6	9	11	28	24	9	26	61	87
	20.00%	12.68%	22.45%	49.12%	30.77%	31.03%	17.33%	37.20%	27.71%
なし	1	0	1	4	3	0	2	7	9
	3.33%	0.00%	2.04%	7.02%	3.85%	0.00%	1.33%	4.27%	2.87%
その他	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.28%	0.00%	0.00%	0.61%	0.32%
不明	0	0	1	1	1	0	1	2	3
	0.00%	0.00%	2.04%	1.75%	1.28%	0.00%	0.67%	1.22%	0.96%
合計	30	71	49	57	78	29	150	164	314
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%



<図表 Q2>

	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
10回以上	23	62	36	24	49	20	121	93	214
	76.67%	87.32%	73.47%	42.11%	62.82%	68.97%	80.67%	56.71%	68.15%
10回未満	6	9	11	28	24	9	26	61	87
	20.00%	12.68%	22.45%	49.12%	30.77%	31.03%	17.33%	37.20%	27.71%
なし	1	0	1	4	3	0	2	7	9
	3.33%	0.00%	2.04%	7.02%	3.85%	0.00%	1.33%	4.27%	2.87%
その他・不明	0	0	1	1	2	0	1	3	4
	0.00%	0.00%	2.04%	1.75%	2.56%	0.00%	0.67%	1.83%	1.27%
合計	30	71	49	57	78	29	150	164	314
	6.67%	7.04%	0.00%	0.00%	0.00%	3.45%	4.67%	0.61%	2.55%

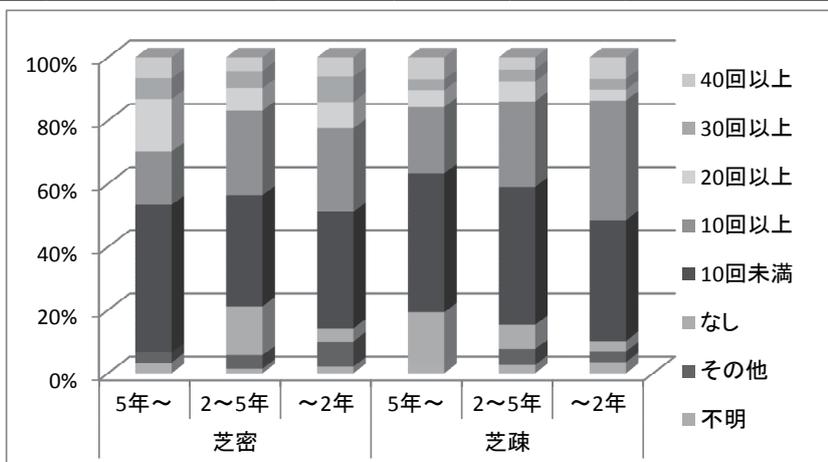
# 特集 校庭芝生化の現状

## R 除草

芝生のコンディションと「除草」について、総じて関係性を見出すことは出来ない。

< 図表 R >

除草	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
40回～	6.67% <sup>2</sup>	4.23% <sup>3</sup>	6.12% <sup>3</sup>	7.02% <sup>4</sup>	3.85% <sup>3</sup>	6.90% <sup>2</sup>	5.33% <sup>8</sup>	5.49% <sup>9</sup>	5.41% <sup>17</sup>
30～39回	6.67% <sup>2</sup>	5.63% <sup>4</sup>	8.16% <sup>4</sup>	3.51% <sup>2</sup>	3.85% <sup>3</sup>	3.45% <sup>1</sup>	6.67% <sup>10</sup>	3.66% <sup>6</sup>	5.10% <sup>16</sup>
20～29回	16.67% <sup>5</sup>	7.04% <sup>5</sup>	8.16% <sup>4</sup>	5.26% <sup>3</sup>	6.41% <sup>5</sup>	3.45% <sup>1</sup>	9.33% <sup>14</sup>	5.49% <sup>9</sup>	7.32% <sup>23</sup>
10～19回	16.67% <sup>5</sup>	26.76% <sup>19</sup>	26.53% <sup>13</sup>	21.05% <sup>12</sup>	26.92% <sup>21</sup>	37.93% <sup>11</sup>	24.67% <sup>37</sup>	26.83% <sup>44</sup>	25.80% <sup>81</sup>
1～9回	46.67% <sup>14</sup>	35.21% <sup>25</sup>	36.73% <sup>18</sup>	43.86% <sup>25</sup>	43.59% <sup>34</sup>	37.93% <sup>11</sup>	38.00% <sup>57</sup>	42.68% <sup>70</sup>	40.45% <sup>127</sup>
なし	0.00% <sup>0</sup>	15.49% <sup>11</sup>	4.08% <sup>2</sup>	15.79% <sup>9</sup>	7.69% <sup>6</sup>	3.45% <sup>1</sup>	8.67% <sup>13</sup>	9.76% <sup>16</sup>	9.24% <sup>29</sup>
その他	3.33% <sup>1</sup>	4.23% <sup>3</sup>	8.16% <sup>4</sup>	0.00% <sup>0</sup>	5.13% <sup>4</sup>	3.45% <sup>1</sup>	5.33% <sup>8</sup>	3.05% <sup>5</sup>	4.14% <sup>13</sup>
不明	3.33% <sup>1</sup>	1.41% <sup>1</sup>	2.04% <sup>1</sup>	3.51% <sup>2</sup>	2.56% <sup>2</sup>	3.45% <sup>1</sup>	2.00% <sup>3</sup>	3.05% <sup>5</sup>	2.55% <sup>8</sup>
合計	100.00% <sup>30</sup>	100.00% <sup>71</sup>	100.00% <sup>49</sup>	100.00% <sup>57</sup>	100.00% <sup>78</sup>	100.00% <sup>29</sup>	100.00% <sup>150</sup>	100.00% <sup>164</sup>	100.00% <sup>314</sup>



< 図表 R2 >

除草	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
あり	93.33% <sup>28</sup>	78.87% <sup>56</sup>	85.71% <sup>42</sup>	80.70% <sup>46</sup>	84.62% <sup>66</sup>	89.66% <sup>26</sup>	84.00% <sup>126</sup>	84.15% <sup>138</sup>	84.08% <sup>264</sup>
なし	0.00% <sup>0</sup>	15.49% <sup>11</sup>	4.08% <sup>2</sup>	15.79% <sup>9</sup>	7.69% <sup>6</sup>	3.45% <sup>1</sup>	8.67% <sup>13</sup>	9.76% <sup>16</sup>	9.24% <sup>29</sup>
その他・不明	6.67% <sup>2</sup>	5.63% <sup>4</sup>	10.20% <sup>5</sup>	3.51% <sup>2</sup>	7.69% <sup>6</sup>	6.90% <sup>2</sup>	7.33% <sup>11</sup>	6.10% <sup>10</sup>	6.69% <sup>21</sup>
合計	100.00% <sup>30</sup>	100.00% <sup>71</sup>	100.00% <sup>49</sup>	100.00% <sup>57</sup>	100.00% <sup>78</sup>	100.00% <sup>29</sup>	100.00% <sup>150</sup>	100.00% <sup>164</sup>	100.00% <sup>314</sup>

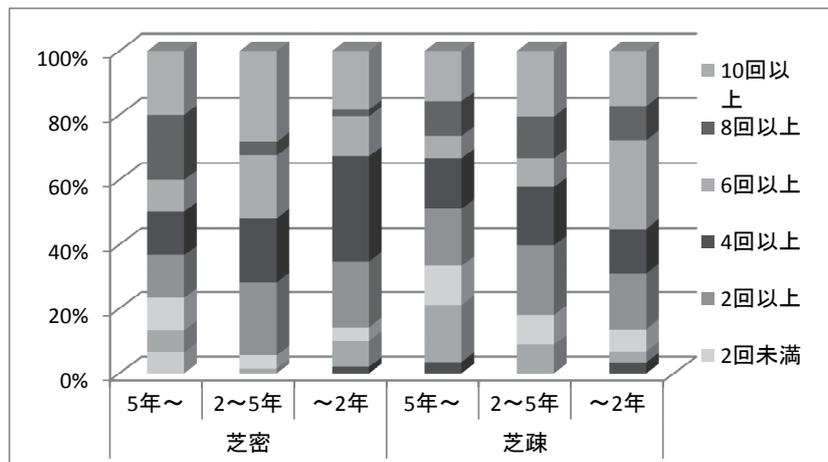
# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## S 施肥

施肥を行うことによる芝生コンディションへの影響は、明確なことは言えない。

<図表 S>

施肥	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
10回以上	6 20.00%	20 28.17%	9 18.37%	9 15.79%	16 20.51%	5 17.24%	35 23.33%	30 18.29%	65 20.70%
8回以上	6 20.00%	3 4.23%	1 2.04%	6 10.53%	10 12.82%	3 10.34%	10 6.67%	19 11.59%	29 9.24%
6回以上	3 10.00%	14 19.72%	6 12.24%	4 7.02%	7 8.97%	8 27.59%	23 15.33%	19 11.59%	42 13.38%
4回以上	4 13.33%	14 19.72%	16 32.65%	9 15.79%	14 17.95%	4 13.79%	34 22.67%	27 16.46%	61 19.43%
2回以上	4 13.33%	16 22.54%	10 20.41%	10 17.54%	17 21.79%	5 17.24%	30 20.00%	32 19.51%	62 19.75%
2回未満	3 10.00%	3 4.23%	2 4.08%	7 12.28%	7 8.97%	2 6.90%	8 5.33%	16 9.76%	24 7.64%
なし	2 6.67%	1 1.41%	4 8.16%	10 17.54%	7 8.97%	1 3.45%	7 4.67%	18 10.98%	25 7.96%
その他	2 6.67%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	2 1.33%	0 0.00%	2 0.64%
不明	0 0.00%	0 0.00%	1 2.04%	2 3.51%	0 0.00%	1 3.45%	1 0.67%	3 1.83%	4 1.27%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



<図表 S2>

施肥	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
あり	26 86.67%	70 98.59%	44 89.80%	45 78.95%	71 91.03%	27 93.10%	140 93.33%	143 87.20%	283 90.13%
なし	2 6.67%	1 1.41%	4 8.16%	10 17.54%	7 8.97%	1 3.45%	7 4.67%	18 10.98%	25 7.96%
その他・不明	2 6.67%	0 0.00%	1 2.04%	2 3.51%	0 0.00%	1 3.45%	3 2.00%	3 1.83%	6 1.91%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%

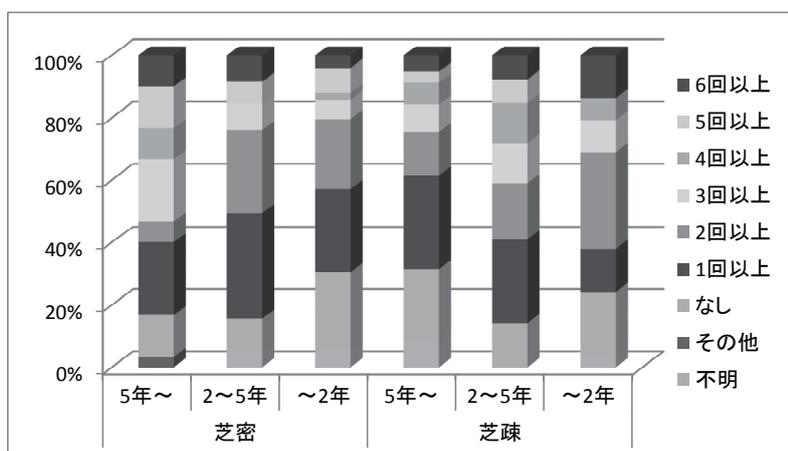
# 特集 校庭芝生化の現状

## T 目砂・目土

目砂・目土の施用が芝生のコンディションに影響を与えるかは、使用期間が長くなるにつれ、若干好影響が見られるものの明確ではない。

< 図表 T >

目砂・目土	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
6回～	10.00% <sup>3</sup>	8.45% <sup>6</sup>	4.08% <sup>2</sup>	5.26% <sup>3</sup>	7.69% <sup>6</sup>	13.79% <sup>4</sup>	7.33% <sup>11</sup>	7.93% <sup>13</sup>	7.64% <sup>24</sup>
5回	13.33% <sup>4</sup>	7.04% <sup>5</sup>	8.16% <sup>4</sup>	3.51% <sup>2</sup>	7.69% <sup>6</sup>	0.00% <sup>0</sup>	8.67% <sup>9</sup>	4.88% <sup>8</sup>	6.69% <sup>17</sup>
4回	10.00% <sup>3</sup>	0.00% <sup>0</sup>	2.04% <sup>1</sup>	7.02% <sup>4</sup>	12.82% <sup>10</sup>	6.90% <sup>2</sup>	2.67% <sup>4</sup>	9.76% <sup>16</sup>	6.37% <sup>20</sup>
3回	20.00% <sup>6</sup>	8.45% <sup>6</sup>	6.12% <sup>3</sup>	8.77% <sup>5</sup>	12.82% <sup>10</sup>	10.34% <sup>3</sup>	10.00% <sup>15</sup>	10.98% <sup>18</sup>	10.51% <sup>33</sup>
2回	6.67% <sup>2</sup>	26.76% <sup>19</sup>	22.45% <sup>11</sup>	14.04% <sup>8</sup>	17.95% <sup>14</sup>	31.03% <sup>9</sup>	21.33% <sup>32</sup>	18.90% <sup>31</sup>	20.06% <sup>63</sup>
1回	23.33% <sup>7</sup>	33.80% <sup>24</sup>	26.53% <sup>13</sup>	29.82% <sup>17</sup>	26.92% <sup>21</sup>	13.79% <sup>4</sup>	29.33% <sup>47</sup>	25.61% <sup>42</sup>	27.39% <sup>89</sup>
なし	13.33% <sup>4</sup>	9.86% <sup>7</sup>	24.49% <sup>12</sup>	22.81% <sup>13</sup>	14.10% <sup>11</sup>	20.69% <sup>6</sup>	15.33% <sup>25</sup>	18.29% <sup>30</sup>	16.88% <sup>55</sup>
その他	3.33% <sup>1</sup>	0.00% <sup>0</sup>	0.67% <sup>1</sup>	0.00% <sup>0</sup>	0.32% <sup>1</sup>				
不明	0.00% <sup>0</sup>	5.63% <sup>4</sup>	6.12% <sup>3</sup>	8.77% <sup>5</sup>	0.00% <sup>0</sup>	3.45% <sup>1</sup>	4.67% <sup>6</sup>	3.66% <sup>6</sup>	4.14% <sup>12</sup>
合計	100.00% <sup>30</sup>	100.00% <sup>71</sup>	100.00% <sup>49</sup>	100.00% <sup>57</sup>	100.00% <sup>78</sup>	100.00% <sup>29</sup>	100.00% <sup>150</sup>	100.00% <sup>164</sup>	100.00% <sup>314</sup>



< 図表 T2 >

目砂・目土	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
あり	83.33% <sup>25</sup>	84.51% <sup>60</sup>	69.39% <sup>34</sup>	68.42% <sup>39</sup>	85.90% <sup>67</sup>	75.86% <sup>22</sup>	79.33% <sup>119</sup>	78.05% <sup>128</sup>	78.66% <sup>247</sup>
なし	13.33% <sup>4</sup>	9.86% <sup>7</sup>	24.49% <sup>12</sup>	22.81% <sup>13</sup>	14.10% <sup>11</sup>	20.69% <sup>6</sup>	15.33% <sup>23</sup>	18.29% <sup>30</sup>	16.88% <sup>53</sup>
その他・不明	3.33% <sup>1</sup>	5.63% <sup>4</sup>	6.12% <sup>3</sup>	8.77% <sup>5</sup>	0.00% <sup>0</sup>	3.45% <sup>1</sup>	5.33% <sup>8</sup>	3.66% <sup>6</sup>	4.46% <sup>14</sup>
合計	100.00% <sup>30</sup>	100.00% <sup>71</sup>	100.00% <sup>49</sup>	100.00% <sup>57</sup>	100.00% <sup>78</sup>	100.00% <sup>29</sup>	100.00% <sup>150</sup>	100.00% <sup>164</sup>	100.00% <sup>314</sup>

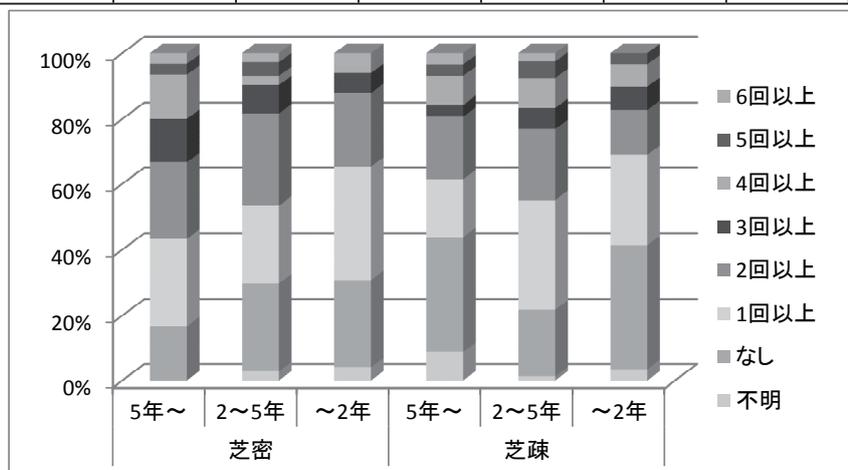
# アンケート調査 コンディションに影響する要因の分析

## U 通気性改善

通気性改善は、少なくとも実施した場合には、特に長期使用の芝生のコンディションに良い影響を与えているが、実施しない場合は逆の傾向が見られる。

<図表U>

通気性改善	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
6回～	1 3.33%	2 2.82%	2 4.08%	2 3.51%	2 2.56%	0 0.00%	5 3.33%	4 2.44%	9 2.87%
5回	1 3.33%	3 4.23%	0 0.00%	2 3.51%	4 5.13%	1 3.45%	4 2.67%	7 4.27%	11 3.50%
4回	4 13.33%	2 2.82%	1 2.04%	5 8.77%	7 8.97%	2 6.90%	7 4.67%	14 8.54%	21 6.69%
3回	4 13.33%	6 8.45%	3 6.12%	2 3.51%	5 6.41%	2 6.90%	13 8.67%	9 5.49%	22 7.01%
2回	7 23.33%	20 28.17%	11 22.45%	11 19.30%	17 21.79%	4 13.79%	38 25.33%	32 19.51%	70 22.29%
1回	8 26.67%	17 23.94%	17 34.69%	10 17.54%	26 33.33%	8 27.59%	42 28.00%	44 26.83%	86 27.39%
なし	5 16.67%	19 26.76%	13 26.53%	20 35.09%	16 20.51%	11 37.93%	37 24.67%	47 28.66%	84 26.75%
不明	0 0.00%	2 2.82%	2 4.08%	5 8.77%	1 1.28%	1 3.45%	4 2.67%	7 4.27%	11 3.50%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



<図表U2>

通気性改善	芝密 (校)			芝疎 (校)			芝密合計 (校)	芝疎合計 (校)	合計 (校)
	5年～	2～5年	～2年	5年～	2～5年	～2年			
2回～	17 56.67%	33 46.48%	17 34.69%	22 38.60%	35 44.87%	9 31.03%	67 44.67%	66 40.24%	133 42.36%
1回	8 26.67%	17 23.94%	17 34.69%	10 17.54%	26 33.33%	8 27.59%	42 28.00%	44 26.83%	86 27.39%
なし	5 16.67%	19 26.76%	13 26.53%	20 35.09%	16 20.51%	11 37.93%	37 24.67%	47 28.66%	84 26.75%
不明	0 0.00%	2 2.82%	2 4.08%	5 8.77%	1 1.28%	1 3.45%	4 2.67%	7 4.27%	11 3.50%
合計	30 100.00%	71 100.00%	49 100.00%	57 100.00%	78 100.00%	29 100.00%	150 100.00%	164 100.00%	314 100.00%



# Ⅱ 特集 校庭芝生化の現状

アンケート調査のまとめ

### アンケート調査のまとめ

アンケート調査の結果から現状、傾向をまとめ、想定した仮説（「校庭芝生化の特集にあたって」参照）を踏まえて分析した。ただし、校庭芝生化では、校庭の利用により芝生が傷んだ場合でも、補植等の対応をしながら使用を継続し、芝生の維持と校庭利用が両立することを前提としており、ここでとりあげた芝生の密度のみで、評価することはできないことに留意する必要がある。

#### 1 芝生化校に関する基本事項

芝生化校の基本像は以下のとおりである。

芝生化校の生徒・児童数は200人から700人までが全体の約8割を占め、芝生化の検討対象となる運動場面積は2,000㎡から10,000㎡までの学校が約87%になる。

実際の芝生化面積は、2,000㎡未満が約8割を占め、200㎡から300㎡未満が最も多い。この結果、生徒・児童1人当たりの芝生化面積は2㎡未満が過半数を超えた。

芝生化してからの経過年数（供用年数）の分布は、都の重点施策が開始された2005年（平成17年）に符合して増え、以降、更に増加している。

#### 2 芝生化を導入した時の条件

導入を検討する時に、芝生の生育を保証する環境（日照や養生、学校の使い方）をどう設定するか、がまず大事であるとした場合、実際はどうであったか。

日照は、8割以上で考慮した、と答えていることから、芝生化に日当たりは不可欠であることを常識的に理解しているものと思われる。

施工後の養生に関しても、同様に8割以上が考慮している結果となった。そしてその具体的な期間については、1ヶ月以上とったとする回答が約7割である。これは養生期間が植え付け法に影響していると仮定し、分析すると、やはり約8割を占めるビッグロールやソッドによる張芝の養生期間が左右している。一方、ポット苗芝による施工養生は、十分とられていない結果が出ている。

また、最も調整が難しいとされる行事の芝生使用との関係は、活動内容によって結果が分かれた。部活動や校庭開放などの特定スポーツとの関係では、調整したという回答が過半数を超えたものの、メインである学校行事との関係では、考慮していない回答のほうが多い。何を優先するかの傾向が現れている。

#### 3 芝生化の仕様

実際の設計施工のあり方や仕様が、芝生化のその後に大きな影響を与えることを想定したが、実際はどうであったか。

まず、芝生化した場所であるが、運動場を全面的に芝生化したのは全体の4分の1であり、最も多かつ

た場所は周縁部であった。その他、部分的な設置を加えると、約7割が校庭の一部の芝生化であった。全体に取り組む学校、そうでなく現実に合わせる学校と、実態は二極化している。

芝の種類は、洋芝が54%、和芝が37%であった。これは地域気候差もあるので多様性が出て不思議ではない。

芝の植え付け法は、ビッグロールやソッドによる張芝が75%を占め、芝苗や播種はわずかであった。時間のかかる工法は敬遠されている。

冬に向かって青々とした芝生を望むウィンターオーバーシーディングは、当然に洋芝を用いるが、実施しているのは約半数であった。

芝生の基盤の造り方は、既存土の活用が約3割、排水層や配水管まで設置して水はけを確保する改良法は、約5割である。経費がかかっても最初から基盤をしっかり造っておこうとする学校が多く見られた。

芝生管理での散水は不可欠であるが、その設備については自動のスプリンクラーが6割以上を占めた。人自らが散水する手動式のスプリンクラーと散水ホースの使用は、3割弱であった。

#### 4 具体的な維持管理方法

芝生管理は、現場ではどのようなことが標準になっているのか。

散水は、気候や芝の状態を考慮して行う判断型と定期的に散水する自動型が、全体の9割近くを占め、両者の割合はほぼ1：1である。

芝刈りは、1年間に行う回数がバラツキを見せた。数字的に区切りの良い10、20、30、12（月1回）、24（月2回）といった回数に偏った分布が見られる。何回が適正で多く採用されているか、というより考え方の違いによって、ほぼ毎日やる、全くやらないも含め、様々に分布しているのが現実と言えよう。

除草の質問は、1回の意味を規定していないこともあり、統計的に正確とは言えないが、仮に1回で全体をすべて終わらすことであれば、月1回程度の回数に主たる分布が見られる。

施肥については、やらないから24回まで様々に分布し、特定の傾向は見られない。施肥に対する知識など、専門知識の普及が進んでいない背景もあろう。

目砂・目土の回数は、まったくやらない学校から年間5回までに相応に分布している。一定の傾向は見られない。

エアレーション、コア抜きなどの通気性改善のための管理は、3分の2の学校は実施している。専門性が高いだけに業者の関与が窺える。

#### 5 維持管理体制の実際

施工後の維持管理体制は、どのようなタイプが多いか。

(ア) 教職員、児童・生徒を中心とした体制が代表的で、全体の約35%に達した。

(イ) 教職員、児童・生徒・PTA・地域の住民等がそれぞれ役割分担した維持管理体制が全体の約15%である。

さらに、(ウ) 以上の体制に業者もアドバイザーに入る組織的仕組みが全体の約20%に達する。大き

くは、以上の3つの体制に分かれると考えられるが、それぞれの体制が芝生化の成否にどれだけ関係しているかは、次項に記載する。

(ア) や (イ) の体制でも、アンケートの記述を分析すると、専門的な作業については業者に外注している状況が見られる。

### 6 芝生化後のコンディションに影響する要因

芝生化した後、管理者が評価した芝のコンディションを「芝密」と「芝疎」に大別した場合、それぞれどのような要因が影響しているのであろうか。今後、芝生化を進めるにあたって、300校以上が示唆する最も重要な部分である。

管理者の評価は、芝生化してからの時間の長さ（使用期間）も影響する可能性があると考え、芝生化後1年未満、2年～5年未満、5年以上の区分も考慮して分析した。

まず、評価にあまり関係性を示さない要素を挙げると、施工場所、日照時間、養生期間の考慮、特定スポーツとの利用調整、芝生の補植、散水、除草、施肥、目土、薬剤散布があげられる。

次に、顕著な関係性ではないが、評価にある程度の影響を与えているのではないかと推察される要因を考察すると以下のとおりである。

#### ① ソフト面では、

- イ 一人あたり芝生化面積の大小がコンディションに与える影響は、確実には言えないが、統計では一人あたり2㎡/人前後に評価の境が見られる。
- ロ 学校行事を芝生の生育に合わせて考慮した場合は、考慮しなかったに比べ、芝生化後の使用期間の長さに関係なく、コンディションに好影響をあたえている。
- ハ 維持管理体制では、学校中心でなく外部の協力者やアドバイザーが参加した場合、芝生コンディションづくりに良い結果を生んでいる。一方、学校中心で管理している場合は、逆の傾向が見られる。
- ニ 専門家の関与が、使用期間に関わりなく、芝生のコンディションに好影響をあたえる傾向にある。

#### ② ハード面では、

- イ 芝生の種類では、バミューダグラス（ティフトン）の使用が、コンディションづくりに良い結果を出している一方、高麗芝や野芝等の和芝は、時間の経過と共にやや悪くなる傾向がある。
- ロ ウィンターオーバーシーディング（WOS）を実施した場合は、特に使用期間の長いグループでコンディションが良くなる傾向がある。
- ハ 芝の張り方では、張り芝施工を選択した場合、使用期間が長くなるとコンディションに好影響が現れる。
- ニ 芝生の基盤では、既存地盤を改良し、排水層、配水管を設置した場合、使用期間にかかわらず芝生コンディションに良い影響を与える傾向がある。一方、既存土の改良だけでの芝生化は、使用期間が長くなると芝生コンディションが低下する傾向がある。
- ホ 芝刈りは、年10回を超える場合は、全体として芝のコンディションに良い影響を与える傾向がある。

へ 通気性改善は、少なくとも実施した場合は、特に長期使用の芝生に良い影響を与える傾向がある。

### <まとめ>

アンケート全体では、各質問の回答分布を見ると一部を除いてレンジ（範囲）が広く、散らばる傾向がある。それだけ是非もあるということで、また事象に顕著な傾向やルールが見えにくいことがわかった。芝生化にかかるルールは、まだ形成途上にあると推察される。

一方で、項目によっては、大きな差はないものの、分布に一定の傾向が考察される部分もあるので、これをあえて整理すれば以下のとおりとなる。

- ① 校庭芝生化は、造園という立場に立つと芝生をいかに健全に保ちながら、生徒・児童の利用に供するかを重視する。この考え方を前提とすると、管理者が生き物である芝生への日照や施工後の養生期間についてどう考えているかが、大事となる。このアンケート結果では、他の回答とは違い、例外的に顕著な結果を示し、十分理解されていることがわかった。
- ② 芝の生育と人の使用の関係では、芝生のコンディションを考えた行事調整があれば、芝生のコンディションは良くなる傾向がある。
- ③ コンディションを維持するための維持管理体制は、どちらかという地域や専門家の参加した協力集団である場合に功を奏している。
- ④ 芝生をどうつくるか、については、アンケート結果の最大公約数で示せば、基盤を排水層、排水管まで設えた高仕様のもと、洋芝の張り芝を行い、WOSを実施する設定が良い評価をもたらしている。
- ⑤ 維持管理は、定期的な自動散水、年10回以上の刈り込み、エアレーションなどの通気性改善を毎年実施すれば、芝生のコンディションは良くなる傾向がある。
- ⑥ 校庭芝生の維持管理全般にわたって、何らかの専門家の関与が見られる傾向がある。



# 會員名簿

会員 住所 電話番号簿 (地区、郵便番号順)

会員名称	〒	住所	TEL	FAX
<b>■千代田区</b>				
(株)富士植木	102-0074	千代田区九段南 4-1-9	03-3265-6731	03-3265-3031
日産緑化(株)	101-0047	千代田区内神田 3-16-9	03-3256-4031	03-3254-5773
<b>■中央区</b>				
イビデングリーンテック(株)	103-0002	中央区日本橋馬喰町 1-145 日本橋Kビル3階	03-5847-8370	03-5847-8380
(株)泰正	104-0031	中央区京橋 2-4-12 第一生命ビル	03-3274-4815	03-3274-2815
(株)ケイミックス	104-0031	中央区京橋 2-5-7 日土地京橋ビル	03-3566-3707	03-3566-3722
<b>■港区</b>				
(株)日比谷アメニス	108-0073	港区三田 4-7-27	03-3453-2409	03-3453-1359
<b>■新宿区</b>				
武蔵野造園土木(株)	160-0023	新宿区西新宿 3-7-26-309	03-3342-5614	03-3342-5619
<b>■文京区</b>				
音羽建物(株)	112-0014	文京区関口 2-11-31	03-3947-1151	03-3947-1260
浅川造園土木(株)	113-0033	文京区本郷 1-31-11	03-3811-8032	03-3811-8560
<b>■台東区</b>				
(株)理研グリーン	110-8520	台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO8 階	03-6802-8903	03-6802-8953
東友緑化(株)	111-0041	台東区元浅草 3-20-4	03-3844-3227	03-3844-3224
<b>■墨田区</b>				
(株)柳島寿々喜園	130-0002	墨田区業平 5-12-16	03-3625-7428	03-3625-2921
(株)増田造園	131-0041	墨田区八広 6-19-6	03-3610-1531	03-3616-6581
京成バラ園芸(株)	131-0045	墨田区押上 1-12-1	03-3625-7851	03-3625-7852
<b>■江東区</b>				
(株)ランデック	135-0041	江東区冬木 6-25	03-3642-0481	03-3642-9590
(株)ノザワ	135-0042	江東区木場 5-12-7	03-3641-5151	03-3630-3903
<b>■品川区</b>				
西村造園土木(株)	140-0015	品川区西大井 4-4-2	03-3777-1788	03-3777-1798
東急グリーンシステム(株)	142-0041	品川区戸越 5-9-7	03-3787-4109	03-3787-1069
<b>■目黒区</b>				
	158-0081	目黒区鷹番 2-14-15	03-3793-8880	03-3793-8827
(株)オーシャン	152-0003	目黒区碑文谷 2-5-19	03-5722-4128	03-5722-2811
(株)西花園	153-0051	目黒区上目黒 4-33-21	03-3719-8448	03-3719-0676
<b>■大田区</b>				
藤東造園建設(株)	143-0015	大田区大森西 1-19-15	03-3766-2321	03-3766-2380
大森造園建設(株)	143-0024	大田区中央 8-7-17	03-3754-4128	03-3754-9800
(株)第一造園	145-0062	大田区北千束 2-18-7	03-3726-4381	03-3727-6744
<b>■世田谷区</b>				
(株)野沢園	154-0003	世田谷区野沢 3-29-23	03-3424-5001	03-3418-7621
(株)蛭田植物園	155-0031	世田谷区北沢 5-1-4	03-3469-3569	03-3469-3854
緑進造園(株)	156-0042	世田谷区羽根木 1-18-3	03-3322-5090	03-3325-8590
蘆花園植木(株)	156-0056	世田谷区八幡山 2-18-1	03-3302-7175	03-3302-7179
(株)岡野造園	157-0063	世田谷区粕谷 2-5-8	03-3303-3703	03-3304-0702
第一緑興(株)	157-0063	世田谷区粕谷 3-9-5	03-3307-0721	03-3307-0774
さぬた農園	157-0073	世田谷区砧 1-16-5	03-3416-3121	03-3416-3123

会員名称	〒	住所	TEL	FAX
<b>■世田谷区</b>				
(株)小川植木	157-0074	世田谷区大蔵 5-3-2	03-3417-0029	03-3416-5340
(株)岩城	158-0081	世田谷区深沢 8-7-13	03-3703-0081	03-5758-2386
(株)石勝エクステリア	158-0094	世田谷区玉川 2-2-1	03-3709-5592	03-3709-5857
(株)吉村造園	158-0095	世田谷区瀬田 5-4-3	03-3700-1250	03-3707-6309
<b>■渋谷区</b>				
朝日造園(株)	150-0001	渋谷区神宮前 6-32-5	03-3400-5473	03-3400-4278
東光園緑化(株)	150-0022	渋谷区恵比寿南 3-7-5	03-3719-4611	03-3793-1852
加勢造園(株)	151-0051	渋谷区千駄ヶ谷 3-61-5	03-3404-7781	03-3404-2439
<b>■中野区</b>				
住友林業緑化(株)	164-0011	中野区中央 1-38-1 住友中野坂上ビル 9階	03-6832-2202	03-6832-2212
(株)飛鳥	165-0034	中野区大和町 1-15-3	03-5373-1700	03-5373-1703
(株)大澤造園土木	164-0002	中野区上高田 1-1-1	03-3368-0544	03-3368-0422
(株)創研ガーデン	164-0013	中野区弥生町 4-1-14	03-3383-2431	03-3380-2278
<b>■杉並区</b>				
(株)昭和造園	168-0063	杉並区和泉 4-42-33	03-3315-9796	03-3315-9750
(株)大場造園	168-0064	杉並区永福 2-47-12	03-3325-5151	03-3325-5329
(株)勇和造園	168-0065	杉並区浜田山 3-6-20	03-3313-8791	03-3312-5177
箱根植木(株)	168-0074	杉並区上高井戸 3-5-15	03-3303-2211	03-3303-2273
東武緑地(株)	167-0023	杉並区上井草 4-3-6	03-3394-6910	03-3626-2861
<b>■豊島区</b>				
西武造園(株)	171-0051	豊島区长崎 5-31-34 東長崎西武ビル 3階	03-5926-5300	03-5926-5353
(株)武蔵野種苗園	171-0022	豊島区南池袋 1-26-10	03-3986-0711	03-3590-2874
<b>■荒川区</b>				
岩田造園土木(株)	116-0014	荒川区東日暮里 6-26-12	03-3802-3811	03-3805-9361
総合造園(株)	116-0013	荒川区西日暮里 2-40-14 メゾンアンフィニ	03-3807-3001	03-3807-3350
<b>■板橋区</b>				
杉山造園建設(株)	173-0012	板橋区大和町 3-11	03-3961-6449	03-3961-6260
(株)池田園	175-0092	板橋区赤塚 5-34-33	03-3930-0210	03-3930-0344
<b>■練馬区</b>				
アブラ造園(株)	179-0075	練馬区高松 6-2-18	03-3997-2108	03-3997-2252
<b>■足立区</b>				
(株)富士造園	121-0074	足立区西加平 2-2-34	03-3885-1100	03-3885-1166
(株)前島植物園 東京支店	121-0801	足立区東伊興 2-17-8	03-3897-4800	03-3897-4807
大洋造園土木(株)	120-0005	足立区綾瀬 4-9-5	03-3606-7352	03-3629-0558
<b>■葛飾区</b>				
(株)桂造園	125-0061	葛飾区亀有 3-33-2 田中屋ビル 3階	03-3690-2690	03-3690-2694
東洋グリーン産業(株)	125-0061	葛飾区亀有 3-3-11	03-3690-3351	03-3690-3710
<b>■江戸川区</b>				
(株)稲亀緑花	133-0073	江戸川区鹿骨 1-20-6	03-3670-5206	03-3670-5273
(株)伍楽園	133-0073	江戸川区鹿骨 2-21-2	03-3670-8898	03-3670-8940
(株)松樹園	134-0084	江戸川区東葛西 7-20-23	03-3688-2002	03-3878-7722

会員名称	〒	住所	TEL	FAX
■江戸川区 (株)大國屋園藝場	134-0091	江戸川区船堀 7-5-15	03-5675-1188	03-5675-1168
■八王子市 植小(株)	192-0902	八王子市上野町 15-5	042-622-4796	042-623-0017
■立川市 関東緑花(株)	190-0003	立川市栄町 4-2-44	042-522-4101	042-529-9233
■三鷹市 東和ランドテック(株)	181-0002	三鷹市牟礼 5-11-1	0422-46-3232	0422-71-6972
■青梅市 (株)東山園	198-0004	青梅市根ヶ布 1-476	0428-22-2456	0428-22-1450
■府中市 (株)府中植木	183-0005	府中市若松町 4-13-1	042-361-6326	042-361-6359
(株)宮光園	183-0011	府中市白糸台 1-3-12	042-361-6415	042-361-0283
■昭島市 (株)指田園	196-0004	昭島市緑町 1-3-13	042-544-5511	042-546-0845
■調布市 (株)小牧造園	182-0011	調布市深大寺北町 6-14-8	042-482-5419	042-484-4617
(株)富沢造園	182-0012	調布市深大寺東町 4-30-16	042-483-4315	042-483-4319
(株)深光園	182-0017	調布市深大寺元町 4-4-5	042-482-2656	042-488-4422
■小平市 (株)東京緑花	187-0032	小平市小川町 1-135	042-343-6026	042-344-0979
■日野市 (株)百草造園	191-0034	日野市落川 96	042-591-0482	042-593-5588
■国分寺市 鈴木造園(株)	185-0034	国分寺市光町 1-33-5	042-572-3310	042-572-3384
■西東京市 (株)保谷園	202-0013	西東京市中町 3-2-6	042-421-6803	042-424-1525
■東久留米市 (株)根本造園	203-0031	東久留米市南町 1-5-4	042-461-8142	042-465-3549
(株)神明園	203-0052	東久留米市幸町 3-11-15	042-471-0736	042-473-0020
松村園芸(株)	203-0052	東久留米市幸町 3-4-2	042-471-1168	042-475-5678
■多摩市 (株)多摩ニュータウンサービス	206-0033	多摩市落合 6-15-6	042-371-1831	042-376-7441
■町田市 (株)東京総合造園	194-0014	町田市高ヶ坂 856-1	042-721-2711	042-721-2722
■あきる野市 (株)高木造園	197-0823	あきる野市野辺 399-7	042-559-3803	042-559-8110
■大島町 (株)宝来左松島	100-0211	大島町差木地 4	04992-4-0621	04992-4-0621

## あとがき

本白書は、昭和 57 年に第 1 刊を発行して以来、今回で 32 刊目を迎えることができました。

今刊平成 25 年度版の白書の構成は、前半部分については、第 1 刊より行ってまいりました東京都及び区市町へのアンケート集計で、「東京都の緑化の動向」を掲載させていただきました。

この動向調査につきましては今回で 34 回目となり、東京都内での緑化事業の規模や変遷を知る上で貴重なデータ集となっております。

白書の後半は毎刊、緑化に関する特集といたしまして、さまざまな“みどり”に関連した現状や課題などを取り上げておりますが、今回のテーマは「校庭芝生化」について特集を企画いたしました。

東京都が行っている校庭芝生化事業につきましては、環境局より始まり、現在は教育庁を中心に継続されており、多数の学校にて芝生化が推進されています。

近年、地球温暖化や生徒・児童の体力低下などの問題が取り上げられておりますが、東京都の芝生化事業は生徒・児童の体力向上や維持管理を通じた地域との関わりの醸成を目的として推進されております。

この現状を受け、各学校での芝生化の実施方法や管理状況のデータ収集・分析を行うことにより、芝生化への弊害や管理方法での問題点などが見えてくるのでは、という目標を持って特集に取り組むこととなりました。

集計したデータや解説を拝見すると芝生化実施への設計時の考慮や芝生化の方法や監理頻度の違いが多様な形で浮き彫りにされています。今回の特集が、まだ芝生化未実施の各種学校等へのヒントとなること、また実施校への維持管理における参考になればと思います。

今回の特集を契機に東京都教育庁様と手を携え、東京都造園緑化業協会の一員として東京都の推進する校庭芝生化事業の普及において、その一助となればと思う次第です。

末筆ではございますが、本白書の刊行及び特集に際し、多大なるご指導・ご援助を頂きました東京都、公益財団法人東京都公園協会、並びにアンケートにご協力頂きました区市町の各ご担当者様をはじめ、東京都教育庁のご担当者様、東京都造園緑化業協会の関係者の方々、その他資料作成におきまして多くの関係者の方々にご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

一般社団法人 東京都造園緑化業協会  
広報委員 萩生田 尚樹

<編集委員>

広報委員会

委員長 松村 一  
副委員長 山下 得男 (白書担当)  
田中 英樹

広報委員 飯野 桂子  
篠 正一  
萩生田尚樹  
東野 恭樹  
平松 健一  
別所 光彦

東京都都市緑化基金とは――

平成 26 年 3 月 31 日

民間の寄付金と東京都の出損金を積み立て、その運用益で民有地の緑化を進めるため、緑化助成や普及啓発の事業を行うことを目的に、東京都公園協会に設置され、同協会が運用に当たっています。

現在も基金積み増しのための募金を行っています。寄付のお申込みや助成のお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒 160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 2-44-1  
東京都健康プラザハイジア 9・10 階  
(公財) 東京都公園協会公園事業部公益事業推進課  
TEL:03-3232-3099

東京都緑化白書 PART32 (平成 25 年度版)

編集・発行 (一社) 東京都造園緑化業協会  
〒 150-0041

東京都渋谷区神南 1-20-11  
造園会館 8 階

URL:<http://www.tmla.or.jp>

TEL:03-3462-2858

FAX:03-3462-2805